大正十二年十月一日(月曜日)　(三十日夕刊)　横濱貿易新報　時第十八號　(第三種郵便物認可)　(一)

夕刊
横濱貿易新報

定價金壹錢
編輯兼發行人　山屋清次郎
印刷人　岩田四郎
臨時發行所　神奈川鐵道橫濱貿易新報社

復興要議

○

糧食の掠奪が始つたと聞いて、吾へたこともあつたが、其後更に甚だしい掠奪が行はれんとして居る、橫濱市民は此際、周到なる注意を拂つて、各方面の自警自衛に當らなければならぬ、それは只當面の衣食住に關する事のみに止らぬのである

○

神戸が生絲を掠奪せんとして居ることは、玆に更めて喋々するまでも無いが、最近橫濱高等工業學校の掠奪運動が起つたと聞いては、何人も驚く無駄を禁じ得ないであらう、それは名古屋市に依りて企てられたことであつて、其口實は同地の陸軍幼年學校が軍縮の爲に廢止になつたから、之を橫濱高等工業學校で一時利用したら何うだと謂ふのである、鈴木校長は固より斯かる甘言に迷ふて橫濱を賣るが如き人では無い、彼は此問題を耳にするや、一身を挺して、橫濱に於ける同校の再興に奔走努力し、今や漸く其曙機は免れたるやに傳へられて居る、若し鈴木校長にあらざりしならば、名古屋市は多分掠奪の目的を達し得たかも知れないのである

○

此一事に徴して見るも、今後尙ほ如何なる掠奪が、橫濱市民の上に加へられるかも知れない、橫濱の復興は決して單に一局一部のことにのみ限られて出來るものでは無い、須らく眼界を廣くして、凡ゆる方面から橫濱市民の生活を復舊せしめる用意が無くてはならぬ、然らざれば意外な所から、橫濱の復興力を斷絶せしむるに至るかも知れない

新しき橫濱市を生む
新しき努力
橫濱復興會部署決定
原會長談

橫濱復興會の組織準備も愈々成り三十日の午後委員總會を開催して自分より一應橫濱復興に對する挨拶を述べて組織經過と應務規程等の承認を求め續いて過日來鋭意を重ねに各部委員の指名をなした次第であるが組織の大體は顧問に村野常右衛門、大谷嘉兵衛、安河內麥知事、島田三郎、兒玉謙介の諸名士を推し會の根幹を總務部計畫部の二部に置いて前者は自分が擔當し後者は井坂君が部長となられる而して總務部下の常議員は十六名計畫部の各部組織は市財政部、事業部、港灣部都市計畫部、運輸交通々信部、商工部、生業部、貿易部、工業部金融部等九部に分つて夫々委員長二名を置き此外一般橫濱市の復興に關係ある各方面の二百十餘名の人士を各部に配置してその自由公正なる意見ケ策を容れる方針に據つたものである臨つて今日は復興會活動の部署が夫々決定したに止まりその具體的方案に就いては各自實際なる人士の熱誠と努力により成る調査研究に成るべく其完璧を期してゐるものであつて此の意氣の眞に合致する所堅城の橫濱市の復興

地震と家屋と地質

（下）

醒亭生

地質學者の說明に依つて高島山や權現山等共れ等一帶の丘陵を見ると、其上部を覆ふてゐる厚い赤土は火山灰であつたロームで、洪積世に屬するものとせられる其の下部の砂、こいし、ねん土等の層は同じく洪積層とも言はれ或は第三紀の鮮新層とも見做される、更に其下部の凝固な層は疑ひもなく鮮新層である、さうして此丘陵は相模川が築いたデルタ（三角洲）の一部で、地質時代の隆起に依つて侵蝕の進んだ開析デルタである事は武藏野臺地が多摩川に依つて築かれたと同樣のものであると忍は見るそこで今度の經驗に依つて見ると、地震に對する家屋は斯う云ふ洪積層と共下部の第三紀層の上にあるものが比較的安全で、特に共頂上にあるものよりは丘陵の根にあるのが一層安全であると云ふ事が出來るのである、神奈川の上臺や桐畑や上反町には地割れが一筋もない事實に照らしても首肯の出來る事であらう、私の住んだ下臺の屋敷は石垣の崩れる處はあるが、家屋は殆ど直接に第三紀層の上に基礎つけられてゐるので、地割れもしなければ歪みもしなかつたものと思つてゐる

然るに僅に數十步離れた鶴屋町となると最も地割家屋の傾斜壞倒實に慘憺たるものである此鶴屋町は我々の記憶に尙ほ新しい最近の埋立地である、さうして横濱の土地の最も重要なる部分が殆ど埋立地であつて地震には甚だ脆弱なる土地である事は、今度の震災で始めて知られるのでなく、矢張り大部分は人工埋立地である東京が德川幕府以來大地震に遭つて慘憺たる歷史を繰して居る事に依つて鑑みなければならなかつたのである、

一般に平地と云つても河流が自然に埋立てた沖積層は未だ幾らか安全である、鶴見や川崎が被害の輕いので一

大阪市から六十萬圓

衛生材料を提供

兒童學用品も寄附の申込み

震災後物資の供給其他に多大の同情を寄せ來れる大阪市では又復金額六十萬圓を限り衞生材料を橫濱市に提供するから臨時震災救護局を通じ適當に罹災救護局を使用されたい旨渡邊市長より電報を以て申越し同時に近日授業開始の小學校兒童學用品全部及び簡易なる教授用器械器具一切をも提供するから所要額を折返し返事して貰いたいとの趣旨に市では大喜びで目下所要數量の調査中である

燒跡の土石を利用

一擧兩得の策

市内の震災燒跡の土石に對しては急速に取捨場を定むる必要あり殊に開内外の方面は建物が大きかつた丈け其量も多いので之が處分個所を由下町海岸一帶三萬八千坪と定め縣に申請中だつたが一開日中に許可あるべく一方此運搬用として千葉、埼玉、茨城、靜岡の各縣に輕便軌條及びトロッコの貸與を交涉中である、運搬は市自身でやれば速いが夫れには經費を要し個人では愚圖附くのでどうかお研究中だが孰れにせよ前記の個所は港の南隅で埋立築造等に支障なく取捨土石を統して居る事に依つて鑑て埋立てることは一擧兩得の策である

縣會議員選擧當分延期

本縣及び東京府被屋傾者で失業せるものを各調査することになつた右は何等かの救濟方法を講ずる爲めの調査らしく特に入念に行はるゝ筈である

公設質屋は倉庫助かる

市の公設質屋は店舖燒失せるも倉庫は助かつたので何時でも引出しに應ずる可くまた金のないものは利子を免除し借用證書を入れさせて質物を渡してやる手筈となつた尙ほ入質の方は資金調達のためまだ其運びにならぬ兩三日中には目鼻をつけ小資金融の途を拓く筈

神奈川方面工場壓死者

三時間かゝつて松方老公を救つた

今關口彌太郎

伊勢佐木署の市村巡査

最近神奈川署に於て調査した倒壞工場の壓死者左の如し

鎌倉町由井ケ濱の別邸に靜養中であつた松方老公はシン災會時新館階下の十疊の間にお孫さんや看護婦や女中を相手に談笑中新館階館逸早く室外へ避難したが看護婦は共に大地震となり看護婦は十萬の同胞を生きながら阿鼻熱地獄を實現せしめ川崎附近に於いて三百餘名の死者を出したの勤務の田邊巡査部長伊勢佐木署勤務の市村美定巡査並に警視廳からの田丸巡査は折柄當館で休憩中であつたが家屋倒壞と共に壓れも其下敷となつたものゝ柔道三段の腕力家市村巡査は背部に重傷を負ひながら屋根を破りて田邊、田丸兩氏共に辛くも脫れ老公遺難と聞くや市村巡査は兩氏と協力して約三時間に亘る努力に依つて漸く老公並にお孫さんを救助した老公は一先づ鄰内の約三坪の温室に避難し翌日更らに等の下の川上別邸に避難したが老公は市内巡査等の勇敢なる行爲に依つて救助されたのを深く感謝してゐるとの事である

高工愈授業開始

十一月一日から

燒失せる橫濱高工は十一月一日より授業を開始する筈であるが二年の學生は燒跡に急遽のバラックに收用し最生は東神奈川所在の橫濱舍密研究所に電氣化學應用化學の設備あるを利用し同樣授業を行ふ筈

配給打切り

公設市場始まる

市では二十六日で一般の配給を打切り二十七日から十六ケ所の公設市場で食料品を賣出したが二十七日中の賣上は一市場平に米五俵、味噌一樽、醬油五樽の割合だつたと

兒童を通じて

入念な被害調査

何等か救濟方法

市の被害調査係では各小學校教員をして十一日午前中迄に(一)震火災を被りたるもので無資產者係給勞銀收入の絕へたるもの及び營業を開始し得ざるもの(二)震災を被らざるも本來の貧困者、心身病弱者、孤獨者、

橋樹郡へ避難

の兒童漸減

現在約四万人

今回の震災にて京濱兩市から橘樹郡へ避難して居る學齡兒童は一時八萬人を超えたが現在では半減して約四萬人計り居り之等兒童の就學に關しては出來得る限り便宜を計ると共に郡内に於ける各戶につき保存の敎科書を蒐集して橫濱市の罹災兒童に避與する計畫を樹て廿八日郡内各小學校長を一堂に會して熟議決定したが此の他災害に際する實際敎授敎員の勤務等につき協議した

船車聯絡汽車時間

東京驛東橫濱驛間の船車連絡汽車は廿八日來開通してゐるが汽車時間割左の如し

（上り）

東橫濱發　前一〇、〇四〇　後三、一五
大森着　同一一、三三　同四、〇八
品川着　同一一、四四　同四、一九
東京着　正午　同四、三五

（下り）

東京發　前八、四〇　後一、〇五
品川着　同八、五五　同一、二二
東橫濱着　同一〇、〇〇　同二、二五

川崎町失火頻々

但しよく消止む

川崎町は戶數五千餘戶中全壞千五百中燒二千五百餘戶を出したなかゝ一日の震火災の損害で戶數の三分の一を失つたが其の後も火事の起らなかつたのは不幸中の幸ひであるが川崎署が調査の結果地震以後火災は町内五六ケ所に燃え上つたが發見と同時に附近の者が必死となつて消し止めたので大事に至らなかつた

特志看護婦志願

西戶部町大松久保杉松ジグ郎氏が經營する株式製作工場である大燒突の側壁と共に周圍の板屋根はメチヤクチヤになつたが幸ひ製品には大した損害を與へなかつた損害高は約七十萬圓

煉瓦工場

御幸村小向多摩川沿に異樣の建物があつたが震災で全壞した爲めに今は其の殘骸を止むるのみであるが之れ所の增由岡三郎氏が經營する株式製作工場である大燒突の側壁と共に周圍の板屋根はメチヤクチヤになつたが幸ひ製品には大した損害を與へなかつた損害高は約七十萬圓

み損害約百萬圓である

橘樹郡の兒童漸減

現在約四万人

今回の震災にて京濱兩市から橘樹郡へ避難して居る學齡兒童は一時八萬人を超えたが現在では半減して約四萬人計り居り之等兒童の就學に關しては出來得る限り便宜を計ると共に郡内に於ける各戶につき保存の敎科書を蒐集して橫濱市の罹災兒童に避與する計畫を樹て廿八日郡内各小學校長を一堂に會して熟議決定したが此の他災害に際する實際敎授敎員の勤務等につき協議した

船車聯絡汽車時間

東京驛東橫濱驛間の船車連絡汽車は廿八日來開通してゐるが汽車時間割左の如し

（上り）

東橫濱發　前一〇、〇四〇　後三、一五
大森着　同一一、三三　同四、〇八
品川着　同一一、四四　同四、一九
東京着　正午　同四、三五

（下り）

東京發　前八、四〇　後一、〇五
品川着　同八、五五　同一、二二
東橫濱着　同一〇、〇〇　同二、二五

川崎町失火頻々

但しよく消止む

川崎町は戶數五千餘戶中全壞千五百中燒二千五百餘戶を出したなかゝ一日の震火災の損害で戶數の三分の一を失つたが其の後も火事の起らなかつたのは不幸中の幸ひであるが川崎署が調査の結果地震以後火災は町内五六ケ所に燃え上つ

橘樹郡の會社と被害

トラスコン　田島町大鳥にある日本トラスコン鋼材株式會社は資本金七百五十萬圓にして鐵筋混凝土用鋼材鋼製窓扉の製造及び加工販賣をなすもので一ケ年の製產高約七百八十六萬千七百圓餘に上つて居たが今回の震災により工場建物の一部其他に破損を生じたるも事業には差支へなき見込

香煙錄（十五）

震災で逝けるA人々

衞生堂　馬場豊次郎
橫濱藥舖　小松盛次氏母堂
地主　柳下等次郎
シヤツ商　田部井芳兵衞
元小田原署長　鈴木又五郎
元鵠見町長　持丸　兵輔
同　令息　持丸　卓夫
ベルー領事ローゼンタル
元露帝侍從長　公爵　ミロスラブスキー
音樂家　フイチンコフ
米國副領事　ゼンキス

南米行

ホノルル、ヒロ、桑港、寄港省略　神戶發　十月二日　橫濱發　同八日正午

香港行

天洋丸　橫濱發十月九日正午　神戶發　同十一日（長崎上海經由）
天洋丸　同十月廿九日午正　同三十一日（同上）

東洋汽船出帆廣告

桑港行

ホノルル經由

大洋丸　橫濱發十月十四日　同十七日正午
これや丸　同　同廿五日正午
天洋丸　同　同廿七日正午
同　同十一月四日正午

橫濱出帆米國行

橫濱丸　橫濱市山下町六番地三井物産會社
竹島丸　十月廿一日　同
長崎丸　十月廿四日　同
上海丸　十月廿八日午後四時
橫濱出帆靑水行
同　十月廿一日午後四時
同　十月廿四日午後四時
同　十月廿八日午後四時

日本郵船出帆廣告

橫濱出帆神戶行
長崎丸　十月四日午後四時
上海丸　十月八日午後四時

橫濱支店假事務所

橫濱市元濱町一丁目一番地
石川組ビルヂング三階

米國船舶院總代理　アドミラル東洋航路汽船會社

謹告

震災ノ爲メ先般來休業致シ御迷惑相掛候段恐縮ノ至リニ存候去ル廿八日ヨリ營業開始致候間政府及日本銀行御援助之趣旨ヲ全ウスル爲メ將來益業務ニ精勵致シ當市ノ發展ト御取引先ノ御便宜相計リ申度今後一層御愛顧之程奉願上候尙テ市内支店ニ於ケル取扱ヒ事務ハ左記ノ通リ遠カラズ各方面ニ設置致ス計畫ニ御座候

橫濱興信銀行

大正十二年九月廿八日　橫濱市元濱町一丁目角（正金銀行前）　株式會社

營業開始

本月廿三日より左記の處に假事務所を設け從前通り貨物輸出入共に船客の取扱を開始致候間此段謹告候也

大正十二年九月廿三日

橫濱正金銀行

第八拾七回　決算報告

（大正十二年上半季）

資產

內金銀勘定		
內銀行預ケ金		
諸證書及諸債券		
諸貸金（割引等）	一、九三二、一四八、一九六	
同擔保品	一、八一五、二六六、九二三	
同勘定等	一、一一六、八八一、二七三	
支拂未濟勘定等	五、〇一九、二四一、八六四	
前季繰越金	三五、九九九、八五五	
當半季利益金	三、三五一、一一四	
總計	三、九三二、一四八、一九六	

負債

諸積立金	一、〇九二、一一六	
銀行券	一、〇九五、八二三、六六〇	
諸預リ金	四七九、三六五、一一一	
手形內入金等	四二四、二六四、九七九	
資金替、內割引、支拂未濟、他店勘定等	三五、九九九、八五五	
前季繰越金	三、三五一、一一四	
當半季利益金	一、〇九二、一一六	
總計	三、九三二、一四八、一九六	

利益金處分

當半季利益金	一、〇九二、一一六
前半季繰越金	一、〇九五、八二三、六六〇
合計	二、一八八、〇三九、七七六
積立金	一、〇九五、八二三、六六〇
配當金（年一割二歩）	一、〇九二、一一六、〇〇〇
後半季繰越金	一、〇九五、八二三、六六〇

右營業候也

大正十二年九月

橫濱正金銀行

頭取	兒玉謙次	副頭取	宮島幹之助
取締役	相馬永胤	同	岩崎小彌太
同	小田切萬壽之助	同	渡邊千冬
同	鈴木邦之助	同	森岡昌純
同	武村清六	同	吉村丈夫
同	最上勇吉	同	松浦厚
同	內藤久寬	同	井上準之助
同	小野金六	同	津島壽一
同	小野英二郎	同	川上俊彥
同	岡崎邦輔	同	志立鐵次郎
同	小野義一	同	三島彌太郎
同	小野梓太郎	同	三島彌之助
同	小野光洋	同	三島彌太郎
同	小野光洋	同	三島彌太郎
同	小野光洋	同	三島彌太郎

大正十二年十月二日（火曜日）（一日夕刊）　横濱貿易新報　臨時第十九號　（第三種郵便物認可）　（一）

夕刊　横濱貿易新報

定價　金壹錢
編輯兼發行人　山岸淸次郎
印刷人　岩山　照郎
臨時發行所　神奈川縣道橋際　橫濱貿易新報社

復興要議

○今回橫濱高等工業學校が假教室の一部として借用することになつた東神奈川の倉庫研究所は、或る特志家の援助に依り多年化學研究の爲に使用し來られたる一機關であるが、東京の帝大や東京橫濱の兩高工などが其藏書全部を燒失したる今日、此殘れたる民間の一機關に存する諸文書は、我國に於ける化學研究上他に見ることの出來ぬ極めて貴重なる資料となつたと聞はれて居る

○震災の損害高は部價の出來る部類のもの丈けに就て調ふも、實に驚くべき巨額に達するのであるが、其以外に尚ほ如何なる價額を以てしても、再び手に入れることの出來ぬもので今回燒失したものも甚だ少くない、橫濱史料の如きも當に其一部である、吾人は此方面に於ける今回の大被害に思ひ及ぶ時、苟も社會文化の資料たるべきものは、將來之を個人の藏有たらしめず、社會共有の狀態に置きて其安全なる保存を圖ることが最も必要であると謂ふことを痛切に感ずる

○曾ては大小公園の設置を贅澤なる施設の如く思つて居た人々も、今回の災厄を體驗しては其が如何に必要なる都市的施設であるかと謂ふことを、衆々と會得したであらう、それと同時に吾人は又前述の如き理由よりして、圖書館博物館等も都市的施設として決して閑却すべきものでは無いことを此際市民諸君に理解して貰いたいと思ふ、吾人は私有制度の制限を斯かる方面から徐々に進めて往くことにしたい、而して今回の天災は、何人にも此損害を首肯せしむに至つたと信ずる

絹業復興會

絹物復興會は今回同業者の團體的な商取引を計るため橫濱絹業復興會を設置し金融保證、信託等の責に任ずる機關として發起二十四人を擧げた

市の外形は失つたが 市の本体即ち 精神力は失はぬ

原會長の激勵演說

白紙に名畫を描くの意氣

橫濱復興會組織成る

橫濱復興會は三十日午後二時十分本町通り事務所に委員總會を開き左の諸規定並に廟間並に常務委員を決定し同二時四十分散會したが劈頭の原會長の激勵的挨拶は大要左の如し

今回の震災の激甚なる橫濱を潰滅に歸せしめた所の外形の燒失は市の本躰即ち精神力の喪失を意味しない再建の熱誠は益〻て意氣の嚴乎として健在するを見る、これ第一に謀め得る大なる光明である、他の光明は今日が新文化利用の絕好の機會を與へられたことである、今や白紙に對しての蓋世の名畫を描くことが出來るのである前之を他の光明として認むべき美風を助長する機會たる事で市の組織を五倍と假定し一日一人が少額の生産を增し一方消費を節約すれば遠からず償ひ得て餘りあるであらう國家の援助は固より念であるしかし市民は之れに倚賴せず自ら奮起して所謂水の神を布いて洪死の氣概を示すことに期せずして同情も來る吾々の同志は最後の奮闘を嘗ひ合せて討死するの覺悟を要する

橫濱復興會規程

第一條　橫濱復興會は橫濱市の復興に關し必要なる施設を調査研究し之が實行を期するを以て目的とす

第二條　本會は會長一人委員若干人を以て之を組織す

第三條　會長は委員中より之を互選す

第四條　會長は必要に應じ委員を臨託することを得

第五條　會長は常務を處理する爲委員中より若干の常務委員を指名す

第六條　本會に顧問を置き會長之を囑託す

第七條　會長は會務を總理し委員總會及常務委員會の議長となり本會を代表す

副委員長

委員長

市財政部　井坂　孝
市事業部　平沼　亮三
港灣部　小野　哲郎
都市計畫部　渡邊利二郎
運輸交通信部　若尾幾太郎
生業部　大濱忠三郎
貿易部　證澤　義一
工業部　中村房次郎
金融部　大久保利壓

戶井　嘉作
伊東　三省
堀谷左治郎
近藤　貫二
山崎　小三
牧内元太郎
大久保孝之助
石塚　彥輔
井上治兵衛

顧問

井坂孝作　伊東三省　堀谷左治郎　近藤貫二　山崎小三　牧内元太郎　大久保孝之助　石塚彥輔　井上治兵衛　赤尾彥作　竹内定吉　鈴木逸治　△計畫部　部長井坂孝、副部長井上治兵衛

常務委員

赤尾彥作　竹内定吉　鈴木逸治　△總務部　部長原富太郎、副部長戶井嘉作　伊東三省　堀谷左治郎　近藤貫二　山崎小三　牧内元太郎　大久保孝之助　石塚彥輔　井上治兵衛

會長　原富太郎

顧問　村野常右衛門、大谷嘉兵衛、安河內麻吉、兒玉謙次、島田三郎

△總務部　部長原富太郎　池田勝次郎、石川德右衛門、芳沢謙吉郎、渡邊福三郎、渡邊文七、田中茂（應務）野村洋三、松原權四郎、松下久次郎、神穀常孝（會計）小島周、出口政吉、安藤杏一、佐藤政五郎、左右田喜一郎、上郎清助、守屋此助、鈴木逸治

△計畫部　部長井坂孝、副部長戶井嘉作　伊東三省　堀谷左治郎　近藤貫二　山崎小三　牧内元太郎　大久保孝之助　石塚彥輔　井上治兵衛

取引所開業準備中

主務省の諒解も得たり

一日午後一時頃かるべき橫濱取引所重役會は井坂理事長故席の爲め二日午後一時延期されたが例の取引員側の要求の立替金九十八萬圓折半負擔問題は取引所が大藏省と合議の上最終の方法を講ずべく解散したが愛澤生糸の肉眼檢査又本日（一日）は主務省より川久保監理課長が取引所を訪問、松浦當務に總問の辭を述べ且つ取引所所有の有價證券機械り分等を調査し後營業を繼續するに對し大藏省と合議の上最終の方法を講ずべく解散したが愛澤生糸の肉眼檢査は此村から新橫濱復興の氣運を起すべく目覺ましい活動をするを意氣込んで居る村の名は其地名や建物の名を採つてテニスコート跡がテニス村社交倶樂部跡が社交村築山の周圍が築山村圖書館敷地跡が圖書村グラウンド跡の新築バラックの一廓がグラウンド村と言ふ一戸が居る淋しい此五ケ村の住人は約千六百餘名で公設市場には自米其他の日用品を廉賣しテニス村の村長は茶谷利三郎氏社交村は上坂信築山村は根津幹藏氏、グラウンド村と圖書村の村長は杉田直氏が兼務して居る、村民は能く村長の命に服して總てが自治的に最も秩序よく行はれて居るさうである一ケ月前迄は文化の殆りとして居た橫濱公園のグラウンドやテニスコート圖書館等の跡が村の名に變つたのは何となく寂しい感じはするが村の人の元氣は敬服すべきものがある

公園の中に新しい村

バラックに名づけた由緒

深き色々の村

一時はドロ沼と化した橫濱公園も其後テニスコート跡並に噴水の居住者は一戸毎に村の名を冠すればにも此名に依つて敷安の氣分を求めんとして居る併し此村々には一種の復興意氣を感じ村長より公設市場にあり義勇隊等もあつて雜者に對する善後策を講ずる樣にとの要望が有つた

火災保險金額は 一割見當の支拂か

會社各自の存立の基礎を危くせぬ程度に於て

震災地の被保險者損害に對する內閣保險會社の支拂問題は曾ての重要なる事項として處行されつゝあるが此程四十二社が慣重善後策を協議した結果震災地の被保險者の苦衷を顧み此際各會社は各自の存立の基礎を危くせぬ程度に於て保險金の犧牲的提供をなす事其他を決議するに至りその支拂額は農商務省の調査に一任する事としたが依つて會社側は政府の意向に基き一割見當の支拂をなす爲政府より借入金をなす必要があり愈々その具體的交渉に移つた次第で一日橫濱側は火災保險の代表井坂氏は農商務省に出頭折衝を重ねる所があつた

上水道復舊狀態 これも月末までには 全般に亘り修理完了

市水道の復舊工事は人夫五百人を以て鋭意兼行作業中であつたが一日午前樽子川附近から野毛坂の廿四吋本管が出來たので戶部方面へは南三日中に神奈川方面へは翌日以來輕井澤附近まで月末には子安迄通水すべく關內外へ對しては四五日中に日出町通り一帶のバラックに供給し更に其主要部へは本管を使用一時假工事によつても各バラックに一栓づゝを設くる方針で極力準備を急いで居ると

一週間內に修理給水し之れを延長して月末には本牧まで通水東に蒔田、根岸、磯子方面へは三日頃から本線に着手し二十日頃には全部通水の見込である之れを要するに市內全般に對する應急通水は月末までには一通り完了する豫定で尙ほ燒跡に建つたバラックに對する給水は給水管を使用一時假工事によつても各バラックに一栓づゝを設くる方針で極力準備を急いで居ると

早大橫濱會 救濟運動開始

橫濱在住の早稻田大學生市木村謙三方同會事務所へ來訪方を希望し居れり

大學當局に向つて夫々救濟方を交涉する事に決定せるが右に關し調査を要するものあるに付同會は來る十一日正午より二時迄の間に橫濱會クラブ（高田校會）に本人又は代人の參集を求め又當日登校不能の者には翌十二日午後一時より四時迄の間に神奈川縣警谷三〇番へ罹災者少なからざるを以て早大橫濱會は急遽罹災者に對する善後策を講究し

引續高唱へ

成行十餘萬斤

一日の生絲市場は成行十四五萬斤の仕切あり朝來折衝したるも午前中には纏らざりしが氣配としては前回直段より少くとも五十圓高なる最優二千二百三十圓最良二千二百三十圓高唱へであつた其實物に一任する事としたが依つて會社側は政府の意向に基き一割見當の支拂をなす爲政府より借入金をなす必要があり愈々その具體的交渉に移つた次第で一日橫濱側は火災保險の代表井坂氏は農商務省に出頭折衝を重ねる所があつた

災前災後の 勘定は別個

頭金は支拂ふ

各地製絲業者が生糸の橫濱出荷に贊成せるは勿論なれど運輸金融、保險等の諸施設に對しては未だ納なからざる憾念を挾み殆ど完全なる現況を解せず殊に爲替金八百圓格上げは結構なれども實上げ割金を從來の割屋賃付分に差引勘定されんかと憂ふ居る爲め勢ひ出荷の圓滑を缺き從つて各產地には橫濱荷拂だしと惡評であるが從來當局では此事情を察し此際再度各店より特派員を派し運輸保險等は勿論災害後の出荷は全然其以前の勘定と別精算と爲し實上げ剩餘金も支拂ふ旨を十分說明せしむる事とした

大に意を强ふする生糸貿易

橫濱港九月中の貿易は檢出生絲の三十九萬二千斤七百九十一萬五千三百九十七圓リユー絁ネーネ五萬オンス四萬五千四十五圓、合計七百九十六萬四百四十二圓輸入は救護品其他あるも來だ計數を得ず災前に見舞はれた橫濱港に七百九十萬圓の生絲檢出は大に意を强ふするものがある

入荷增加す

累計約九千三百

清水港よりの回漕と陸上檢查の進捗により生絲入荷も漸次增加して三十日は千棚を超え千十棚と云ふ記錄を作つた爲の市場開市以來の總入荷は三十日迄に九千二百八十棚を算した此內清水港より回漕されたる分は二十七日清水發弘濟丸積四百六俵及三百九棚同日高麗丸積九百八十九棚昌福丸四百九十五棚二十九日高麗丸百三十三棚である

金貨を失敬

橫濱町濱順二八七佐藤由太郎方人夫高橋貞次郎（二〇）は二十八日午後三時頃山下町の商家街で道路の修理工事中米國十弗金貨二十枚及銅貨數十枚を拾得し橫領して三十日午後橫濱驛前の露店で酒を呷りつゝ一個二十圓宛で來客に賣拂けて居た處を戶部署員に發見されて一日午前登局となる

謝震災御見舞

當店並に所屬荷扱所類燒に付舊來の場所に假營業所を設置し營業開始致し居り候間何卒倍舊御引立の上御指向相成度奉願上候

追而當島荷扱所（橫濱驛前）事務は當濱支店に於て取扱仕候

橫濱市辨天通六丁目百六番地
內國通運株式會社橫濱支店

公告

橫濱市第一回電車事業公債大正十二年度上半期利子ハ大正十二年十月一日ヨリ株式會社橫濱興信銀行ニ於テ支拂可致候

大正十二年九月廿日
橫濱市電氣局

謹告

震災ノ爲メ先般來休業致シ御迷惑相掛候段恐縮ノ至リニ存候去ル廿八日ヨリ營業開始致候間利子ハ大正十二年十月一日ヨリ株式會社橫濱興信銀行ニ於テ支拂可致候

大正十二年九月廿日
橫濱市電氣局

謹告

這般の大震災に依り橫濱港は陸揚場所の不完全且つ汽船內引渡の遲失等少なからざるに付ては九月一日より當分の間艀船出入貨物陸揚積込等貨物取扱ひ方は左記の通り相改め候間此段謹告仕候也

大正十二年九月

橫濱ランデイング、エンド會社
橫濱回漕業組合
京濱後回漕業組合

謹告

震災に際し多大の御心配を掛けましたが本社は幸ひ無事平常通り執務致して居ります

保險金は敏速に御拂を致したいから至急御申出下さい

◎契約者並に代理店にて罹災の御方は至急現住所を御知らせ下さい

東京市麹町區內幸町壹丁目四番地
太平生命保險株式會社

◎橫濱支部類燒に付橫濱市青木町桐畑五五
○竹內初次郎方に假事務所を設け平常通り執務して居ます
◎總て契約上の重要書類は正本を本社に備付けて居りますから御安心下さい

謹告

這般の大震災に依り橫濱港は陸揚場所の不完全且つ汽船內引渡の遲失等少なからざるに付ては九月一日より當分の間艀船出入貨物陸揚積込等貨物取扱ひ方は左記の通り相改め候間此段謹告仕候也

大正十二年九月

橫濱ランデイング、エンド會社
橫濱回漕業組合
京濱後回漕業組合

『避難民四名』の話

（一）

南挂生

何時出るかと共人達に尋ねると今晩出ると云ふ、今晩と云ふ明書を貰ふまでにも大分手間が掛つた、其日は大正十二年九月四日、燒跡の整理もまだ〳〵緒につかず、地には燒け殘れた人の屍が積には燒け殘れた人の屍が積み重なつて居る、天は悲しげに日の光も鈍い、伊勢山のトンネル張から出て來家の狗のやうに何處ともなくうろついた私は何の食糧にも有りつけず疲れた足を辨天橋に運んだ、昨夜は雨が降つて着物も大分濡れ、只一つ相當に得られるやうになつた水を飲き機械を燒いた彼はシャツ一枚の跣足で飛出し、彼は彼なりの心の苦しみがあつたらしい、其二人を歸郷させて臨ある二人は留らうかと私は考へた、

そこで疲れた肉體を庇げつゝ葬禮まで何のあて度もなく來たのであるが其處で大坂府と兵庫縣の救濟班に逢つた、この人達が來た上は其れを運んだ船が早晩歸らなければなら、船は留守番を賣ふまでにも大分手間が掛つた、其日は大正十二年九月四日、燒跡の整理もまだ〳〵緒につかず、地には燒け殘れた人の屍が積み重なつて居る、天は悲しげに日の光も鈍い、伊勢山のトンネル張から出て來家の狗のやうに何處ともなくうろついた私は何の食糧にも有りつけず疲れた足を辨天橋に運んだ、昨夜は雨が降つて着物も大分濡れ、只一つ相當に得られるやうになつた水を飲き機械を燒いた彼はシャツ一枚の跣足で飛出し、彼は彼なりの心の苦しみがあつたらしい、其二人を歸郷させて臨ある二人は留らうかと私は考へた、

そこで疲れた肉體を庇げつゝ葬禮まで何のあて度もなく來たのであるが其處で大坂府と兵庫縣の救濟班に逢つた、この人達が來た上は其れを運んだ船が早晩歸らなければなら、船は留守番を賣ふまでにも大分手間が掛つた、其日は大正十二年九月四日、燒跡の整理もまだ〳〵緒につかず、地には燒け殘れた人の屍が積み重なつて居る、天は悲しげに日の光も鈍い、伊勢山のトンネル張から出て來家の狗のやうに何處ともなくうろついた私は何の食糧にも有りつけず疲れた足を辨天橋に運んだ、昨夜は雨が降つて着物も大分濡れ、只一つ相當に得られるやうになつた水を飲き機械を燒いた彼はシャツ一枚の跣足で飛出し、彼は彼なりの心の苦しみがあつたらしい、其二人を歸郷させて臨ある二人は留らうかと私は考へた、

そこで疲れた肉體を庇げつゝ葬禮まで何のあて度もなく來たのであるが其處で大坂府と兵庫縣の救濟班に逢つた、この人達が來た上は其れを運んだ船が早晩歸らなければなら、船は

二番目の弟と私とは橫濱に職があるから、輕々しくは立退けないが三番目の弟は九州の明治專門學校に在學し足尾銅山の見學旅行の途、十日許り前に橫濱に立寄つた者で、伯母が歸郷しての留守中は私の家の留守番を勤めた、十日には學校へ歸つて居らねばならぬが服を燒き機械を燒いた彼はシャツ一枚の跣足で飛出し、彼は彼なりの心の苦しみがあつたらしい、其二人を歸郷させて臨ある二人は留らうかと私は考へた、

そこで疲れた肉體を庇げつゝ葬禮まで何のあて度もなく來たのであるが其處で大坂府と兵庫縣の救濟班に逢つた、この人達が來た上は其れを運んだ船が早晩歸らなければなら、船は

差金問題の解決は遼遠

橫濱取引所の賣買差金問題に付き取引員組合は二十九日午後一時取引員會を開會し、其の結果を報告し立替金九十八萬圓は取引所と仲買人の折半負擔とする樣に取引所に交渉したるも取引所は重役會に附議の上ならでは確答致し難き意嚮を示したれば此解決は前途遼遠だと述べた、之れに付き取引員會は此要求が容れられずんば營業を開始せずと決議し仍十月二日總會を開きて意を結束を固める筈だと但し井坂取引所理事長の意見では勘定問題は不日可決的に解決する問題として只今は姑く之を留保して差當り取引開始に付て盡力するのが急務だと云ふに在るのが急務だと云ふに在るは

生糸廻送促進の急勢

中央線利用を講ぜよ

紐育在荷一万五千

生絲貿易、今日の問題は一に內地の輸送を簡捷にする事にあり、今日主產地たる信州より橫濱迄着荷せしむるに六日間を要するが如きは貿易上の大障害たるは勿論であるが此問題に就ては貿易業復興會より鐵道省及鄭重盡力方を依頼し折衝最も努めて居るが故に程なく短時日を以て着送し得る事となるであらう、一方絲育市場に於ける生絲在荷の現狀を見るに米國絹業協會調査によれば九月一日現在二萬五千四百五十九俵にして內日本絲二萬五千八俵である、一時立退かざるに云ふ氣が橫濱震災前に於ける絲育の消費力は一ヶ月三萬俵を超ゆるの盛況であつたから二萬五千俵位の在荷は一ヶ月を支持するにも足らぬ數量であるが、絲育も橫濱の氣配無見當を傳へて約旬日の間市場を休止したから九月中の取引高は當然減少すべきも過日市場を再開してよりも買氣稍恢復したるやうに名も『川口驛より汽車開通』等の掲示を見たが私の心は今晩出ると云ふ船を突きとめる事にあつた、而も其れは途に得られなかつた、橫濱市役所では大阪府や兵庫縣のする仕事は知らぬと云ふその當時の情態である、そこで意を決して十二里を歩から、川口から汽車でと云ふ方針に變つた、『避難民四名橫濱市役所印』の一葉の紙は同一物を求むる群集の中での爭ひ推退に遂ふ心と心との爭闘の苦驗の後に長い間かゝつて漸々にし手に入つた

市は今月から課制に復す

市では震災後臨急事務處理のため各係を特設し救急事業を講じつゝあつたが秩序稍や整へる爲め十月一日より從前の各課制に復し事務を處理する事となつたも陸上配給、建築及び敎育事務に關する事は新たに臨時配給部（部長宮辻助役）を設け同時に情報及救害調査を敎育課で處理する事となつた臨時配給部は衣食必需品のシヨ集配給の爲め倉庫係、衣類係、供給係、陸上係を置き同建築部は材料係、技術係、收容係をもつて建築用器械器具材料のシヨ集供給及び建築並びに罹災者收容事務に當る筈

小學校授業

今月十一日

から始まる

市小學校は十月一日より開校の豫定で準備中殘存敎室を調査せる結果臨急修理に時日を要することを發見し一方バラック校舍建築の都合もあり旁々十月十一日より開校と延期されたが十二、三、四の四日間は校內の清潔法、敎室の整理、兒童の配屬、高級編成等の準備を整へ一部敎授の個所は從來通り學科目として二部敎授は授業時間四十五分、三部敎授は同四十分として各敎科目を定め臨急の授業を行ふ筈である

大震災記錄

橫濱市で編纂

市では取り敢へず大震災の被害狀況並びに之れに對する救濟善後策等の要點を蒐集した報告ビラ二千枚を印刷し各方面へ頒布する事となつたが同時に堀田市史編纂擔任を主任として詳細なる大震災記錄の編纂中だとを呈し災害後一且東京芝浦に本廳を移した都參事部の如きも本日復歸せざるを得ざる狀況に於分には港の復舊は遠からざる可しと港灣關係業者は元氣づき大馬力をかけて居ると

港の復興

遠からず

棧橋岸壁修理

大体完了す

橫濱港の應急修理は各方面の努力によつて其後着々進捗し棧橋東側の復舊並びに岸壁五號十二號の修理殆ど目下四號岸壁の工事中であり續々として巨船を橫附け得る結果荷役の如きも順調となり港內外活氣を呈し災害後一且東京芝浦

都強喚君の

災害同情

寄特な朝鮮人

川崎在田島町に居住する朝鮮人都強喚（四〇）が鄰下を說いて用圓を隨集し災害救濟として町役場へ寄附した事は既報したが其後百餘名の鮮人をあつめて今回の災害に同情する事を說き更に七十圓を醵集し都合二百圓として廿九日田島町役場へ寄附方申出た外役場の配給事務を補助するなど實に感心〳〵しく立ち働き學校及役場の倒壞家屋の整理は殆んど彼等が手を染めて居る

官廳人夫賃銀

人夫賃銀の標準は二十九日又々左の通り改正された

普通人夫　一圓
土工、道具付二圓廿錢
瓦工（同）　二圓四十錢
大工（同）　二圓五十錢
沖仲士　四圓
荷車　二輪車　六圓
四輪車　十圓

綸業書一枚五十錢

東京府下大森中山庄吉（三七）は卅日午前八時頃標木町農工銀行前で禁止された被服廠の死體某々たる綸業書を一枚五十錢づゝで販賣して居たのを同署出所の巡査に認められ本署へ引立られた

弄花開張

神奈川新町二五〇番地博奕科七犯の青柳靜男（五二）は浦島町六一〇同前科一犯の內田德太郎（五九）と共に二十九日夜新橫濱市山下町二番地大震災に乘じ大松澤庄吉方へ同九五圓口生吉（三二）當家町長井儀三郎（五三）等を集め弄花賭博を開張中神奈川署員に捕はれ翌日送局となつたが震災後の賭博は是が同署での初縛り

商業登記公告

○株式會社橫濱河銀行變更（支店）

一取締役增員ニ因リ大正拾五年八月貳拾五日左記ノ者就任ス

宮崎縣宮久太郎　靜岡縣安倍郡大里村彌勒參六番地

同上　鈴木三郎　同所四番地

一大正拾五年八月貳拾五日靜岡縣靜岡市南柳町參丁目貳番地ニ支店ヲ設置ス

一大正拾五年八月貳拾五日靜岡縣靜岡市南柳町參丁目貳番地ニ支店ヲ設置ス

東洋汽船

出帆廣告

桑港行

ホノルル經由

橫濱發　十月四日午後四時
橫濱丸　十月六日午後四時
上海丸　十月十八日午後四時
長崎丸　十月廿日午後四時
竹島丸　十月廿九日午後四時
橫濱出帆　清水行
同　十月一日同
同　十月五日同

橫濱出帆米國行

橫濱市山下町二番地
日本郵船株式會社
橫濱支店假事務所

急告

當社汽船勢州丸、對州丸、相州丸乘組員御家族にして搖災者は至急當社へ御申出有之度候
追而當社及各船乘組員一同無事從前通り營業開在候間御休心被下度候

尙左記の者の所在御承知の方は至急當社へ御通知被下度候

橫濱市北仲通三ノ四八
相州丸乘組關士上野恒松家族
妻　長男　同　同
上野ヤス（三三歳）　光臣（三歳）　賢一（一歳）

同　市三春町一ノ二
對州丸二等機關士田島義人妻
田島とし

東京市麴町區永樂町二丁目一番地（海上ビルヂング六階）

日之出汽船株式會社

荷主各位へ急告

今回の大震災により當社及び北日本汽船會社引受貨物並に兩社京濱專屬仲次店取扱ひ京濱輸移出入貨物にして兩地倉庫上屋に保管中のもの殆んど全部及び將又營業用の有之候もの殆んど全部及び將又營業中の船舶も御立退先不明の向も御座候に付不取敢御通知に代へ公告致候也

大正十二年九月廿九日

橫濱（運稅關大棧橋入口）

大阪商船株式會社

橫濱支店假事務所

急告

一、本日より左記の所に營業所を設置し平常の通り業務取扱申候

一、保險金は支拂延期令に關係なく可成迅速に支拂可申候

一、震災被害は極めて輕微にて會社財政に何等影響無之に付御安心被下倍舊御愛顧を奉希候

大正十二年九月二十四日

東京市京橋區南傳馬町二ノ一八

（千代田舘內）

太陽生命保險株式會社

同　東京支社

急告

當社ノ上棟式ヲ左記ノ通リ擧行致シ候間此段廣告ス

記

日時　大正十二年十月十日午前十時

場所　橫濱市山下町百四十番地

假診察所

當社ノ上棟式ヲ左記ノ通リ擧行致シ候間此段廣告ス

記

日時　大正十二年十月十日午前十時

場所　橫濱市山下町百四十番地

小松與四郎

日本郵船

出帆廣告

橫濱出帆神戶行

小袋谷出張所

廣告

東京府下荏原郡品川町大字北品川字御殿山百四十番地

假診察所

當社ノ上棟式ヲ左記ノ通リ擧行致シ候間此段廣告ス

記

日時　大正十二年十月十日午前十時

場所　橫濱市山下町百四十番地

小松與四郎

日本郵船

出帆廣告

橫濱出帆神戶行

小袋谷出張所

廣告

東京府下荏原郡品川町大字北品川字御殿山百四十番地

藤澤出張所

（支店）

○帝蠶株式會社支店設置

石川縣江沼郡大聖寺町字南ホ町參拾五番地ノ支店ヲ藤澤町字南ヲ廣ノ上支店ヲ設置

○同上支店設置

左ノ地ニ支店ヲ設置ス

大正十二年八月二十四日

町大字後田字鍛冶屋百四拾六番地

香港行

南米行

桑港行

香港行

南米行

桑港行

出帆廣告

日本郵船

出帆廣告

荷主各位へ急告

大阪商船株式會社

橫濱支店假事務所

急告

荷主各位へ急告

大阪商船株式會社

橫濱支店假事務所

急告

荷主各位へ急告

大阪商船株式會社

橫濱支店假事務所

急告

荷主各位へ急告

大阪商船株式會社

橫濱支店假事務所

急告

荷主各位へ急告

大阪商船株式會社

橫濱支店假事務所

急告

荷主各位へ急告

大阪商船株式會社

橫濱支店假事務所

急告

荷主各位へ急告

大阪商船株式會社

橫濱支店假事務所

急告

荷主各位へ急告

大阪商船株式會社

橫濱支店假事務所

急告

荷主各位へ急告

大阪商船株式會社

橫濱支店假事務所

急告

荷主各位へ急告

大阪商船株式會社

橫濱支店假事務所

急告

荷主各位へ急告

大阪商船株式會社

橫濱支店假事務所

大正十二年十月三日(水曜日)　(二日夕刊)　横濱貿易新報　臨時第二十號　(第三種郵便物認可)　(一)

夕刊 横濱貿易新報

復興要議

○

横濱の復興は結局市民各自の奮發努力に依る外は無い政府の救濟援助の如き其振れ出しは大袈裟なるも、之に對して多くを期待すれば必ず失望に終ること明かである、横濱市民は最早他力を待たず、此際奈拳を擧つて自からの新生涯を開拓することが肝要である、天は自ら助くる者を助けるに相違無い

○

斯く觀ずる以上市民は先づ速かに其古巢の跡を尋ねてバラック建の假營業所を設け、以て其活動を開始する必要がある、各自の安定を圖る上にも繁榮の復舊を促す上にも、之が何よりも第一番に行はれなければならぬ事である、而も市民は今日其志あるも未だ其實行を爲し得ざる狀態に置かれて居る、それは各人が鉅次警告を與へた事であるが、廢墟の取片付が遲々として一向に捗取らぬと謂ふ點に歸着する、當局者は何故に此取片付に就て敏活なる處置を採ぬか、寔に不審に堪へ無い所である

○

殊に舊關内の一劃の如き、其燒發個數を要するものは速かに其手配を爲し、而して一切の殘燼は何處に如何にして搬出すべきやを決定せざれば、幾日を經るも其整理は行はれず、從つて復興計畫もそれ丈ソ止むるい結果となるを免れ無い其間偶々自から其取片付を急ぎつゝある者は是等殘燼の取片付方に就て非常識なる警察官の詰問に接するが如き奇觀さへ呈する、何たる無様の事であらうぞ、當局者の省慮を促がす所以である

瓦斯局損害一千萬圓

復舊善後策を講究中なるも供給は當分見込なし

市瓦斯局は本沼製造所が殆んど全潰し花咲町が機失せる爲め全然瓦斯製造の能力を失ひ唯だ各所のタンクのみ殘存せる有樣で之等の諸裝置並び市内各方面に對する導管の損失等を合し復舊には概算一千萬圓を要する見込であるが從つて目下の處は殘存裝置其他の取片附を急ぎつゝあるのみでマダ復舊計劃の段取に運ばず其の復舊期も未定で勿論瓦斯供給は都市施設の一つとして是非共善後策を講ずる必要ありとて當局は内々調査立案を進めて居るものゝ當分は先づ見込はなさ相である

收容千名の大施療院

一府六縣聯合の救護病院

中村町衛生試驗所跡へ新設した大阪府外一府六縣聯合の救護假病院は一日から開院して佳診回診に從事する事となつた入院患者の收容は目下設備不完全の爲めに五日頃から逐次收容の筈であるが診察入院全部無料で罹災者のみに限らず一般患者の診察投藥も無料であるとゝ

市内中村町の衛生試驗所跡へ新設した大阪府外一府六縣聯合の救護假病院は一日から開院して佳診回診に從事する事となつた入院患者の收容は目下設備不完全の爲めに五日頃から逐次收容の筈であるが診察入院全部無料で罹災者のみに限らず一般患者の診察投藥も無料であるとゝ

希望も不平も無し

外人組長ボスハート氏談

外人生絲屑絲問業組合長甲斐復興會理事長其他日本人側當業者各位が逸日決死的の大努力を續けて幾士の中から更も拘ら今日を迎えた事は私の先も感謝し愉快に感ずる所である吾等は取引上假令如何なる不備があつても一言の不平を洩らさず唯だ吾等買方として苦痛と爲す所は半端な生絲の制充てゝ數ある千斤以下は荷造りの關係上輸出不能であるから此點に於ては横濱市、小田原町方面と聯合し東京市側とも連絡を保ち働くまで目的の貫徹に努力する事とし四日東京

火災保險支拂問題

運動益々旺盛

横濱市内に於ける火災保險金額支拂運動は市會を始め各貿業團及び青年團體等の間に熱心に唱道され市會の如きは協議會に於て委員を擧げ主務省並びに保險協會と折衝を重ねたが當年關で横濱貿易市、小田原町方面と聯合し東京市側とも連絡を保ち働くまで目的の貫徹に努力する事とし四日東京

復興會常務委員會

横濱復興會は一日午後一時事務所に第一回常務委員會を開き復興策評定の方針に就き意見交換の結果計畫部各部會の具體案を夫々決定するの必要あり之を順次常務委員の議題とする事となり左の如く兩日各部會開催に決した

三日　生業、運輸交通、通信
港灣、工業
四日　市事業、都市計畫、金融、貿易

市に關かる、被保險者大會に先立ち三日午後二時から市役所樓上に各青年團代表者大會を開き同盟團に對し熾烈なる氣勢を擧ぐるに決定した

絹聯合會の總會

絹物貿易復興の善後策に關し横濱絹物組合は來る八日日本輸出絹物同業組合聯合會の臨時總會を要求したが翌九日は定時總會を開き十二年決算並に十三年度營業を附議する筈で二日横濱側は提出案を協議した

工兵隊爆破

二町以内は危險

殘存した危險の建物に對しては單獨に入り破壞し三日午後二時から四時迄平沼銀行爆破の準定で同時は三丁以内の交通を禁止するから各自注意を要すと

グランドホテルは百五十萬圓の保險金

をロイド保險へ請求

グランドホテルは十五年前英國ロイド保險會社に英貨十五萬磅の火保契約をなし爲め保險會社は英貨下震災地の被保險者が火保問題に惱みつゝある際注目すべき現象である因に横濱に於ける内外保險會社契約高は約三億圓なりと云はる

眞性コレラ發生

西戸部居住市の掃除夫病毒の系統は不明

西戸部町一五九二市掃除人夫岩崎又吉(五三)は罹災者の一人で目下假小屋内に居住して居るが三十日午後零時發病して吐瀉並に下痢を催し一日午前一時西戸部病院の村田院長の診斷に依つて疑似コレラとして所轄戸部署へ屆出たので又吉を方治病院に收容すると同時に探便檢查中患者は同夜死亡したが二日午前六時に至つて眞性コレラと確定して其處で戸部署では患家の大消毒を施行の上隔離し近隣四

生糸自由賣買開始

取引方法舊に復す

生糸の賣買取引は從來品物不足の爲め賣買委員會に於て取纏めたる上振當を行ひたるが市場の秩序も漸次恢復すると共に定規的取引は賣買兩者共一利一害の纏なら能はざるより今二日より各店自由に賣買商談を取結ぶ事となつた稍々舊態に復したと云ふべきである

買氣は殺到

賣物は依然薄

一日の生絲成行約定物は數

謝震災御見舞

今回の大震災に際しては御見舞を辱うし深謝候御蔭を以て早速復興の準備も相整ひ申候間從前通り本支店共營業を開始仕候此段以紙上御禮旁御報申上候

横濱市本町六丁目
東神奈川驛前
東京京橋三丁目場際
出雲橋際

原鐵運送店
横濱原鐵支店
東京支店

營業開始

本月廿三日より左記の處に假事務所を設け從前通り貨物輸出入幷に船客の取扱を開始致候間此段謹告候也

大正十二年九月廿三日
横濱市元濱町一丁目一番地
石川組ビルヂング三階

米國船舶院總代理
アドミラル東洋航路濱船會社

謝震災類燒の御見舞

追て左記肩書の處に於て一切の事務を開始致候間此段謹告仕候

横濱市元濱町一ノ一朝田回漕店二階
朝田地所部

公告

横濱市第一ノ一電車事業公債利子支拂は南仲通四丁目株式會社横濱興信銀行假營業所に於て支拂致可候得共利札の明瞭を缺くものは一應現札持參瀧頭町市電氣局に御出頭被成下度候

大正十二年十月一日

横濱市電氣局

華主各位に謹告

今回の大震災に依り下名各社扱内外國汽船會社の貨物にして東京及横濱所在官私設陸場に揚荷中のもの並に解船積換中の貨物大部分燒失又は滅失致候間御承知置き被下度右は御關係華主各位に一々御通知可致筈の處御住所不明の方も有之候に就き以紙上此段謹告候也

大正十二年九月二十九日

横濱ランデングエゼント會

日本郵船株式會社　京濱係
日米運輸株式會社
ヘルム兄弟商會
關東運輸株式會社
横濱運輸株式會社
宇都宮德藏回漕店
國際運輸株式會社
エフオーストン商會
三菱倉庫株式會社　東京支店
共同運輸株式會社

定價　金壹錢
編輯兼發行人　山屋清次郎
印刷人　岩田　四郎
臨時發行所　神奈川縣橫濱貿易新報社

同九、三五　同一、一四
同一〇、三〇　同一、四七
同一一、〇一　同三、〇四
同一二、二〇　同四、五四
同一、五一　同五、二四
同一、二八　同六、四九
同二、一〇　同
上り横濱驛發午前三、一五
同四、〇四　同四、三一
同五、〇〇　同五、五〇
同六、二一　同七、〇〇
同八、四〇　同

(横濱驛發)
午前六、〇〇　同九、三五
同一〇、三〇　同一、四七
同三、〇四　同四、五四
同五、二四　同六、四九
同七、〇〇　同八、四〇
下り(横濱驛發)
午前五、五九　同九、三四
同一、〇一　同三、〇四
同四、五四　同六、四九
同八、三〇　同一〇、〇三
同一一、一二　同一二、一五三

(徒歩橋)復舊の結果上下列車の回數も增加し且つ便利となつたが二日から改正の時刻表は左の通である(上りは東京驛止り下りは横須賀直通)

横須賀線開通並びに馬入橋

横須賀開通馬入橋復舊

火災保險支拂問題

運動益々旺盛

横濱市内に於ける火災保險金額支拂運動は市會を始め各貿業團及び青年團體等の間に熱心に唱道され市會の如きは協議會に於て委員を擧げ主務省並びに保險協會と折衝を重ねたが當年關で横濱市、小田原町方面と聯合し東京市側とも連絡を保ち働くまで目的の貫徹に努力する事とし四日東京

希望も不平も無し

外人組長ボスハート氏談

外人生絲屑絲問業組合長甲斐復興會理事長其他日本人側當業者各位が逸日決死的の大努力を續けて幾士の中から更も拘ら今日を迎えた事は私の先も感謝し愉快に感ずる所である吾等は取引上假令如何なる不備があつても一言の不平を洩らさず唯だ吾等買方として苦痛と爲す所は半端な生絲の制充てゝ數ある千斤以下は荷造りの關係上輸出不能であるから此點に於ては横濱市、小田原町方面と聯合し東京市側とも連絡を保ち働くまで目的の貫徹に努力する事とし四日東京

收容千名の大施療院

一府六縣聯合の救護病院

中村町衛生試驗所跡へ新設した大阪府外一府六縣聯合の救護假病院は一日から開院して佳診回診に從事する事となつた入院患者の收容は目下設備不完全の爲めに五日頃から逐次收容の筈であるが診察入院全部無料で罹災者のみに限らず一般患者の診察投藥も無料であるとゝ

瓦斯局損害一千萬圓

復舊善後策を講究中なるも供給は當分見込なし

市瓦斯局は本沼製造所が殆んど全潰し花咲町が機失せる爲め全然瓦斯製造の能力を失ひ唯だ各所のタンクのみ殘存せる有樣で之等の諸裝置並び市内各方面に對する導管の損失等を合し復舊には概算一千萬圓を要する見込であるが從つて目下の處は殘存裝置其他の取片附を急ぎつゝあるのみでマダ復舊計劃の段取に運ばず其の復舊期も未定で勿論瓦斯供給は都市施設の一つとして是非共善後策を講ずる必要ありとて當局は内々調査立案を進めて居るものゝ當分は先づ見込はなさ相である

復興要議

○

横濱の復興は結局市民各自の奮發努力に依る外は無い政府の救濟援助の如き其振れ出しは大袈裟なるも、之に對して多くを期待すれば必ず失望に終ること明かである、横濱市民は最早他力を待たず、此際奈拳を擧つて自からの新生涯を開拓することが肝要である、天は自ら助くる者を助けるに相違無い

○

斯く觀ずる以上市民は先づ速かに其古巢の跡を尋ねてバラック建の假營業所を設け、以て其活動を開始する必要がある、各自の安定を圖る上にも繁榮の復舊を促す上にも、之が何よりも第一番に行はれなければならぬ事である、而も市民は今日其志あるも未だ其實行を爲し得ざる狀態に置かれて居る、それは各人が鉅次警告を與へた事であるが、廢墟の取片付が遲々として一向に捗取らぬと謂ふ點に歸着する、當局者は何故に此取片付に就て敏活なる處置を採ぬか、寔に不審に堪へ無い所である

○

殊に舊關内の一劃の如き、其燒發個數を要するものは速かに其手配を爲し、而して一切の殘燼は何處に如何にして搬出すべきやを決定せざれば、幾日を經るも其整理は行はれず、從つて復興計畫もそれ丈ソ止むるい結果となるを免れ無い其間偶々自から其取片付を急ぎつゝある者は是等殘燼の取片付方に就て非常識なる警察官の詰問に接するが如き奇觀さへ呈する、何たる無様の事であらうぞ、當局者の省慮を促がす所以である

定價　金壹錢
編輯兼發行人　山屋清次郎
印刷人　岩田　四郎
臨時發行所　神奈川縣橫濱貿易新報社

同九、三五　同一、一四
同一〇、三〇　同一、四七
同一一、〇一　同三、〇四
同一二、二〇　同四、五四
同一、五一　同五、二四
同一、二八　同六、四九
同二、一〇　同
上り横濱驛發午前三、一五
同四、〇四　同四、三一
同五、〇〇　同五、五〇
同六、二一　同七、〇〇
同八、四〇　同

(横濱驛發)
午前六、〇〇　同九、三五
同一〇、三〇　同一、四七
同三、〇四　同四、五四
同五、二四　同六、四九
同七、〇〇　同八、四〇
下り(横濱驛發)
午前五、五九　同九、三四
同一、〇一　同三、〇四
同四、五四　同六、四九
同八、三〇　同一〇、〇三
同一一、一二　同一二、一五三

(徒歩橋)復舊の結果上下列車の回數も增加し且つ便利となつたが二日から改正の時刻表は左の通である(上りは東京驛止り下りは横須賀直通)

横須賀線開通並びに馬入橋

横須賀開通馬入橋復舊

眞性コレラ發生

西戸部居住市の掃除夫病毒の系統は不明

西戸部町一五九二市掃除人夫岩崎又吉(五三)は罹災者の一人で目下假小屋内に居住して居るが三十日午後零時發病して吐瀉並に下痢を催し一日午前一時西戸部病院の村田院長の診斷に依つて疑似コレラとして所轄戸部署へ屆出たので又吉を方治病院に收容すると同時に探便檢查中患者は同夜死亡したが二日午前六時に至つて眞性コレラと確定して其處で戸部署では患家の大消毒を施行の上隔離し近隣四

生糸自由賣買開始

取引方法舊に復す

生糸の賣買取引は從來品物不足の爲め賣買委員會に於て取纏めたる上振當を行ひたるが市場の秩序も漸次恢復すると共に定規的取引は賣買兩者共一利一害の纏なら能はざるより今二日より各店自由に賣買商談を取結ぶ事となつた稍々舊態に復したと云ふべきである

買氣は殺到

賣物は依然薄

一日の生絲成行約定物は數

謝震災類燒の御見舞

追て左記肩書の處に於て一切の事務を開始致候間此段謹告仕候

横濱市元濱町一ノ一朝田回漕店二階
朝田地所部

公告

横濱市第一ノ一電車事業公債利子支拂は南仲通四丁目株式會社横濱興信銀行假營業所に於て支拂致可候得共利札の明瞭を缺くものは一應現札持參瀧頭町市電氣局に御出頭被成下度候

大正十二年十月一日

横濱市電氣局

華主各位に謹告

今回の大震災に依り下名各社扱内外國汽船會社の貨物にして東京及横濱所在官私設陸場に揚荷中のもの並に解船積換中の貨物大部分燒失又は滅失致候間御承知置き被下度右は御關係華主各位に一々御通知可致筈の處御住所不明の方も有之候に就き以紙上此段謹告候也

大正十二年九月二十九日

横濱ランデングエゼント會

日本郵船株式會社　京濱係
日米運輸株式會社
ヘルム兄弟商會
關東運輸株式會社
横濱運輸株式會社
宇都宮德藏回漕店
國際運輸株式會社
エフオーストン商會
三菱倉庫株式會社　東京支店
共同運輸株式會社

生糸入荷

(廿九册目分生絲入荷)
○春ア秋ナ夏ヨ黄

△小川商店五十個)
甲州千代田ハ　六
甲州千代田ア　十七
武州石川組ハ　十八
武州中方ヘ　二
ヒダ鷲戸ハ
△株式會社田中商店(二百五十四個)
伊勢石川組ハ　五十六
三州石川組ハ　百二十六
信州小松組ハ　十八
美濃製糸ハ　五十四
△中澤商店(十九個)
甲州白狼社ヘ　十九
△時澤商店(十三個)
日向都城小口ハ　十三
△株式會社阿部商店(五十八個)
岩代九共鳳島製糸會社ハ　五十八
△小野辰貿易株式會社(十四個)　十四
遠州橋本ヘ
△株式會社木村商店(三十四個)
信州平林ハヨ　二十
遠州橋本ハヨ　十四
△原合名會社(百五十六個)
豆州城南社ハ　二十
信州山市小口組ハ　十八
信州下諏訪小口組ハ　十八
信州山十組山五ハ　十八
信州山十組下諏訪ハ　十八
信州東美社ハ　十八
三州足立製糸ハ　二十八
羽前多勢ハ　二十八
信州諏邊ハ　十八
合計　千九百棚

○二十八日分追加報告
△諏澤商店(百五十一個)
武州大宮館ハ　二十
常州岡谷館ハ　五十九
常州岡谷館ヲ　七
常州岡谷館ア　五十一
常州貫錦製糸ア　十四
合計　百五十一個

應求案内　三行金壹圓　五行金貳圓

船來ブリキ板

家根板用亞鉛鐵二圓九十錢
以下大安賣御用の方來談
神奈川灘の橋際柏木印刷所

◎賣家

(但朝布寢具家財道具一式)
(納屋風呂場電話附近御)
(間數七、納場所本牧電車終點)
(望の方同所三久鈴木商店へ)

營業開始

本月廿三日より左記の處に假事務所を設け從前通り貨物輸出入幷に船客の取扱を開始致候間此段謹告候也

大正十二年九月廿三日
横濱市元濱町一丁目一番地
石川組ビルヂング三階

米國船舶院總代理
アドミラル東洋航路濱船會社

謝震災御見舞

今回の大震災に際しては御見舞を辱うし深謝候御蔭を以て早速復興の準備も相整ひ申候間從前通り本支店共營業を開始仕候此段以紙上御禮旁御報申上候

横濱市本町六丁目
東神奈川驛前
東京京橋三丁目場際
出雲橋際

原鐵運送店
横濱原鐵支店
東京支店

武州大宮山丸ア　十八
信州岡谷社ア　三十六
信州入一組ア　五十四
信州金山社ア　十八
信州山吉組ア　十八
信州味澤組ア　十八
信州金ル組ナ　十八
常州岡谷館ア　四十三
常州友部ア　十五
武州佐野ア　二十一
伊勢加佐登ハ　十八
伊豆依田佐二平ハヨ　十二
同　山本榮吉ハ　七
同　井上幸吉ハ　五
△株式會社小野商店(百四十五個)
信州尾澤組ア　二十八
同平野片倉ナ　二十八
三州牛久保ハ　十八
信州笠原組ア　十八
同　龍水社ア　十八
武州橘館ハ　十八
同　渡邊ア　十五
△日本生絲株式會社横濱支店(三百八十八個)
尾州木曾川ハ　六十三
尾州木曾川ヘ　三
筑前土屋ハヨ　六
筑前朝倉中央ハヨ　三十一
信州大和組ア　十八
信州金二組ア　十八
武州富岡館ア　十八
信州龍水社ハ　十八
筑前土屋ハヨ　三
同　朝倉中央ア　二
信州善及社ハヨ　十八
信州大和組ア　十八
信州金二組ア　十八
武州富岡館ア　十八
信州龍水社ハ　十八
筑前土屋ハヨ　三
同　朝倉中央ア　二
信州善及社ハヨ　十八
信州大和組ア　十八
信州金二組ア　十八
武州富岡館ア　十八
信州龍水社ハ　十八
筑前土屋ハヨ　三
同　朝倉中央ア　二
陸前浦谷ハ　九十三
信州山市小口組ハ　二十八
尾州木曾川山十ハ　二十七
△片倉製糸紡績株式會社(十四個)　十四
武州八王子片倉ハ　十四
△株式會社奥村商店(十五個)　十四
羽前多勢ハ　二十八
信州諏邊ハ　十八
合計　千九百棚

○二十八日分追加報告
△諏澤商店(百五十一個)
武州大宮館ハ　二十
常州岡谷館ハ　五十九
常州岡谷館ヲ　七
常州岡谷館ア　五十一
常州貫錦製糸ア　十四
合計　百五十一個

應求案内　三行金壹圓　五行金貳圓

船來ブリキ板

家根板用亞鉛鐵二圓九十錢
以下大安賣御用の方來談
神奈川灘の橋際柏木印刷所

◎賣家

(但朝布寢具家財道具一式)
(納屋風呂場電話附近御)
(間數七、納場所本牧電車終點)
(望の方同所三久鈴木商店へ)

「避難民四名」の話

（二）

南桂生

曾ては一羅を飾つた連中が乞食のやうな装でウロ〳〵と通る例の十五間道路を私達も共謀の一人として横濱驛まで來た、見る影もない大建築物はもう我等の旅を迎へて呉れない、神奈川の通りは崩れ家で足の運びも覺束ない、併し先へ行くに從つて家々の軒端に水桶が置かれて自由に供給して呉れる事は四日間飲料水に苦しんだ私達には最も難有い御馳走であつた、水を飲んでは汁を出すと云ふ貧弱なる新隙代謝の作用を力に予安に近づくと牛壜の家に『汽車は六郷から有ります』と云ふ貼札のあるのを發見し十二里を歩く事の覺悟をした私達に不意打を喰はせた、初めは出鱈目だらうと目も呉れなかつたが其後電柱や壁などに同様の貼札を認めて愈本當かナと思ふに至つた、交番の巡査に質すと本當だと云ふ、飛び立つ思ひに足も輕くなり鶴見近くで休憩すると更に偉な事には汽車が此處から出るから急いで行つてお乘りなさいと知らせて呉れた親切者に出會つた、愈々幸運を感じつゝ畑を横切つて線路から汽車の窓へと飛込んだ、面して四人は初めて餘裕ある眼でお互の顏を見る事が出來た

汽車は後から〳〵と込んで來た、危ぶまれた六郷を緩慢な速力で渡る頃は日も早や暮れて品川へ辿りついた時は眞暗な構内に出口の見當さへ怪しくなつた、私の考へでは汽車が着くが如く品川から先へ其日は行かないならプラットホームで一夜を明かさうと云ふに在つた、同じ樣な考へを持つて居る人もあると見をホームに久しく留まつて居る人人も私達のみではなかつた、そこへ驛員が來て避難民の人は一旦構外へ出て見れと振廻つた、個人が驛を打切られた思ひで雜踏を押除の間に揉まれつゝ驛前の廣場へ出ると既にそこには野宿の人達で一杯である、

海の復興は心配無用

只私の懸念するのは陸の回復

神戸横濱兩税關長談

横濱港の復舊が横濱復興の根本の策であることは言ふ迄もないが自分は港の恢復を心配する人々に一言したい船を著ける設備の修理が急務であるから各艀岸壁の順急工事にかゝり一方の棧橋の修繕にも着手して一般二艘と繫留船は多くなつて今日では既に十艘の船が岸壁と棧橋へ繫ぐ得る筈が國に港灣の設備他にありといへども神戶港を除いて此の非常の災害に之れだけの恢復力ある港が何處にあるであらう、老舗はさすが老舗だけのことはある、神戶が横濱の生命を損はうとしても此の力には抗しやうがない横濱港の水深は決して淺くはなつてゐない、防波堤の破損も一部の陷沒に止まつて修理は極めて可能である、斯の如く港の恢復は世人の想像以上に速かであらうところで陸上の恢復はどう

大正十二年十月四日（木曜日）（三日夕刊）　横濱貿易新報　臨時第二十一號　（第三種郵便物認可）　（一）

夕刊　横濱貿易新報

定價　金壹錢
發行人　山屋清次郎
印刷人　岩田　四郎
臨時發行所　神奈川縣道橋際　橫濱貿易新報社

復興要議

○

大震災の善後策を、平時に交換せらるゝ小理屈に由つて、解決せんとする者あらば、それは餘りに馬鹿げた話である、今日は凡べての事を、人道的見地から決定すべき、非常な場合である夫の火災保險金問題の如きにしても、若し思ひを此點に致さば、遽かに何等かの解決を着け得られる筈である

○

此場合捗へるの捗へないのと調ふことを議論すれば、如何なる事柄であつても、其本情に少しも變りは無いのである、併し世間には、其出來無い狀態に於て、尚ほ且最善を盡して色々の方法を講じつゝある者が少く無い、それは理屈でも何でも無い、全く人道的見地からの措置なのである、火災保險會社にしても、亦此意味に於て、遽かに世間並の所謂犧牲を拂ふては、何うであらうか、世間は決して火災保險會社に對してのみ特別に多くを望む筈は無いのである

○

或は斯かる犧牲は、火災保險會社を危地に陷れるものであると謂ふ、そうかも知れない、併し火災保險會社の此犧牲が無くば、世間には再起困難の窮狀を呈するもの、頗ぶる多數に上るであらう、而して其結果は共倒れの不幸に陷る虞れがある、果して然らば、此際火災保險會社と被保險者側とは、互ひに共犧牲を分擔し一日も早く此難境を切り拔けることに、善闘努力すべきである、徒らに押問答をして互ひの復興を遲延せしむるは、實に愚の骨頂である。

火災保險被保險者大會

決議と實行方法可決

けう午後二時市役所四階で市内の火災保險被保險者大會は三日午後二時から市役所四階樓上に開き青年團衛生組合等の各代表者百餘名出席し保險金額支拂ひに關し保險會社は勿論政府當局に對し嚴肅情を重ね夫の火災保險金問題の如き事に決し左記決議案並に實行方法を滿場一致により可決尚ほ其運動方法の中合せ並びに意見交換に氣筈を急げ散會した

決議

橫濱市復興は主として火災保險會社に公告されたものは其官報や新聞を添付すれば矢張其申請は受理せられる、尚是等の書類が無くとも例へば隣地の所有者や權利上利害關係のある人の證明書とか其他證據書類になるものを提出すれば裁判所は審査の上適當と見れば其申請に應ずるので此際裁判所は出來る丈け權利者の便利を計る方針を採らんとして居る、又戸籍に就ては裁判所、市役所双方の書類が全燒して仕舞つたが之も關係人より市役所に戸籍上の申告を爲しそれが事實と認めらるゝ時戸籍簿の再製に依りて各人の戸籍が明かになり其身分關係を證明することが出來るから近々司法省の告示があるのを待ちて速に眞實なる申告を爲し早く戸籍の再製を求め保險金の受取や其他必要なる戸籍の謄沙本の下附を受けられる樣に心懸くべきである若し以上の申告申請等に就て不明の點があれば裁判所に遠慮無く申出るが可い裁判所に事情をそれ〴〵提示して呉れることになつて居る

公市の慰問袋問題

眞相は尚判明せぬ

鼻息の荒い商人側

既報した公設市場に於ける慰問袋賑賣事件は俄然左の如くである

三十日の市會に於ける大問題となり本牧公設市場自米指定商人中野彌助等は「市の役人が賑らして置いて俺達に罪をなすりつける」とて芝辻助役の許に怒鳴り込んだが、ヒョータンナマズでらちがあかず結局そのまゝに引取つたが三日午前芝辻助役は當の責任者たる公設市場監督、原某、社會課の石田某を呼んで事實を聽取する所あつたが「一方平野側では「こつちが五十錢銀貨をチョロまかしたなんて噂をせんでも」と却々に鼻息が荒いが結局は責任者を明かにして事は收まるらしい

回復登記に關する

權利者の注意

大正十三年四月一日まで

今回の震災に因り橫濱區裁判所備付の登記に關する帳簿書類全燒したる爲此際權利者は其權利を保全すべく回復登記の申請をする必要がある、其申請期間は大正十三年四月一日迄であつて此期間内に申請すれば區裁判所は登錄稅を要せずして回復登記をして呉れるのである右の申請には關係書類を燒失した者でも若し自分の權利の登記の謄本の寫しいものを搜出して持參するか土地臺帳の謄本を持參するか又市役所の建物證明が得らるればそれを基つて添付した場合でも裁判所が市内の各銀行共震災の被害激甚で諸帳簿の整理に相當の日子を要する見込で信用金の復活は急務なるも尚ほ當分見合せ

手形交換は

當分見合せ

橫濱手形交換所委員會は二日午後三時川崎銀行内銀行集會所事務所に開かれ手形交換再開の件を協議したが市内の各銀行共震災の被害激甚で諸帳簿の整理に相當の日子を要する見込で信用金の復活は急務なるも尚ほ當分

「橫濱市復興會」と改稱

橫濱復興會は此度原會長の發意にて橫濱市復興會と名稱を變へた尚左の通り各委員會を開催の豫定

三日午後三時　市財政部
五日午前十時　港灣部
六日午後二時　計劃部正
副委員長會

又も怪しくなつた

生糸自由賣買問題

買人側の贊否區々

生絲の賣買を賣買委員會の手より離して各店の自由賣買と決定したるは去一日の事なるが翌二日は賣物僅々二萬斤餘にして自由商談の値なるより途に取引を見るに至らず、既に入荷は一日一千俵の多きを算するに拘らず賣物が僅少の數量に過ぎざるは一は物論商内の萎引上にも因る事ならん又他の原因として拔賣が行はるゝ結果ならずやと思はるゝ形勢あり若し拔賣が行はれて暗の裡に品物が引込まるゝに於ては折角の商勢を傷ず人心の弛緩を招き市場の復興を至難ならしむる嫌なき能はずとて矢張り從來の如き賣買委員を存置する必要を叫ぶ向もあり殊に買人たる三井物産其他に於ては自由賣買說と賣買委員會說との兩說に觸れて贊否決定まらざる爲め三日には渡邊組長より各店賣込主任に諮り先づ賣人の態度を聞ひたる上に賣人側は矢張り自由賣買を是とするに決したが一方賣人側は態度未定にて決せず、惹いて三日ならず賣物が僅少の數量に過ぎざるは一は物論商内の萎引上にも因る事ならんが又他の原因として拔賣が行はるゝ結果ならずやと思はるゝ形勢あり若し拔賣が行はれて暗の裡に品物が引込まるゝに於ては折角の商勢を傷ず人心の弛緩を招き市場の復興を至難ならしむる嫌なき能はずとて矢張り從來の如き賣買委員を存置する必要を叫ぶ向もあり殊に買人たる三井物産其他に於ては自由賣買說と賣買委員會說との兩說に觸れて贊否決定まらざる爲め三日には渡邊組長より各店賣込主任に諮り先づ賣人の態度を聞ひたる上に賣人側は矢張り自由賣買を是とするに決したが一方賣人側は態度未定にて決せず、惹いて三日ならず賣物が僅少の數量に過ぎざるは一は物論商内の萎引上にも因る事ならんが又他の原因として拔賣が行はるゝ結果ならずやと思はるゝ形勢あり若し拔賣が行はれて暗の裡に品物が引込まるゝに於ては折角の商勢を傷ず人心の弛緩を招き市場の復興を至難ならしむる嫌なき能はずとて矢張り從來の如き賣買委員を存置する必要を叫ぶ向もあり殊に買人たる三井物産其他に於ては自由賣買說と賣買委員會說との兩說に觸れて贊否決定まらざる爲め三日には渡邊組長より各店賣込主任に諮り先づ賣人の態度を聞ひたる上に賣人側は矢張り自由賣買を是とするに決したが一方賣人側は態度未定にて決せず、惹いて三日

港灣部會第一回開議

橫濱市復興會港灣部會は三日午前十時半第一回を第廿號稅關構内の農商務省食糧局の貯藏米取除きによりスペースを充分保有する事人夫解雇を完備し給水を充分にして作業を圓滑にする事等實際問題として應急處理の必要を認め調査並に運動に着手決し一方橫濱貿易の發達を促進する理想案としたる正金の意向は從來の評價方法に手加減を加へ

株主各位へ急告

今回の大震火災に際し株主名簿及株主印鑑簿共に喪失致候に付き株主各位は來十月三十一日迄に株券を當社に御提示の上住所姓名記載の印鑑或は其他の事由により御所有株券御提示相成り難き向は記號番號、株數、枚數御明記の上株主たることを證すべき證憑御添付其旨御申出相成度候右は一々御通知可申上筈の處御住所を御知ることを能はざるに付き此廣告を以て御通知に替へ申候

大正十二年十月一日

共同運輸株式會社

假營業所　橫濱市表高島町四番地
（橫濱商船會社内）

謝震災類燒の御見舞

追て左記肩書の處に於て一切の事務を開始致候間此段謹告仕候

橫濱市元濱町一ノ二朝田圖書店二階

朝田地所部

謝震災御見舞

今回の大震災に際しては御見舞を辱うし奉深謝候御蔭を以て早速復興の準備も相整ひ中候間從前通り本支店共營業を開始仕候此段以紙上御禮旁御報申上候

橫濱市本町六丁目

東神奈川驛前
東京京橋三十間堀
出雲橋際

原鐵運送店
原鐵運送支店
橫濱原鐵支店

東京京橋

代理店及契約者各位に謹告

當會社は幸に今回の大震害を免れ建物書類一切無事に付平常の通り執務罷在候間御安心被下度此段謹告候也

大正十二年九月

東京市麹町區有樂町一丁目一番地

富士生命保險株式會社

尋ね人

長島末男親族の方は至急當社に御出頭相成度候
橫濱市青木町廣臺九五六
三陽商事合資會社
橫濱支店

假事務所

橫濱市青木町橋畑（書類）
四百五十六番地（安全）
從前ノ通リ一般法律事務ニ委托ニ應ジ可申候
辯護士　渡邊漸

賣家

南太田堂照寺下至急相談五二五工藤方内
廣告

應求案内

三行金當圓
五行金武圓

狂水病

南太田町九九三豆腐商生井澤安之助（五〇）は去月二十八日發病一日午後一本松中井醫師の診斷に依り狂水病と診定され二日午前五時死亡した

郡部の金融

特に順調

市内の金融狀態は銀行業者

税關倉庫から

貴金屬三万圓を盜む

此他に罐詰や米や木材等も

震災後稅關の倉庫を破つて貴金屬を掠奪した犯人に就ては縣刑事課に於て捜査に努めつゝあつたが同課詰村松刑事は最近に至り西戸部町四六小汽船東海丸船長吉田五郎吉（三〇）が妻リンの母岩田トク（四六）と共謀して去月三、四の兩日に亘り稅關第二號倉庫中の五號と七號上屋にあつた貴金屬財寶安定の一助ともなるかだ同答を爲さざる狀態だが此際取引員側の要求を容れて至急圓滿なる解決を希望する

絹物金融

少くとも七掛

絹物復興會の事業は當系に比し一日を遲るゝの感なき能はざるが其根本原因は金融の梗塞に在る事勿論にて

橫濱取引所は豫て取引員組合から要求した勘定問題に付き二日午後一時燒跡事務所に重役會を開き決定次第夕刻開催される取引員總會に於て解決するものであるから私個人としては仲買人の要求即ち證據金の返還並に九十八萬餘圓の取引所立替金拂申負擔案は寧ろ穩當なるものと解して居る、取引所が若し之れを拒んで營業の開始を延引するに於ては取引所は知てより以上の損害を蒙むる事とならう條に取引所の營業開始は橫濱財界安定の一助ともなるかだ此際取引員側の要求を容れて至急圓滿なる解決を希望する

勘定問題解決近し

取引所重役の硬論緩和

井坂理事長の穩健論

橫濱取引所は豫て取引員組合から要求した勘定問題に付き二日午後一時燒跡事務所に重役會を開き決定次第夕刻開催される取引員總會に於て解決するものであるから私個人としては仲買人の要求即ち證據金の返還並に九十八萬餘圓の取引所立替金拂申負擔案は寧ろ穩當なるものと解して居る、取引所が若し之れを拒んで營業の開始を延引するに於ては取引所は知てより以上の損害を蒙むる事とならう條に取引所の營業開始は橫濱財界安定の一助ともなるかだ此際取引員側の要求を容れて至急圓滿なる解決を希望する

過日來寄々協議を凝らせる結果正金銀行に對し時價入掛の金融を得べき交渉をなせるも正金の承諾を得ざるより茲に於て一切の事務を開始をなし之を持して大藏省の諒解を得たる上少くとも七掛の融通を受けずんば復興の途なしとして新たなる運動を起さんとして居る

勘定問題解決近し

取引所重役の硬論緩和

井坂理事長の穩健論

橫濱取引所は豫て取引員組合から要求した勘定問題に付き二日午後一時燒跡事務所に重役會を開き決定次第夕刻開催される取引員總會に於て解決するものであるから私個人としては仲買人の要求即ち證據金の返還並に九十八萬餘圓の取引所立替金拂申負擔案は寧ろ穩當なるものと解して居る、取引所が若し之れを拒んで營業の開始を延引するに於ては取引所は知てより以上の損害を蒙むる事とならう條に取引所の營業開始は橫濱財界安定の一助ともなるかだ此際取引員側の要求を容れて至急圓滿なる解決を希望する

絹物金融

少くとも七掛

絹物復興會の事業は當系に比し一日を遲るゝの感なき能はざるが其根本原因は金融の梗塞に在る事勿論にて

過日來寄々協議を凝らせる結果正金銀行に對し時價入掛の金融を得べき交渉をなせるも正金の承諾を得ざるより茲に於て一切の事務を開始をなし之を持して大藏省の諒解を得たる上少くとも七掛の融通を受けずんば復興の途なしとして新たなる運動を起さんとして居る

郡部の金融

特に順調

市内の金融狀態は銀行業者

税關倉庫から

貴金屬三万圓を盜む

此他に罐詰や米や木材等も

震災後稅關の倉庫を破つて貴金屬を掠奪した犯人に就ては縣刑事課に於て捜査に努めつゝあつたが同課詰村松刑事は最近に至り西戸部町四六小汽船東海丸船長吉田五郎吉（三〇）が妻リンの母岩田トク（四六）と共謀して去月三、四の兩日に亘り稅關第二號倉庫中の五號と七號上屋にあつた貴金屬財寶安定の一助ともなるかだ此際取引員側の要求を容れて至急圓滿なる解決を希望する

株主各位へ急告

今回の大震火災に際し株主名簿及株主印鑑簿共に喪失致候に付き株主各位は來十月三十一日迄に株券を當社に御提示の上住所姓名記載の印鑑或は其他の事由により御所有株券御提示相成り難き向は記號番號、株數、枚數御明記の上株主たることを證すべき證憑御添付其旨御申出相成度候右は一々御通知可申上筈の處御住所を御知ることを能はざるに付き此廣告を以て御通知に替へ申候

大正十二年十月一日

共同運輸株式會社

假營業所　橫濱市表高島町四番地
（橫濱商船會社内）

『避難民四名』の話

（三）

南桂生

横濱は未だ軍隊の影をも見ぬ内から東京は戒嚴に軍憲に依つて嚴重に守られて居る私達は凡べて兵士の命令通りに盲目的に行動した、不安の一夜は明けて品川の空が白む頃周圍の騒がしさに目を醒ますと直ぐ出發の用意をした、汽車は午前六時品川を出る、戰場のやうな大騒ぎの後に幸じて乘つたは可いが既にこの品川からこの樣な雜とうそは關西、東北、信越の各方面に通ずる唯一の線路たる川口以後の人の山が思はれて恐しくなつた、果然其後は人間が貨物扱ひとなつた

初め私達の聞かされた所によると品川から山手線で池袋まで行き、乘替へて赤羽から川口までは歩かねばならぬと云ふ事であつた、あの長い鐵橋は不通になつてゐると云ふのである、そこで池袋で降ろされると先づ食糧を仕入れたいと思つた一つには又赤羽行きの汽車はあつても餘りに滿員なので容易して乘る氣にはなれなかつた、私は三人をホームに待たせて置いて街に出て見た、横濱の燒野ケ原に慣れた目にはその邊東山の手の郊外に軒は縦し傾いても兎に角家の在るのが寧ろ異樣に感ぜられた、殊に物を賣る所の在るのは別世界に來た樣に思はれて、嬉しくなつた私はサイダーらつけふ、干葡萄、パン其他目に觸れるものは皆買つて見たくなつて仕樣には一人で持ち切れなくなつた、其上或一軒の特志家の洋食屋では罹災民に飯を食はせて呉れると云ふので私はそれにも御馳走になつた、飯は切れて芋許りになつたと聞いて稍々失望したが其れでも有難い、三人の者等にも其儘着味を增つ爲めに餘計に貰つた、斯くて曲りなりに腹が出來たので汽車に乘らうとしたが赤羽行には怎しても乘れぬ、すると赤羽川口間の鐵橋は本日から開通する事になつたから寧ろ此處から田端へ出て本線に乘替へた方が得策だと教へて呉れるものがある、驛員に賀すと此次きの田端行きは午前九時半だ、歩かなくても濟む事が何より嬉しい

田端へ着くと避難民で一杯なのに驚いた、驚いたよりも感激した、ホームは勿論續路から棧橋から溢る人の海である、地震と聞け火と聞けば大いで渦と煙とに戰つた私共は今又同じ運命の人々との間に爭闘を行ねばならなくなつた、汽車に乘ると云ふ事は避難民一樣の大苦役であつた、必死的奮闘を要した、悠長に昇降口から乘るなどゝ云ふ者はない、否既に上もも下りも其處からは乘れない程に滿員になつて居るから群衆は流車が着くと同時に窓から飛込む、窓がもう這入れなくなると屋根の上に飛上る、屋根が一杯になると流關車にしやがみつくると箱との間に嚙ぢりつく子供は泣く、女は叫ぶ、喧嘩が始まる、それ〳〵はお話にならない、それ程に人を積んだ汽車は出ても停車場は些つとも人が減らない、寧ろ刻々殖える許りなので一旦構外へ出た私達は感戰苦闘の後漸くプラットホームに入つた、ところが迚も乘れる事ではない

七十二橋墜落、燒失
殘つたのは僅に十一橋

大体に於て木造は駄目

市内の橋梁は震災前迄八十六橋を算したが震火災に依つて墜落者くは燒失した數七十二橋に達し殘るは吉田橋（石造）舞天橋、大江橋、萬年橋、柳橋（鐵造）山王橋中村橋、天神橋、坂下橋、幸橋、万代橋（木造）の十一橋に過ぎなかつた其殘存橋梁の大部分が木橋である事も震災に對する建築上の參考資料になるであらう而して之等交通不能の橋梁に就いては其復市の交通係と工兵隊とが協力して架換工事を急ぎつゝあつたので既に三十二橋は竣成し其他の橋梁も目下しきりに工事に努力して居るから遠からず重要道路の橋梁は竣成し復興の活動に非常なる便宜を與へるであらう

市豫算編成
の三大方針

市の明年度豫算は震災後一段落のついた二十三日局課長會議を開き當面の救濟應急施設復興豫算額竝の三大方針を決定し先づ救濟と應急施設豫算を取急ぎ進捗も目下しきりに工事に努力して居るから遠からず重要道路の橋梁は竣成し復興の活動に非常なる便宜を與へるであらう

殘存僅廿一
五百卅餘の中で
健在な工場數

縣下五百三十有餘の工場中大部分は倒壞燒失して殘つた工場は僅かに二十二に過ぎない之等の殘存工場中の重なるものは製綿工場十一其他は輸出荷造、藁工場、ゴム工業、鑄物工場、製織麻肌工場等であつて燃燒し易い製綿工場の多數が殘つたのは不思議のやうであるが察氣に向つて製綿工場の多くが現存して居るのは力强い

川崎署員の
不眠不休

一日の大震災にて東京横濱の大都市が殆んど全滅となりこれに次いで川崎附近の大會社工場に於いて罹死者多數を出したるの報傳はるや全國から集まつて居る會社工場の從業者に對し親族から安否を問合せて來る向が非常に多くさなくさも平素一日の取扱件數三千件を超えて轉手古舞をして居た川崎署では震災以後に率件が增加し一日六千件を突破し署員一同は遂日不眠不休で大活動をして居る

職業紹介所
怠慢の批難

市の職業紹介は樞木警視及び神奈川淺間町警樞の三ケ所で普通並びに勞働紹介共に取扱つて居るが失職者は多かつて轉手古舞をして居た川崎署では震災以後に率件が增加し一日六千件を突破し署員一同は遂日不眠不休で大活動をして居る

九月末現在の
二十五萬餘人
横濱人口

伊勢佐木町は九人山下町は無人

戶、壽は五萬五千

市内各警察署に於て調査した三十日現在の總人口は二十五萬千四百八十六、戶數五萬五千九百五十一で人口戶數共日々增加の一方であるが各署別左の如し

○神奈川署管内

町名	戶數	人口
青木	六〇〇八	二五二〇七
神奈川	五三五〇	二一三七三
子安	二〇〇九	八三二〇
高島	一九	六八
守屋	三一	一二
星野	二〇	八二
大野	一三〇	五八
橋本	六	二三
新浦島	一	四
計	一三四七	一五五二九七

○戶部署管内

西戶部	四三四五	一六六六五
伊勢平沼	二九五	一一九七
仲町	一〇八	四八
浅間	二三三五	九二五三
岡野	四五四	一九四三
青木	七〇三	二九八一
戶部	七三二	二九九八
花咲	一三七	五五八
内田	九五	三九七
櫻木	三五	一四七
尾張屋	五一	二一
高島	三七	一四七

久保	二九二三	一一六二九
南太田	八五六	三四二五
老松	七八	三一九
月岡	四九	一九七
西平沼	一七二	六八四
橘	一四二	五八二
三枚	三七	一五二
表高島	一二〇	四七九
宮崎	五四三	二一二
計	一三七五五	五四三一二

○伊勢佐木署管内

吉岡	四二	二〇九
長島	五五	二七二
松ケ枝	一〇	四九
委見	一六	六七
羽衣	一一	五三
蓬萊	三七	一六五
長者	八三	三九八
久方	四四五	二〇八
足曳	一一〇	四九
墨井	二	一
駿河	三三	一六
宮川	三三	一六
霞	五〇	二四
初音	一〇	四七
三春	二八	一三
末吉	一四二	六七一
眼	七	三四
若葉	三	一
南吉田	七二	三一七二
花咲	七九	三八
野毛	一一三	六一
鶴島	四	二
櫻木	一	一
日の出	六一	二九
伊勢佐木	五〇	二
福富	二	一
吉田	一八	八
英	四	一七
黄金	六六四一	二九四八九八
井土ケ谷	二二五三	九六四一
弘明寺	一四二二	六六二四
南太田	三六二八	一七三七八
計	六六四三	三二六七〇

○警署管内

中村	四〇一六	一八〇一八
大岡	八七一	三八一
中村	一〇八	四八
磯子	九三六	四二六
瀧頭	六七二	二九〇七
南吉田	二八二	一二八五
其金	五八	二五七
三吉	二五七	一一八
千歳	三六	一五五
永楽	一一五	五一五五
長者	一五〇	九八二
松影	一七二	九一〇
扇	二五	一一六
不老	一六	九六
富士	八〇	三八
山田	二八	一一八
山吹	九四	四二〇
石川	二一八	九四七
石川仲	二五〇	一一八
根岸	六一	二七〇
吉濱	一七五	七五〇
諫	一七二	七二六
堀ノ内	五三六	二二四
翁	七	三一
萬代	一四三一	六二〇二
田	一一二	四九〇
計	一〇七七〇	五四四五一

○加賀町署管内

公園内	一〇四	四九七
新山下	六一	三一二
元	七七	四五八
元濱	三六	一三
北仲通	一三	六四
相生	一〇	六
太田	六四	二七
尾上	八	四七
住吉	六	二五
本	四	一
常盤	一	一
辨天通	二	一
港	三	一〇
眞砂	一	一
境	一	一
海岸通	二	一
計	一五五三	六四八六

○山手本町署管内

本牧	二九四	一二八六
北方	一四八三	九四一三
山手	四〇一	一七〇八
千代崎	四三	一七二
上野	八三	三九一
諏訪	一七	六〇二
根岸	四三四七	二二一九九八
瀧頭	二三四	六四六
中村	一〇八	四四四
山元	一五四	七三〇
計	一〇三九二	五一四八四四

○水上署管内

六〇二	一七一九	
總計	一二五一	四八六
五九五一		

郡部罹災者
收容バラック

縣下郡部の罹災者收容バラックは小田原、横須賀、鎌倉腰越、厚木、眞鶴の各所に合計四千五百坪を臨時罹災救護事務局の手で建設すべく工事を急ぎ居り何れ同局では市内の共立倉庫及び船渠倉庫跡其他五千坪に建設し食糧品を收容する筈

復興の意氣
旺なる鎌倉

震災激甚地の一に數へられて居る鎌倉町は今町始んど倒潰し且つ目抜きの通り一千餘戶を燒失せる上津浪海賊の襲來等に一時は秩序全く失はれ人が逸早く海軍の救援、三菱の厚意による物資供給等の爲め生色を呈し昨今では縣下被害各町村中横須賀市に次ぎ復興の氣分に滿ちて居る一般配給は十八日限りで打切つたが引つゞき町で内地米一升三十五錢、鮮米三十二錢（不足分は町費より補給）を以て廉賣更に海軍より毛布一千枚の拂下を受け一枚二圓見當にて賣る外日用品の賣場も設けられ一通りの生活必要品は手に入る事となつた一方罹災者收容のバラック町經營で小學校構内外三ケ所に一ネ三十二坪のもの八ムネを工兵隊の努力によつて建築し一世帶八ゼク一間の割合で收容するなど他所に比べて幾分かユツタりして居る從つて町民の復興氣分は却々盛んで目抜の通りは灰燼も宇治通り弗々バラック建の商家が建ち始まり町では大通りを三間幅其他を二間幅にして復活しやうと目論見を立てるなど同町の旗振は意外に早かうかうと云はれて居る

慘狀寫眞を賣る

京濱率淵中定市（二八）及市内神奈川神田澄子（二〇）酉戶部町後藤友喜（二七）は一日午後横木町の大江橋附近で曾つて差押へとなつた東京被服廠跡の慘狀極まる寫眞を一枚五十錢宛で通行人に販賣中を伊勢佐木署員に發見され出張決遠反で同署へ引立てられた

まだ死体が出る

伊勢佐木署に於いて部内各町の繩跡で發見した二十二日以來の燒死體は三百餘で三十日の分は極ケ枝町三五地先きで三、長者町で三、南吉田五〇六で二、松ケ枝町三五で女三、計十一で戶部署部内では同日西戶部七二三の屋下で四十位の女一、南太田二一八七で一名の死體を發見したと

尋人

廣告

○日出町一丁目二家族生死不明に付御心當りの方は左記へ御通知下さい　本町三ノ一銀行支店内林覺

大阪商船
出帆廣告

横濱發ビクトリヤ、シヤトル、タコマ行
十月八日
ありぞな丸
十月十六日
海洋大棧橋際
大阪商船株式會社
横濱假事務所

東洋汽船
出帆廣告

桑港行　ホノルル由
大洋丸　横濱發　十月十四日
神戶發　同十七日正午
これぞ丸　神戶發　同十月廿五日正午
丸　横濱發　同廿八日正午

天洋丸　横濱發　十月四日正午
神戶發　同七日正午
泰洋丸　横濱發　十二月一日正
神戶發　同七日
横濱發　十二月廿八日正

香港行

天洋丸　神戶發　十月九日正午
横濱發　同十一日
長崎上海經由
泰洋丸　神戶發　十月廿九日正
横濱發　同（三十一日上）

さいべりや丸　神戶發　同十一月十日正午
横濱發　同十二日
（大連上海經由）

南米行

ホノルル、桑港、寄港省略　神戶發　十月二日
銀洋丸　横濱發　同八日正午

日本郵船
出帆廣告

横濱出帆　神戶行

上海丸　十月八日午後四時
長崎丸　十月十日午後四時
上海丸　十月十二日午後四時
長崎丸　十月十四日午後四時
上海丸　十月十六日午後四時
長崎丸　十月十八日午後四時
上海丸　十月二十日午後四時

横濱出帆　清水行

横濱丸　十月十九日午後四時
竹島丸　十月廿二日午後四時
横濱丸　十月廿五日午後四時
長崎丸　十月廿七日午後四時
上海丸　十月廿九日午後四時
長崎丸　十月卅一日午後四時
同　十一月二日午後四時
同　十一月四日午後四時
同　十一月六日午後四時
同　十一月八日午後四時
同　十一月十日午後四時

横濱出帆　米國行

横濱丸　十月六日午後三時
横濱市山下町三番地
日本郵船株式會社
横濱支店假事務所

父正三郎

九月一日震災にて死去仕候間來る六日午後二時より四時まで自宅に於て告別式相營み申候此段以紙上御通知申上候
横濱市西戶部町藤棚坂上
嗣子　大藤時彦

横濱市電氣局

公告

横濱市第一回電車事業公債利子支拂は通四丁目株式會社横濱興信銀行假營業所に於て支拂致可候得共利札の明瞭を缺くものは一應現札持參瀧頭町市電氣局に御出頭被成下度候

大正十二年十月一日

神戶行無賃運送船
華山丸（四千五百噸）

五日午後横濱出帆
神戶直航船

○御注意
一、運賃無料の事
二、申込順に依り決定、但し滿員の節は御斷りする事
三、三日分以上の食糧及寢具携帶の事
四、手荷物は制限せざるも積卸の費用は各自自辨の事
五、積荷荷扱は正金銀行前横濱運輸合會社に御下命相成度候事

横濱市本町五丁目
申込所　鈴木商店横濱支店
鈴木商店東京支店

急告

一、本日より左記の所に營業所を設置し平常の通り業務取扱申候
一、保險金は支拂延期令に關係なく可成迅速に支拂可申候
一、震災被害は極めて輕微にて會社財政に何等影響無之に付御安心被下倍舊御愛顧を奉希候

大正十二年九月二十四日

東京市京橋區南傳馬町二ノ一八
（千代田舘内）
太陽生命保險株式會社
同　東京支社

大正十二年十月五日（金曜日）（四日夕刊）　横濱貿易新報　臨時第二十二號　（第三種郵便物認可）　（一）

夕刊 横濱貿易新報

定價金壹錢
編輯兼發行人　山岸清次郎
印刷人　岩田一四郎
臨時發行所　神奈川鐵道橋際　橫濱貿易新報社

禍を轉じて福を招く
復興要議

○

縣市の建設に係る大バラックが、各處に出來たことは、寔に喜ばしいが、併し此種のバラックのみにては、決して市民劃下の要求を、充たす譯には往かぬ、現に或る獨立の營業を有する者の如き、斯かる大バラックの共同生活を續け居るでは、復興の希望を達することが出來ないのである

○

雨露を凌ぐことすら出來なかつた罹災民に對して、此種のバラックは、先づ必要とせられた施設であつたことを疑はない、而も彼等の多くは、何時迄も救興を受けて徒食其日を送ることに甘んずる者にあらず、續ひ裸一貫の今日に於ても、尚ほ以前營業せる場所の燒殘を掻き除けて、其再興に努力せんと志して居るのである、若し是等の人々にして、各自のバラックを建てる便宜が與へられるならば、それは單に當人の仕合せに止まらず、正しく橫濱そのものゝ復興を促進する所以となるのである、併し縣市の當路者は、之に氣附かない樣である

○

當路者は往々、材木の供給不足にかこつけ、一般の拂下げ要求を拒絶して居る、然し乍ら苟も製材及び配給の上に、今少しく考慮を致すに於ては、嚮に材木類の供給に困難する等がないのである、今日若し當年の最明寺時賴との人の如きがあつて、當路に立つて居るならば、罹災者の實情を精察して、敢活に且周到に、其救助復興の途を開くことが出來るであらうに、如何にも遺ゆかしい次第である

市内金融狀態良好
頗る靜穩裡に經過
一行四十万圓の支拂が最高

市内の金融狀態は銀行開業一開日の大體不穩に經過したに徹し順調なるを示したが一日のモラトリアム廢止後ら矢張意想外の狀況を呈し一二兩日は各本支店共相當取引の繁忙を見るが夫も人心不安定の證と認むべきものなく必要に基く少額の引出しに止つた模樣で三日は開業以來多數の取扱を見た左右田銀行の如き全く閉散狀態に歸つたが一行四十萬圓の支拂が最高である

生糸取引方法確定
今週中は委員會存置
來週より自由

朝令暮改の嫌ひあつた生糸取引方法問題は例の自由商談に付き買方側に時期尚早論者あり或は帝蠶實出當時に於ける入札實買法提案者もあつたが結局今週中は實買委員會を存置して緩和をなす事に決した

待ち草臥れた
建築材料の拂下け
一人十坪を限り
但し柱用の角材はかり

一件書類に添へ現金を揷込み次第其翌日税關西門際の市材料係出所で現品を引渡す事となつた併し現在持合せ品は柱用の角材ばかりで其他の板類やヌキ丸太等は運輸に遲延を重ねた市の個人用バラック建設材料揷下は漸く四日から一人十坪を限り拂下げ申請を受附くるも出來るであらうに、如何にも遺ゆかしい次第である

工業復活のためには
資本を興銀に仰ぐ
工業部委員會の意嚮

工業部委員會は三日午後三時委員長中村房次郎氏外十二名出席して開催橫濱市復興と工業の關係に付協議の結果こゝに一定の地區を設定し此見地より都市の改造を促すの要旨に基き之を一括して資本の融通を興業銀行に仰ぐべく折衝を試むるに決し尙新設工場に就ては此際積極的に適する工業調査の爲特別委員を設置し委員長指名とし同四時十五分散會次回は七日午後三時開會の筈

ウエルカム！資本家
夫れらのためには旅館を
外人の爲にホテルを

橫濱市復興のために內外の資本家招致が必要であるとの理由で復興會生業部會は研究要目の一に加へたるが此の問題は會長の原富太郎氏個人としても力說する所であつて或は近く旅館業者ホテルの設備が急務であるとして意外に速に具體化すべき樣樣である

立替金問題の解決と
取引營業開始期
多分十一月の初旬か

三日の橫濱取引所重役會の結果例の立替金折半問題は取引所側より讓歩して取引員の拆半要求を容るゝ事となれば十一月初旬頃であらう取引所も取引員側も協力して營業再開促進方面に對し鋭意努力中なるが店主死亡又は休業再開促進方面に對し鋭意努力中なるが店主死亡又は休業中の取引員は依然六ケ月制らしく又外貿人の處分に困難

「避難民四名」の話

南桂生（四）

其内に餓がヒシ〳〵と襲つて來た、隣で握飯をぱくつく三十格恰の女を見付た伯母は有らう事か有ない事が其れを無心し出した、驚きの眼を見張つて居ると其女は快よく私達のために三つを與へ、尚その連れの男は食パンの屑を新聞紙のまゝに與れた、けれども幷んな事で私達の腹の虫は十分に承知して與れぬ、若さに今度は渴を覺え、庶幾に頭痛を喚び起した、二番目の弟は一番元氣がない、三番目も不平相になつた、私も人波に揉まれて呼吸さへ苦しくなつたので、もう一遍驛前に出る事にした

先づ一同を元氣づけるには食糧が必要であるので、驛前のだら〳〵坂を濱の川町へ上ると缺乏を感じた煙草に救援隊本部の小學校で玄米のお握りを砂を噛み思ひで呑み込んだ、大宮まで自動車で行きたいと思つて其れを求めたが民間にガソリンを分けて與れないから車はあつても動きませんと云ふ、二度目に町へ上つての歸るさには氣丈の伯母もトウ〳〵足が立たなくなつたと見えて、さる一軒の店先にしやがんで却々立つて來さうにない、どうした事かと後戻りして聞けば、今晩はとても野宿する勇氣がないから人の情にすがつて一夜を軒根にでも止めて貰よ交渉をしたのだ相な、その家はせんべいやコホリ水を商ふ小さな店で、お蔭でその夜は湯浴みしてその上人並の御飯を食べる事が出來た

翌朝は一時に身輕になるのを覺えた、五日間の懇類生活で衣類も汚れたので氣持は十分恢復されなかつたがその朝の田端驛では來合はせた汽車に早速乘る丈けの力があつた、先づ弟が屋根に上つて伯母を引上げ私は お尻を押上げた、いやと云ふほど炎天の中で待たせられた後汽車が動き出す一齊に歡聲を擧げた京宮

安政の大地震（二）

名主二十一組の調査

當時の町來行は如何なる方法で江戸町家の死者を取調べたのであらう、それは市中取締掛りの名主に命じて江戸中を二十一區域に定めて夫々精細な調べ方をしたものである、其組々の左記受持區域及び死者、潰家つぶれ土藏數等を仔細に見て行くと、其震度の强弱が推知されるであらう、先づ

一番組　日本橋より　今川橋邊まで
潰家　潰土藏　三三　二三
二番組　着屋町邊より南國橋　山町お濠ぬ池邊まで
同上　同上　一八五　五七
三番組　淺草御門外より　花川戸邊まで
四一　四
四番組　日本橋南方より左右　御濠端通り通四丁目まで
五番組　中橋南方左右　お濠まで京橋邊り
二七　六二　八
六番組　京橋南方新橋まで　左右お濠かぎり
八　六
七番組　靈岸島一圓

王愚魯

八丁堀木挽町まで
六七　一五六　二六
八番組　新橋より南方　金杉まで
七九　四九四　六三
九番組　金杉橋南方　麻布邊まで
一八　一二五　一四
十番組　青山一圓赤坂溜町高輪
十一番組　今川橋より北の方　内神田一圓
七三　一五四　三二
十二番組　外神田一圓湯島　本鄉まで
一一　六七　六
十三番組　上野邊山下　下谷谷中一圓
三七二　一五二二　一三八
十四番組　駒込小石川一圓　本鄉少々小日向邊まで
三一　七四三　一九
十五番組　飯田町靱町牛込　四ッ谷一圓
六一　三三七　三九
十六番組　向兩國一圓　墅川邊り
三八五　二三〇七　一一六
十七番組　深川と稱へる場所一圓
八六八　四九〇六　七八五
十八番組　本所と唱へる場所一圓
四一七　三四一五　二二
十九番組　淺谷邊一圓目黑まで
五　なし
二十番組　雜司ヶ谷牛込鳥塚下千駄ヶ谷鴨子町內藤新宿
五　四　一
二十一番組　淺草阿部川町邊　下谷寺院門前
七二　二五四　一
番外（新吉原）
本文の外潰家潰土藏

横濱の人口が舊通になるのは

五年後の十七年末か

震災當時は四十四万七千人

今後の豫想件の如し

大正九年の國勢調査に依ると横濱市の人口は四十二萬三千餘であつたが逐次增加して翌十年には四十三萬千餘人となり十一年には四十三萬九千餘人に進み本年九月には四十四萬七千餘人に增加したが今後の人口增減率に付其筋の調査に依ると本年十二月末には二十九萬八千人、十三年十二月には三十五萬七千人、十四年十二月には三十九萬三千人、十五年末には四十一萬七千人、十六年末は四十三萬四千人、十七年末になつてから震災前の本年九月現在人口に相當する四十四萬四千人となり十八年末になつて四十五萬四千人に進む計算である又震災後の復舊に對する豫想は本年九月から十二月末に亘つては避難を猶豫したものが郷里其他へ去つて離散し事業は思ふ存掠奪、惡疫、瘴氣等の脅威を受けて人心は安定しない、十三年には敎や安定の曙光を認める程の事業が緒に就き急設事業も勃興して來る都市計畫も決定して各種永久事業が續々起つて來る十四年は前年の計畫を踏襲して五年には『バラック』の壽命も終りを告げ永久的建物の建換となり人口も增加し十七年の八月になつて『バラック』は全部撤廢されて新橋濱が世界に誇り得る大都市として現はるゝ豫想である

市立十全醫院の活躍

震災後三日外遊から歸つた

院長片山博士今後の抱負

市十全病院々長の片山久藏博士は外遊二ケ年の研鑽を終へ大震災により横濱市の全く衰はれたる三日午後橫濱入港のカナダ丸にて無事歸朝しあらゆる困難を冒し單身上陸直ちに野毛阪に開設された十全病院に至り傷寒病者の診療院務整理に從事して居るが同博士は語る『今回の災害に就ては御同情を賜りても申上げる言葉もない次第で橫濱にとも返すゝ々も遺憾に堪へぬ、歐米滯在箇二ケ年走馬燈の念がしさで

御座候處燒失致し員數相分り申さず候

六三三　五　一
番外（品川御支配許り）
六　一八　潰土藏無
兎に角江戸中の土藏殘らず崩れ損じて滿足なものは一つもなかつた、中にも下谷廣小路伊東松阪屋の如きは十二月末への土藏は悉く燒落ち、尚角の淵戸物店井口の土藏は猛火中に一つ殘つたのと、淺草諏訪町黑船町には七つ八つの燒殘つた土藏があつた

當分預つて呉れ

預つた船頭困る

伊豆大島岡田村白井政吉所有帆船第一丸船頭菊地鐵松外二名が同船に乘込み日本橋下に碇泊中震災避難中なる一人の紳士は男女物の上等衣類數十點に南吉田六四六山口佐市名義の郵便貯金通帳日本勤産火災保險契約書其他在中の大風呂敷を橫上から船內に投込み『當分預つて呉れ』と云ひ捨て立ち去つたが其後同船は大島へ歸航と共に此旨大島分署へ屆出たので同署から本縣警察部へ宛て預入調査の照會があつたと

縣公認人夫賃

縣公認の市內人夫賃銀は十月一日より左の通り改正されたが手順はついて居る』因みに同病院では震災以來五年七ヶ年迄の通り改正されて普通人夫二圓△土工（道具付）二圓廿錢△鳶（同）二圓四十錢△大工（同）二圓五十錢△神仲仕四圓△荷馬車二（輪車）六圓△同（四輪車）七圓

暴漢か掠奪者か

神奈川千若町日本鑛業會社守衛高山男吉は震災警戒會社の重要書類を取出さんとして居る處へ日本刀及鉈を携帶した暴漢七八名襲來して此處會社書類などを出すとは不埒な奴だ殺つて仕舞へと怒鳴りつゝ同守衛を包圍したに慘殺されんとした刹那附近の靑年數名が同人を救助に向ひ此處に双方大爭鬪を演じたが暴漢は遂に敵せずと覺悟したものか其儘逃走したので勇吉は九死に一生を得たが右暴漢は恐らく掠奪犯人であらうとて三日午後神奈川署へ訴出た

猛火の爲め進路を遮れた

公告

橫濱市第一回電車事業公債利子支拂は南仲通四丁目株式會社橫濱興信銀行假營業所に於て支拂致可候得共利札の明瞭を缺くもの又は一應現札持參識頭町市電氣局に御出頭被成下度候

大正十二年十月一日　**橫濱市電氣局**

大阪商船出帆廣告

橫濱發ピクトリヤ、シヤートル、タコマ行
十月八日
あらびや丸
十月十六日
海洋丈夫橫濱發
大阪商船株式會社　橫濱假事務所

東洋汽船出帆廣告

ホノルル經由
桑港行
大洋丸　橫濱發　十月十四日
これや神戶發同十七日正午
丸　橫濱發同廿五日正午
神戶丸　神戶發十一月四日正午
天洋丸　橫濱發同七日正午
春洋丸　神戶發同廿八日
橫濱發十二月一日正午
（長崎上海經由）
香港行
天洋丸　神戶發十九日正午
橫濱發同廿一日
春洋丸　神戶發十月廿五日正午
橫濱發同三十一日
（同上）

南米行

寄港省略
ホノルル、ヒロ、桑港、
銀洋丸　神戶發　十月二日
橫濱發　同四日正午

日本郵船出帆廣告

橫濱出帆神戶行
上海丸　十月八日午後
長崎丸　十月十日午後四時
上海丸　十月十四日午後四時
長崎丸　十月十六日午後四時
上海丸　十月十八日午後四時
橫濱出帆清水行
竹島丸　十月七日午後四時
同　十月九日午後四時
同　十月十一日午後四時
同　十月十三日午後四時
同　十月十五日午後四時
橫濱出帆米國行
橫濱丸　十月六日午後三時
橫濱市山下町三番地
日本郵船株式會社
橫濱支店假事務所

神戶行無賃運送船

華山丸（四千五百噸）　神戶直航船

五日午後橫濱出帆

○御注意
一、運賃無料の事
二、申込順に依り決定、但し滿員の節は御斷りする事
三、三日分以上の食糧及寢具携帶の事
四、手荷物は制限せざるも積卸の費用は各自自辨の事
五、積荷荷扱は正金銀行前橫濱運輸合資會社に御下命相成度事

橫濱市本町五丁目
申込所　鈴木商店橫濱支店
鈴木商店東京支店

父矢島善七儀

九月一日震災の際死去致候間御通知に換へ此段孰知各位に謹告仕候

追而葬儀は日時を定め執行可致候

大正十二年十月三日

嗣子　矢島文藏
男　矢島信三
店員　一同

父正三郎

九月一日震災にて死去仕候間來る六日午後二時より四時まで自宅に於て告別式相營み申候此段以紙上御通知申上候

橫濱市西戶部町勝柳阪上

嗣子　大藤時彥

震災橫死者追悼會

日時　十月五日午後一時より
場所　本所燒跡
主催　日本海員掖濟會　橫濱出張所

海員本所職員及家族其他本所構內に避難橫死せられたる方々の御遺族各位の御燒香を望む

大正十二年十月六日（土曜日）（五日夕刊）　横濱貿易新報　臨時第二十三號　（第三種郵便物認可）　（一）

夕刊 横濱貿易新報

定價 金壹錢
編輯兼發行人 山屋清次郎
印刷人 岩田四郎
臨時發行所 神奈川鐵道橋際 橫濱貿易新報社

復興要議

横濱復興策に就ては、既に代表的市民を網羅せる新機關が出來て、之を審議し、且その實行を期せんとして居る、併し帝國復興院の設立を見たる今日、橫濱の復興計畫を決定する最高權威は、當然同院に屬するのである、是に於て乎吾人は、一日も早く橫濱復興策に就ての輿論を確立し、之を以て同院の考慮を促がし、其立案施設の適切と敏活とを圖らなければならぬ

○

帝國復興院は、東京と同時に橫濱の復興をも、併せて企畫することになつて居る、而して其關係上、同院の協議には、橫濱を代表する幾人かゝ參與することになつて居る、但し仄聞する所に依れば、其代表者が知事、市長に限られ居る樣であるのは、餘りに官治思想に囚はれた措置であつて今日の場合、吾人の決して首肯する能はざる所である

○

或は今回の復興事業が、國の力に待つ所極めて大なるが爲に、其立案施設に就て、多く輿論に參從する必要無しと考へて居るかも知れぬ併し事業そのものが、如何に國の力に賴ること大なりとしても、それは矢張市民各自の活動努力を土臺として、企つるにあらざれば十分の効果を收むることが出來ないのは明かである、果して然らば、復興院が橫濱の輿論を參考とし、且之を尊重する爲に、知事、市長以外に橫濱市の輿論及び市會の代表者も、共に院議に參與せしむることは、此場合最も必要なりと信ずる

復興會各部會

四五兩日開會の分

金融部會

金融部會は四日午後三時開會大久保委員長外名出席し調査方針を（一）倉庫金融（二）銀行及產業資金に分ち小委員主査を擧げ各別に協議の結果第一部は左右田信次郎橫濱銀行頭取小野英二郎兩氏が五日倉庫業者會に出席しその結果を報告により協議する事となり第二部は貿易部會の移轉對策として（一）貿易資金の融通は不動產を擔保とする外なきも市事業としての土地買收に要する市債を發行元を引受け割引の方法による事（二）手形交換內地爲替事務をとり殊に救濟の方法をとり殊に救者は通信機關の完備を促すこと（三）營業資金貸付要求に對して各自努力する事等意見一致が正式移牒を待ち具體案とする事に決し四時半散會

市事業部

市事業部會は四日午後三時半沼委員長外八名出席して開會協議の結果第一日は左の諸項を決議して同五時散會

一、給水の總選を期する爲共用栓は可成使用區域を縮少し且バラックの集團地に共用栓を普及する事

二、此際滿二噸橋及本牧線を開通する事

三、電燈は共同バラックに普及を要するも之に先ち衛生を念慮し交通及警備を備ふる事

四、衛生施設は不取敢

（一）老松小學校內バラックを速成し十全病院收容力を增加する事

（二）大震外大騷建物を市に讓受惠濟收容所に充つる

（三）廢芥汚物を處分する

淋しく飜る星條旗

領事館は英米二國のみ

外人の死者千九百名

現住は僅かに二百名足らず

外人町と言はれた山下町やすれば橫濱在留の外人は殆んど共濟を消したやうにも見へる而して震災後の外人は殆んど共犬部分が滿船に避難し更に神戶、大阪に避難したものや歸國したものが多い併し其一部分は根岸の豐山や中村町の高臺の燒け殘つた家に居殘つたものもあるが食糧が不充分なので困難して居る、死亡者數は最近の調査に依ると千八百九十五名此外負傷二千三百五十三名行衞不明者千三名があると

三度び公市の慰問袋問題

曲は市場監督に在り

平野商店はとばつちり

市は退店の不當命令を取消す

過般本牧市場に出店者の一人平野彌助商店が慰問袋の白米を販賣せる問題につき當初は出店者が原意に非ざるも其の過失により販賣せるものとして其全責任は平野商店が負はせられ爰には市會當上の問題となつたが共扱ひ平野商店よりの嚴重なる抗議に從し市會局に於て精査せる結果其曲は寧ろ直接市場監督の衝に當れる主任者社會課吏員原金司

湯に入れぬ市民

ボッ〳〵浴場新設の計畫がある

神戶市寄附を筆頭として

震災後人心較々安定したる昨今一般の渴望して居るのは浴場であるが水道の通水未だ一般に行き亘らない爲めに浴場を開くものもなく假に浴場新設の計畫と共に其實行の決定したのは神戶市の寄附にかゝる三十坪の浴場で位置は高島町の水道工作場燒跡附近に豫定されて居るが此外本縣保安課へ新設の出願をして居るのは淺間町六一八北橋角太郎、戶部町二ノ五六土田二太郎及び羽衣町の辨天社境內に出願中のものとある

グランド其他一二

半永久的のホテル

が出來る見込がある

橫濱に外人招致は同時に宿泊に便なる外人ホテルの急設を要するので夫々考慮されてゐるが五日正午グランドホテルの支配人ベネット氏は復興會事務所に原富太郎氏を訪ひ實現方法を打合せたがグランドホテルには臨實な保險金百五十萬圓を有し資本に差支へなく他にも在留米人間に四十萬圓位の醵集の見込もあるから一二年永久的のホテルが出來る見込である

取引所前後策會議

松浦常務理事の報告

四日午後一時より開催の筈であつた橫濱取引所商議員會は井坂理事長の不愼勞々流會となつたが松浦常務から左記の報告があつた

一、取引所の證保保存の爲め代用證券は取引所が之れを占有す

一、新債券發行に際し記名人より直接取引員に請求ありし場合は一應取引所に照會す

一、本所に於て新券の請求

引員總會でも對客關係に就き協議したるも未だ結案を得ず來る四日再會する筈つたが五日の定時重役會も休會となつた

生絲市場

成行高値極

四十圓高決定

四日の生絲市場は結局四十圓高に折合ひ新規三萬三千斤の手合も乘したが即ち直段は最優等二千二百九十圓羽子板格二千二百七十圓、絡格二千二百十圓、八王子格二千百九十圓、春秋の開き得ず來入日再會する筈なるが五日の定時重役會も休會となつた

裁判所の豫審廷公判廷

近く開廷

倉庫掠奪の不逞の徒の公判も開かれる

橫濱地方裁判所は震災後神奈川臺の渡邊邸を借り受けて執務して居るが同家は日本間のみで豫審公判等の取調には其設備が不充分であるから鶴屋町の神奈川登記所の一部に法廷を設けたが之れて椅子等が不足の爲めに空席や箱を以てタイプや椅子に代へるといふ始末又豫審調所と檢事局の調所は鶴屋町の關東製鐵會社跡を借り受けたが同所には椅子タイプ等の設備が其儘引續いて使用し得る事となつて居るので直ちに執務し得べく伊勢山の所長官舍跡のバラックと近く新築する北仲通の元裁判所跡のバラックは何れも裁判所の出張所となり伊勢山出張所には奈川臺の渡邊邸を借り受けて執務して居るが同家は日本間のみで豫審公判等の取調には其設備が不充分であるから鶴屋町の神奈川登記所の一部に法廷を設けたが之れて椅子等が不足の爲めに空席や箱を以てタイプや椅子に代へるといふ始末又豫審調所と檢事局の調所は鶴屋町の關東製鐵會社跡を借り受けたが同所には椅子タイプ等の設備が其儘引續いて使用し得る事となつて居るので直ちに執務し得べく伊勢山の所長官舍跡のバラックと近く新築する北仲通の元裁判所跡のバラックは何れも裁判所の出張所となり伊勢山出張所には同樣の事務を取扱ふ筈であるが、斯くして裁判所の陣容も整つたので近く豫審廷公判廷共開廷するに至るべく目下豫審中の事件は傷害致死外一件で公判に移る事件は例の震災の大混亂に乘じ稅關倉庫、船渠倉庫、橫濱倉庫高島町の貨車等より貴重品を窃取したものや掠奪をやつた不逞の徒百數十名に對する强盜竊事件であるが被害主任官が決定する事になつて居る伊勢山出張所

「避難民四名」の話

（五）

南桂生

汽車のスイ峠にさしかゝる頃から疊は消えて車の中は眞暗になつた、高原の夜の空は星影も淡く、遙かの彼方がポーッと淡明りに染められて却て物凄さを感ぜしめた、獨逸の飛行船に脅かされた英佛の汽車が惡火を滅して ヒタ走りに走る狀を偲ばしめた、足が痛くなつてしやがみたかつたが其れは許されぬから無暗に水を呑んだ、眠くなつたが迚も眠れない

北條を過ぎて直江津に着いたのは七日の黎明であつた、初めて郷里へ打電する事を得たので肩荷が一つ卸ろされた、金澤、富山を過ぎて敦賀に着いたのは夜も八時過ぎとなつたが、汽車の出發到着共に午時の時刻を破つて居るので乘替毎に連絡が困難となつた、私達は米原經由を避けて小濱線へ乘ろうとしたから一夜を途に敦賀で明かさねばならなかつた、兎に角歸るとも青年團が爰にも我等を迎へて呉れた、其周旋で驛前の一旅舍に投ずるを得た

小濱線の一番は午前五時半頃である、軍備縮少から大恐慌を來たした舞鶴より午後二時の發動船で愈々郷里への最後の乘物に乘つた、船が外海に出ると遖かに多少の搖れを感じたが荒海として聞えた由良沖の波も今日は極めて靜かにて、雄島沖島の夢のやうな影が右手の海に浮び、丹後富士の雄姿が我等の行手を照した、余は初めて平和なる天地よと叫びたくなつた、戰場に

名苑未だ滅びず

（一）

訪ふ人もなく秋草ひとり艶を競ふ（三溪園）

名所めぐり

地震の話も大分飽きた、人間、喉元過ぎれば暑さ忘るる道理で、あの時「生命さへあれば好い」等の者が不心得にもそれを忘れ果てゝ「南京米は喰へぬ」の「山葵のシコタマ這入つた飴の壺が喰ひたい」のと口に稅金がかゝらぬからでもあらうが、扨かすれば扨かすはけれども、懲りて考へて見るとこのゴタクを並べたてられるだけ人間らしい餘裕も出來て來たので靜御前ならねど昔を今になすよしもなくとさんについて訪ふ人稀れの名園にと足を入れる。遙かに見上る山上の三重の塔は元のまゝだ、「第一回目に隨分傷いたのが二回目のできた元通もになつてしつたのです」と聲公曰ふ。海岸は機纜が八分通り陷落したのと左側の崖が崩れたのと、附近に數條の龜裂が見えるのとそれだけ。コンな程度の被害なら すぐに元通りに直るだらう、現もあれ待春軒も橋公も駈込寺も養龍依然で所々の石鳥居が崩れたがなとこの心をえ一層わが橫濱の復興を早からしむるものだとも云へば云へやうな閑話休題、前世紀の橫濱の名地今や如何に足の向くまゝ先づ第一に本牧は三溪園を訪れてみる、

長い樫のトンネルの左側迄伸びた紅葩子の壁手は幾部分の樫の粉をも被ぼしたが、十本がうち八本までは又來春には笑顔も見せたげな風情である、ベシャンコになつた不動さんの裏れなながらを見つゝ、入口に着くと「園內破損危險に付き入園お斷申候、三溪園」の札が裏れ深くも立てられてある「しゞ僕が案內しませう」と言はるゝよりも 請願のお詣り

寺、茸、菓子、パン其他多數の食糧品は此等の同情者から十分に與へられ、鐵道省の適切なる處置で汽車賃も要らず、この三百マイルの長途を、遖はねば無一文でも旅行するを得たのは永く私達避難者の感謝の記憶に止まる事であらう、平生田舍者と輕蔑した其の田舍者の情けの厚さには今度こそ身に染み〳〵と覺えたとは汽車の中で都の落人から屢々聞かされた所であつた大正大地震の最大の印象として、私は自然の大暴力と人間の慈悲心及び他の半面に於ける人間の情けとを永へに忘れない（終り）

小包郵便も

五日から開始

市內郵便關係の事務も漸く復舊して櫻木町驛前の假局舍に移轉以來漸く緒に就いた內國郵便の逃逸丈けはこと完備の形であるが外國郵便は取扱つてゐるといふ丈けで完全な復舊の見込はないが小包の取扱も五日から開始される相である

尋常科兒童は

授業免除

四日の學務委員會で決定

震災後第一回の市學務委員會は四日午後二時から市役所內に開き市長代理青木助役の挨拶に次ぎ中川課長より震災後執りたる教育關係事項の處置及び經過報告並に小學校授業開始準備につき教室の配當等に關し詳細なる報告あり小學校授業料免除に關しては尋常科兒童全部に對し免除と決定尙ほ既報の學校其他復舊計劃及豫算三百四十萬圓を附議數會した

取引商道に對する態度は三日復興會事務所の協議會で第一に從來の賣込持込金全都要求取引急速開始の要求及び從前の債權に對する適否を代表者に遊發する事等を決議した

腸チブス及赤痢が

平時より大分多い

木騷の衛生狀態は震災後類る良好であるが腸チブス及赤痢が平時より多きを占めて居る最近驚衛生課で調査した處に依ると市部及び郡部の現在患者數左の如し

地名　腸チブス　赤痢
橫濱市　四二　四八
橫須賀市　九　二
久良岐郡　三二　二
橘樹郡　一八六　一四
都筑郡　三二　七
鎌倉郡　三〇　三
高座郡　一四　八
中郡　一四　三
足柄上郡　〇　〇
足柄下郡　三　〇
津久井郡　〇　〇
愛甲郡　六　〇

又九月一日から死亡した腸チブス患者數は百二十四名赤痢で死んだものは四十八名であると

京都の佛教護國團

京都佛教護國團で京濱の罹災民の少年少女其家族を三千名迄で引取り京都の大學院に收容する豫定の處遖備の地として希望者少數なるも是が斡旋方を依賴されたる遠藤戶部署長は護國常務理事澤來瑞光寺住職見尾薩盛諒師が四日來濱を好機として市內の寺院を借受け六月間其寺院に收容して教育を施すやう懇談する處があつたから或は實現するかも知れぬと

戶部署の震災記錄

戶部署では大震災を永遠に記念すべく署長以下全署員は震災に於ける活躍狀況並に感想等を記錄すべく目下是が文章をば蒐集中だと

共同便所增設

市內の共同便所は市で設置したもの丈二ケ所であるが更に左記二十ケ所に增設する事として目下準備を急いで居る

△海岸通一△扇町四△石垣町△岡島玫瑰　長野嘉吉　中垣保　中山政吉　南里益二　忽鄕檀次郎　熊谷幸助　松村亮吉　增田增藏　神奈川市　阿部太市　阿部幸之助　秋山龍吉　齋藤市太郎　佐藤太三郎　庄川庄次　上甲信弘　澁澤一　日置保彥　森村寬司　鈴木彥太郎　工業部（委員）　井田清三　礒部安次郎　石塚彥輔　日清製粉株式會社橫濱支店代表者　東洋電器製造株式會社橫濱支店代表者　東京麻絲紡織株式會社橫濱支店代表者　加藤重利　笠原庄太郎　橫濱製鋼株式會社代表者　橫山政二　吉永仁藏

△根岸橋際際花咲橋際△東神奈川驛前

淺野綜合中學開校

同校は山上の校舍は崩壞したが山下の工場を間仕切りをなし五教場を造り本月一日始業式執行二日より通常の通り授業を開始した生徒二百五十有餘名の出席を見たりと

市掃除夫は陰性

戶部居住の市掃除人夫岩崎又吉（五三）がコレラと鑑定された由は既報したが其後當の培養再檢査の結果遂に陰性と確定したので其筋は勿論附近の居住民は勿論神奈川縣警察部衛生課の報一度得ない權威ある醫師の診斷に依り全く安心の態となつた

公設市場の整理と振作

市內十六ケ所の公設市場は開設以來自米味噌醬油並びに日用品等を販賣して昨今市場に對し兎角の批難あるため四日午前九時から各市場主任者を市役所に招致し販賣品の品質數量價格公正に注意する外立入つて監督檢査を振り廻はさぬ樣注意を與へ尙ほ在庫品の整理が亂雜になつて居る嫌あるより同日午後各市場共棚卸を行ひ整理を爲し其振作を期する事となつた

肥汲取り心配無用

市內の糞尿汲取りは共同便所並びに假收容所の分を部部蔬菜組合に一手引受せしめ一般罹災者バラックの分は衛生課の人夫をして就れも無料で汲み除けさせて居るが時期柄も農家の需要期節なる爲め比較的完全に汲取りが行はれて居ると

橫濱復興會計畫部委員（續）

貿易部（委員）
綿野吉二　加藤平次郎　鹽井信次郎　小川勝三郎　岡島玫瑰　長野嘉吉　中垣保　忽鄕檀次郎　熊谷幸助　松村亮吉　增田增藏　神奈川市　阿部太市　阿部幸之助　秋山龍吉　齋藤市太郎　佐藤太三郎　庄川庄次　上甲信弘　澁澤一　日置保彥　森村寬司　鈴木彥太郎　工業部（委員）　井田清三　礒部安次郎　石塚彥輔　日清製粉株式會社橫濱支店代表者　東洋電器製造株式會社橫濱支店代表者　東京麻絲紡織株式會社橫濱支店代表者　加藤重利　笠原庄太郎　橫濱製鋼株式會社代表者　橫山政二　吉永仁藏　大日本人造肥料株式會社橫濱工場代表者　中村房次郎　村田重義　上野直次郎　山宮鼎　鈴木善兵衛　金融部（委員）　鈴木德治　井上治兵衛　鍋戶右門　外山知三　大河原榮之助　大久保利賢　岡田儀一　岡田源吉　川崎銀行橫濱支店代表者　金子常太郎　橫濱倉庫株式會社代表者　臺灣銀行橫濱支店代表者　第三銀行橫濱支店代表者　第百銀行橫濱支店代表者　野口弘毅　安田銀行橫濱支店代表者　松浦鎭　藤井彥四郎　ブローカー銀行橫濱支店代表者　小泉菊若衛門　小總八郎右衛門　荒川信十郎　左右田信二郎　左右田捷一　佐田友雄　齋藤虎五郎　十五銀行橫濱支店代表者　辛酉銀行代表者　辛酉久三郎　住友銀行橫濱支店代表者

鷲糸入荷（一日分）

△春子秋ナ夏ヨ黃（春子名會社十九個）
△伊藤合名會社（十九個）
武州大盛館ア　武州金喜館ア　武州名執ア　△小川商店（廿五個）　武州長谷部ハ　武州正辰館ハ　△數野商店（十二個）　武州關口館ア　△片倉製糸紡績株式會社（四百十六個）　武州石原片倉ア　△原合名會社（四百十六個）　尾州尾立五郎ハ　尾州名古屋製糸ハ　信州東美社ア　信州下諏訪山十ア　信州山十組山五製糸所ア　信州川岸片倉ア　信州入市小口ア　信州關上社ハ　武州尾澤熊谷ア　武州大宮片倉ア　武州笑城縣ア　常州眞壁製糸ハ　常州岩代製糸ハ　△神栗株式會社横濱支店（百三十六個）　羽前丁百合ハ　武州關口館ア　信州丸山小口ア　信州金二本部ア　信州金上小口ア　信州細山山十ア　△菱湧商店（六十二個）　岩代丸共森ハ　同　同　信州富岡館ハ　△時澤商店（六個）　△日尚都城小口ハ　△日米生絲株式會社横濱支店（二百十八個）　武州富岡館ハ　武州深谷ア　常州石岡小口ア　尾州中央佐屋川ハ　尾州中央村瀨ア　三州中央豆ハ　△三州中央名會社（三十三個）　伊勢神館ハ　△株式會社秋村商店（九個）　豐後大分山十ハ　△名會社小島商店　信州角吉組ア　△名會社（百三十五個）　三州菊水社　尾州中央佐屋川ハ　尾州中央村瀨ア　三州中央豆ハ　△三州中央名會社（三十三個）　伊勢神館ハ　△株式會社秋村商店（九個）　豐後大分山十ハ　△名會社小島商店　信州角吉組ア　△名會社（百三十五個）　三州菊水社　尾州中央佐屋川ハ　尾州中央村瀨ア　三州中央豆ハ　△三州中央名會社（三十三個）　伊勢神館ハ　金融部（委員）　井上治兵衛　鍋戶右門　外山知三　大河原榮之助　大久保利賢　岡田儀一　岡田源吉　川崎銀行橫濱支店代表者　金子常太郎　橫濱倉庫株式會社代表者　臺灣銀行橫濱支店代表者　第三銀行橫濱支店代表者　第百銀行橫濱支店代表者　野口弘毅　安田銀行橫濱支店代表者　松浦鎭　藤井彥四郎　ブローカー銀行橫濱支店代表者　小泉菊若衛門　小總八郎右衛門　荒川信十郎　左右田信二郎　左右田捷一　佐田友雄　齋藤虎五郎　十五銀行橫濱支店代表者　辛酉銀行代表者　辛酉久三郎　住友銀行橫濱支店代表者

本市震災殉難者遺族に謹告

震災殉難者各靈の神葬及び慰靈祭希望の御遺族は各氏神神職へ御申出ありたし此際無報酬にて奉仕す

橫濱市神職會

脇昇（ワキ　ノボル）

（年齡拾七歳）

右者行方不明ニツキ御心當ノ方ハ午前手數左記ニ御通知被下度願上候

橫濱市表高島町　共立倉庫構內
共同運輸株式會社
假事務所

第一中學校

橫濱市濱

組織變更の爲め第四五學年生徒は十月十五日午前九時第三學年以下は十月廿五日午前九時より登校すべし當日登校し難き者は其の旨届出づべし

神奈川縣立

神中公告

右者ノ内ニ御心當ノ方ハ午前九時迄ニ御通知被下度願上候

急告

今回の震災に際しては御懇篤なる御見舞を辱ふし難有奉深謝候言語に絕したる大災厄にして定めし皆樣方も御損害不尠ことゝ拜察候弊所に於ても諸設備並に建築物金庫及重要書類等總て燒失致し候に就ては此際至急株主名簿及臺帳作成の必要有之候間乍御面倒印鑑を添へ本所へ來る廿五日迄に御提出相成度又燒失株券は所有者の住所氏名に可成株券の種類番號を記入し所有及燒失を證するの證據書類二名以上の保證人連署に印鑑を添へ御通知被下度此段公告候也

株主各位

十月一日

橫濱市本町三丁目四十二番地
株式會社　橫濱取引所

公告

橫濱市第三回事業公債利子支拂は南仲通四丁目株式會社橫濱興信銀行假營業所に於て支拂を開始す

大正十二年十月一日

橫濱市役所

營業開始

海陸並に鐵道引込線の便ある當社は天祐にも火災を免れ倉庫亦大半殘存致直に修繕相整ひ候に付ては十月一日より從來の通り營業開始仕り候間御用被仰付度此段謹告候也

大正十二年十月一日

橫濱市千若町一丁目一番地

橫濱倉庫株式會社

社長取締役子爵　酒井忠亮

相談役　神田雷藏

明治大學

大學豫科、大學部專門部各科

○學生參集十月十二日午後一時本學校庭向同日迄ニ學科學年ヲ記シ通學ノ區並宿所ヲ届出ノ事

○入學試驗　缺試驗ハ八月以來當告セル大學豫科各科一年補充ノ爲メ十月九日十日午前九時ヨリ擧行專門部ハ九時ヨリ擧行

○授業及試驗ハ學校々舍ヲ使用ス

○罹災校友諸君ハ御住所通知ヲ請フ。明治大學校友會本部

東京市神田區駿河臺

十月

大正十二年十月七日（日曜日）（六日夕刊）　横濱貿易新報　臨時第二十四號　（第三種郵便物認可）　（一）

夕刊 横濱貿易新報

復興要議

横濱市が今後各種の施設を爲さんとするに就て、必要を感ずるもの多々あるが、戸籍簿の如きも確に其中の重なる一つである、一體市政上の事は、凡べての標準を戸籍簿の上に求め、何事も之から割出して決めることが肝要である、而も今日、横濱市の戸籍簿は、悉く燒失して仕舞たのである、戸籍簿が無くては施も物差無しに仕事をすると同樣である、無駄が多くて、而もシックリ目的に適合したものゝ得られぬは、固より當然の事である

○

是に於て乎戸籍簿の再製は、急務中の急務であると考へる、而して此事は、就中共團體と手數の大なる本籍人口に對して、先づ着手すべきである、此本籍人口は、既往の統計に徴すれば、總人口の約五分五厘に相當するから、震災に或る減少を來たせりとも、先づ概算二十萬前後と見て大差あるまい、吾人は之に對する調査を速かに開始する樣、市當局に勸告する

○

併し此大異變の場合に於て、從來の市役所だけの機關を以てしては、急速に是等の事柄にまで手の屆き譯が無い、就ては非常臨時の施設として市會議員の五選擧區に則り、之に一部市行政の取扱ひを爲す假機關を設け、其區に於ける名譽職員の幹旋盡力の下に、如上戸籍簿の再製を始めとし、諸般市行政方面に於ける復興要務を處理するが如きことも、亦臨機の一策ではあるまいか、市理事者並びに市會議員の一考を煩はす次第である

聯隊常置は都市防策上必要と認む

戒嚴司令部側の意向

震災後の横濱市内の軍隊警備に端を發し市會は横濱に一個聯隊の常置方を決議し市長から上申したが横濱市復興會も亦此の希望を有してゐる同時に戒嚴令下の東京、横濱の事情に鑒み遠からず撤廢の場合は横濱を特に考慮に置き過期の措置を要望したいとの說あるが警備隊司令部側の意向を聞くに

戒嚴令の存廢を云爲する事は避けたい假令撤廢さるゝも直に軍隊の引上げを意味しないから不安を抱く必要はない併し憲兵又は警察の警備で足る事を何時迄軍隊に依賴するは不可である聯隊常置はと云ふとは別であるが都市防衛上必要だとは今回の經驗で認められてゐるだがこの方は衛生上一日も急設を要する用水の關係で困つてゐる市場は廿ケ所を建て市へ引渡や筈で其の外協調會の施設として縣下小田原、橫須賀、浦賀、平塚、保土ケ谷、鶴見の六ケ所に職業紹介所を設ける計畫がある

救護品は現在六七十万圓猶續々として來る

政府も縣も持餘し氣味

罹災民へ捨賣りをするらしい

横濱市復興會は五日午後二時半事務部會を開き原會長外十二名出席して會長から復興の應急計畫を求めて小賣商に資らしめんが爲の總務又は當務委員に諮り進行したしと承認を求め渡邊市長から

一、救護物資の捌下を愼速に且つ廉く販賣する件

一、就業資金の融通を受ける件

に就き說明旁々相談をした即ち我國内に堆積する鑵詰漬物、食糧、罐頭、サイダー、ビスケット其他の救護品を政府が金錢取引上信用ある商社に引渡し大體五人宛より一割五分引で小賣商に賣らしめたい意向であること

本縣の救護事務局は市内に公設浴場十七ケ所、書四場廿ケ所を建て市又は組合へ引渡しの計畫をしてゐるが浴場は組合と交渉して神奈川一ケ所、戸部三ケ所、伊勢佐木五ケ所、壽四所、中村町に倉庫だけを燒

大人三錢、小人一錢 困つてゐる人は無料

縣救護事務局の浴場十七ケ所

日用品市場廿ケ所も出來る

麻布聯隊の移轉の場所 市から更に建議する軍隊の常置

市では今次の震災に際し當初兩三日間市内の秩序並びに保安は全く失はれ大混亂のドン底に投込まれ軍隊の派遣により漸く生色を得たる苦き經驗に鑑み過般渡邊市長より關係各大臣に宛て一ケ聯隊の軍隊常設を申請したが市會に於ても滿場一致の如く極端なる當局反對論者を除き大部分は同樣意見にて至急上申書を作製し八日午後一時より開かゝる市會協議會を經て關係各省に建議する事となる可く恰も東京麻布三聯隊が兵舍破損のため他へ移轉の案ある際此の常置希望は運動如何により比較的容易に實現を期し得らるゝ可しと觀測されて居る

内外米を四分六に喰つてゐた

縣が一日震災以來本月二日までに横濱市内及び郡部一般に配給した米は外米三萬八千二百八十六石、内地米一萬三千七百四十石、計五萬二千二十六石で内地米、外米を四分六の割合で喰つて居た譯である更に其他の食糧品は左の通りである

此の大部分は市内の罹災者に供給され部部に對しては餘り多く行つて居ない和である

可憐な筆で溫かい眞情こもる慰問の手紙

幾度かホロリとする吏員

學校用品寄贈陸續

市内小學校の罹災兒童三萬八千人の就學者及び學用品に就ては殘る各府縣へ寄贈方を依賴中で五萬圓分を筆頭に兵庫、福井兩縣並びに福岡、廣島、富山、宇和島、久留米、門司、若松、大牟田各市から續續として申込あり既に當市の震災二十八個を始め宇和島市の救務書七千四百四十五冊其他學用品などは到着し仕譯所なる壽小學校内で北川親學以下の係員が大童となり整理中だが全部の仕譯けが濟み次第各學校兒童數に案分して配分する可しと云ふ方文部省に配給を申請しある分とを合すれば既に今回の震災に際し各地からの寄贈品中には可憐な筆で溫かい眞情が籠る慰問の手紙を入れたものが少なくない其の同情には幾度かホロリとさせられる事がある相である

生糸入荷高復舊す

震災累計一万梱突破

清水港中継の事業次第に進捗すると共に橫濱への生糸入荷は次第に增加し五日は實に二千十二梱の多きを算して略ぼ震災前の狀況に復歸するを見たが過去一ケ月間產地の出荷不如意なる事勿論なれば近く續續增加

支那糸も積出減少

上海糸は二割五分減

上海市場も昨今氣配强調なる事勿論なるが其積出高は昨年に比し遜色あるが如く六月一日以降九月十七日までの積出ベル計一萬九千八百九十八梱に對し前年同期間の二萬六千四百四十一梱に比し六千五百四十三梱減

即ち二割五分方の減少に當る由來は蓋し支那に於ける生產不足に因るものならんが日本の震災にて其積出不良なると相俟らて當國に於ける米國内の生糸は益々供給不如意の狀態に立つた譯である

歐三舘の態度良好

代表者漸次歸濱す

神戸に避難した屬米買入中九十一番デロオロ氏、二百五十三番ヂャーレス、エマル氏の所謂歐三館代表者は僉て橫濱貿易商より致した歸濱勸告もあり旁々六日午前十一時來濱して早速今後の善後

横濱郵便局の拂出し 五日迄に廿三万五千圓

帳簿なく印鑑なき は拂出中止

橫濱郵便局が去月十一日貯金の拂渡しを開始して以來進日拂渡しを請求するものヒシ〳〵と詰め寄せ來る最初は軍隊の保護を受けて漸く執務をして居るやうな狀態であつたが去月廿八日限りも無通帳、無印鑑の拂出し及印鑑所有者に對しては拂渡しの制限を撤廢して以來拂出し高二千三百四十二個にして六月一日の新系以後の合計は十六萬二千四百廿五個半である

現在にては殆んど平常と變りなき狀態となつて居る而して去月十一日拂渡て開始以來昨五日迄の拂渡し口數は一萬四千三百二口、此金額二十三萬四千六百三十二圓十錢であるが此期間に於て一日の拂出口數が最も多かつたは去月二十八日の千五百口で金高の多いのが同月十九日の一萬八千五百五個見當を評價せられ居だ關西方面のみが災害前相場を支持するに過ぎない

テブス豫防の注射

罹災者一般に徹底せぬ

十全病院で液を多量に準備す

昨今市内に於ける傳染病は市街生を假小屋住居や不潔の陽氣過勞の結果等種々の原因で增加に病は初發熱すれば直ちに注射を受けるやう努めて居るが今尚市内の一部には注射を忌み嫌ふ者が少なくない有樣に市衛生課では醫の助力を求めて注射を勸めて居るが冷氣の加はると共に一層增加の傾向がある爲め各自の自衛宣傳をなす筈である

一方市の十全病院では頃日來來盒のテブス豫防液を準備し診療時間中申出次第無料注射を實施し

生業部會の決議

横濱市復興會生業部會は五日午後一時半より左の二項を決し同二時二十分散會次回は七日午後二時

一、外人ホテルの建設を援助すること

二、建築材料の配給をシュミット氏に於て最も早く供給する樣斡旋すること

預金者安心

上郡銀行の適切なる營業振り

是橫上郡に於ける各銀行は熟れも震災後に京濱地方の親類縁者が遇つた爲め借入れ不可能となつたので都の奔走に依り中京地方の銀行から一時資金の借入れを爲し騒擾下に於て最も早く去る十七日から一日金五十圓を最高限度として拂出しを開始したので預金者も安心引出しは極めて稀れであると

人心慰安業者の取締方針

衞生と風紀問題

決震火災後の人心は一般に荒んで居るものがあるを以て之等の者に對しては取締規定方針も定まつたので近く右の營業者に對する臨時取締規則が縣令として一日中に發布さるゝ筈である、規則の内容は建築、防火、衞生、風紀等に亘つて時に處する適當なる取締をする事になつて居るが要するに建築はバラックでも差閊へないが衞生と風紀とに就いては此際特に取締を嚴重にするやうになつて居る

公市十六增設の場所

商人直接販賣

市の公設市場は現在各方面に十ケ所を開設し白米を始め味噌、醬油其他の日用品を販賣して居るが遠方から買ひに來る者の不便を除くため更に十六ケ所を增設する豫定で目下斡旋事務局と交渉を重ねた上適地の物色を急いで居るとの事で近日中に現在之等の市場は大部分市直營でやつて居るが適當にして經營を商人の見つかり次第成る可く商人に直接販賣せしめ供給の迅速と品質及價格の吟味に付嚴重なる監督を加ふる目論見だと

貸工場

西本沼町所在

洋館事務所附建坪三十二坪交通至便御希望の方は保土谷御門六二八谷山へ

立退先

佐々木周八

相續人井ノ口ウメ

定價（金壹錢）
組織會社　橫濱貿易新報社
發行人　山屋清次郎
印刷人　岩田一四郎
臨時發行所　神奈川鐵道橋際

名所めぐり（二）

半ば右向の掃部さん

秋の哀れ一入深き　此頃の掃部山公園

秋の哀れを一入深くさせるのは掃部山の此頃の風情であらう、在りし日、一望よく百幅千幅の港を出入りするのが指顧の間にながめられ、その墨煙はドック會社の煙突、あのあたりが伊勢佐木町の賑ひよと、常平生ならば、この秋日和に杖を曳く閑人、さては近郊より集ひ寄る小學校の遠足の團體などで賑ひもやまなにさも變れば變るものよと島渡方丈記の筆者めいたセンチメンタルな詠嘆も出て來ないできた、と程左機に我輩の氣分にもユトリが出今日、掃部山に立つてみれば掃部さんの銅像を挟んで六ムネのバラックが出來、燒かれて枯れた櫻の梢や銅像を廻る鐵柵にはあの慘々たる震火に次で起れる初火に、江戸市中は火の海となつたことは、今度の大震災同樣であるが、本稿も著の記錄は當時のお役人だけに江戸城内外の被害に詳しいが、市中一般の凄慘な模樣には餘り書き記されてはゐない今その中より重立つた三三を掲げると次のやうである

江戸城内外被害

大手冠木御門倒れ候半、同所御櫓大に震れ込み大御番所外張番共倒れ、渡櫓白壁無震同脇石垣崩れ候半

右は今の二重橋の大手門及木造であつた二重櫓の被害であらう、

内櫻田御門御渡橋崩し落ち大番所其外潰れ候半

同所内大下馬疎らず燒失現今に殘る櫻田門のことで上の渡橋が崩潰したのである、併しこの激震には御金藏だけは安泰であつた尽く御金藏御構塀疎らずつぶれ、同所内御役所も大破損御金藏は別條なし

震火に次で起れる初火に、江戸市中は火の海となつたことは、今度の大震災同樣であるが、本稿も著の記錄は當時のお役人だけに江戸城内外の被害に詳しいが、市中一般の凄慘な模樣には餘り書き記されてはゐない今その中より重立つた三三を掲げると次のやうである

江戸城内外被害

大手冠木御門倒れ候半、同所御櫓大に震れ込み大御番所外張番共倒れ、渡櫓白壁無震同脇石垣崩れ候半

右は今の二重橋の大手門及木造であつた二重櫓の被害であらう、

内櫻田御門御渡橋崩し落ち大番所其外潰れ候半

同所内大下馬疎らず燒失現今に殘る櫻田門のことで上の渡橋が崩潰したのである、併しこの激震には御金藏だけは安泰であつた尽く御金藏御構塀疎らずつぶれ、同所内御役所も大破損御金藏は別條なし

安政の大地震（三）

江戸城の被害と市中の社寺

玉　愚　魯

とある、江戸城の本丸は玄關前の門の白壁落大番所の廂が落ち、それにつゞく腰掛け並に目附部屋通りが悉く傾斜したが倒潰しなかつた、又二の丸の御殿は玄關左右に張梁があつたので格別の損所はなかつたさうである、城内之の場所は其年十二月までに夫れ夫れ取壊して新築工事にかゝり正月の御祝式には榮玄なかつたこの外田安御門、清水御門の各門は何れも大小の損害を受け中に一燒失したのは和田倉門と馬場先門であつた、

火と水の責め苦

紅葉山御門から矢來御所の間地割れして噴水した、火に次ぐ水の呵責は、四ッ谷上水の大樋（古老いふ樋一丁竪位と）が潰れて大洪水となつた事で、諸人難誠頻りだので早速取締りした、又品川の七砲臺中松平肥後守の持場であつた二の御臺場は燒失し、勘解由小路の侍分五人は無事脱出したが、其外身分輕きもの、死亡した、その外の臺場も一帯に震動したが、何れも無事、深川の洲崎辺も一帯に震動したが、何れも無事、深川の洲崎辺も一帯に震動したが、何れも無事、深川の洲崎辺

大正十二年十月八日（月曜日）　横濱貿易新報　臨時第二十五號　（第三種郵便物認可）　（七日夕刊）　（一）

夕刊 横濱貿易新報

定價 金壹錢
福料堂　山屋清次郎
發行人　岩田　四郎
印刷人
臨時發行所
神奈川鐵道橋際
横濱貿易新報社

復興要議

○

舊横濱の形體は既に壞滅したが、舊横濱を造り上げた思想精神は尚ほ其儘の狀態に於て殘存して居る、若し其思想精神が偏執固陋なるものに非ざりしならば、之は横濱に取つて無上の幸福であつたに相違ない、然しセウ土の間に蠢きつゝある所謂復興思想復興精神は依然たるもので、幾んど更生の面影を認むることが出來ぬ樣に感ずる、これでは切角五年十年の努力を以てしても、其結果は舊横濱に似て面も之に及ばざるものを實現するに過ぎ無いことを疑れる

○

震災の爲に横濱の人口は可なり減少するとしても、衣食住の途絶や共緒に就くに至らば、一時の避難者も漸次歸り來るであらうし、結局震災前と甚だしく相違する人口になつて縮少せぬものと推測せられる、而して彼等は將に同じスタートラインの上に立ち、各自の運命を新横濱建設のコースに爭はんとして居るのである、此場合事業の種類や過去の閲歷や其他偏僻なる傳統的の思想感情に依るハンデキャップを各自の間に設くることは、絶對に排斥せなければならぬが、市民諸君は日下果して這般の不滿と不平なしに復興事業のスタートラインに立居ると思ふ平

○

復興運動は舊横濱其儘のものを再建せんとするに非ずして、舊に新横濱の建設を目的とするで無ければならぬ、それには須らく自由闊達なる思想精神が此運動をリードするにあらざれば所詮駄目である

復興院の兩副總裁來濱
原會長赤誠を披瀝し
渡邊市長も挨拶を述ぶ
宮尾副總裁感激の辭に酬ゆ

横濱市の震災被害を視察のため復興院の宮尾松木兩副總裁、太田土木局長は七日午前九時半來濱渡邊市長の案内で同十時本町通り横濱市復興會事務所を訪問し是に先ち會員約五十名參集して一行を歡迎した會長原富太郎氏は一同に代つて

此の復興會は成立以來連日熱心なる研究を續けてゐるが將來復興院の御援助に俟つて復興の目的を遂したい東横濱が首尾相應じて新計畫を樹立すると後藤內相からの言明に接し市民の深く歡びとする所である今日は寔に市民一般が一心に恢復に從事し是非從前に優る都市を建てなければならぬといふ非常の意氣を示してゐる生か死か殘れかと云ふ外はないのである今後なほ一層吾が橫濱市の前途に跋き御配慮を乞ふ次第である

と赤誠を披瀝すれば續いて渡邊市長は

折柄の雨天と繁忙の際御出で下さつた事は感謝に堪へぬ橫濱市復興會は官民の一致各方面を網羅した代表的機關であつて今日之れを除いて興論の歸趨を察すべきものはないのである成立を告げてから僅か數日しかも意氣は頗る昂く復興に向つて驀進せんとしてゐると同會の現狀を語り宮尾副總裁は

橫濱の震災と諸君の熱誠に對しては轉た同情と感謝に堪へぬ大震災による損失とその影響するところ甚大であつて今日復興の事には不拔の決意と努力にて爲さうと右に付き伊勢佐木署長警視は語る『伊勢佐木町通りの住民は市の爲め同時に同會の復興に努力して居るバラック十七年迄で居住し得る本建造に近いバラックで本月中には建設を終る豫定で十一月一日から一齊に營業開始の營であるから所謂土地開拓の先驅である花柳とか觀物場の如きも此際縣の方針に基き寬大の所置をとつて一日も早く營業し得る樣にしたいと思ふ斯うして震災民唯一の慰安にもなるのである

他の御努力に期待する諸君がこのバラック內に於ける勇氣を持續してゆかれたならば今日失はれたものゝ恢復新なる建設立所になる樣深く信じ疑はぬものである自分等は諸君の御研究の結果により指導を受けて大にベストを盡す決心である

と挨拶を述べ夫より市長其他の案內で稅關新港より棧橋の破壞の跡山下町山手町に出で港內を一望し本牧鼻頭を經て伊勢佐木町關內のぬが偏にこの點は會長共、嬬土を巡察し午後歸京した

バラック內部の設備問題
風紀上衞生上の問題
若い婦人は物騷ぎる
出來ても不成績な所以

市の罹災者收容バラックは既に百三十四ヶ所坪數九千二百五十二坪だが出來上り二千百三十九世帶此人員九千八百四十四人を收容して居るが最も多いのは末吉町の十五ヶ所に二百六十八世帶人員千四百三十人位いなもので少ないのは長者町の十ヶ所に僅々二十五世帶人員百人及び元町五丁目には三棟二百七十坪のものが出來て居るが一人も這入つて居ない狀況にある當初福祭者の間に待ちこがれられたバラックが出來上つてから

ら此の不成績なのは之等バラックの大部分が一列に仕切もなく見通しのつく建て方で風紀上衞生上缺陷が多いためコノ〳〵困窮して居るが最も多いのは末吉町の十五ヶ所に二百六十八世帶人員千四百三十人位いなもので少ないのは長者町の十ヶ所に僅々二十五世帶人員百人及び元町五丁目には三棟二百七十坪のものが出來て居るが一人も這入つて居ない狀況にある當初福祭者の間に待ちこがれられたバラックが出來上つてから

伊勢佐木町通の商家は
十一月から一齊に開業
花柳界や觀物場も復活

右は縣の方針で總て寬大

橫濱隨一の繁榮地である伊勢佐木町通りの住民が奮起して橫濱復興上に共鳴を示さんとの申合せをなし耐久外觀造作の建設を急ぎ各町共夫々地方に於て切組中で本月末には吉田橋から一直線に長島町に掛けてバラックの建設を終り十一月一日より一齊に各自の營業を開始する樣になつた、尙ほ此の建設に際しては從來の狀態を變更して道路を廣くし、又た當署は管內にバラックの建設增加に伴ひ警備して從來の派出所即ち日の出町と野毛に震災前樣十七ヶ所の外に同町の復興に努力して居るバラック十七年迄で居住し得る本建造に近いバラックで本月中には建設を終る豫定で十一月一日から一齊に營業開始の營であるから所謂土地開拓の先驅である花柳とか觀物場の如きも此際縣の方針に基き寬大の所置をとつて一日も早く營業し得る樣にしたいと思ふ斯うして震災民唯一の慰安にもなるのである

救護物資を保留して
復興會は兩案に贊成
小實商人に生業の機を與ふ
戒嚴令の延長をも要望

救護物資の委託販賣と就業資金の融通につき市長の相談を受けた橫濱市復興會は前日總務部會の議を經て六日午後二時半から常務委員會を開いて原會長より來議に諮つたところ同會生業部會がこの際市民の必需品を保留して置く事は生活上の必要である許りでなく實局の趣旨とする多數小實商人の生業復活にも利益であるから進んでその衝に當りたいと意見一致した上はこれを助成するが當然であるとして是認し次いで政府の融業資金融通策とも云ふべき第二の案も復興會が寧ろ主動的に五十萬圓位を借受けこれを資本に各種の商業を營ましめる意味で全部承認と決して同三時五十分散會したが右は何れも現金取引に關する事柄であるから物資の販賣は實業組合に委ねるにせよ又就業資金の貸出し方法にせよ急を實行に當つては復興の責任は會の幹部が分擔するの覺悟を有するも充分の成算を得て着手したいといふに一致してゐる尙戒嚴令の期間延長と橫濱に一聯隊常置の陳情請願も出たが差當り戒嚴令の要望のみを關係各大臣に提出する事となつた

なさけない火の用心
の宣傳ビラを撒く
水がないポンプも少い
各人各自の用心肝心

市內各消防署の消防器具は殆んど燒失し全滅の憂となつたが第一消防署の自動車喞筒一臺が燒け殘つたので其注意を促した

目下市內の消防は此一臺の喞筒に依つて保護されて居る、殊に市內各所の燒け殘りの家は此際特に保護する必要があるので前記燒け殘りの消防器具及び近く到着する消防用具を以て充分保護を與ふる筈であるが一般居住者も亦此際自衞團のやうなもの力に依つて自治的に警戒すると共に各人も亦充分火の元に注意しなければ

火の元注意

一、今度燒つた家屋は大切ですお互に火の取扱に氣を付けて下さい

一、當分火事に利用すべき水はありません此際火災を起しては大變です

一、小さな流水でも堰止めて非常の時は利用する事にして下さい喞筒自動車の機材になる所ならば何でも宜しいから右に付き伊勢佐木署長警視は語る『伊勢佐木町通りの住民は市の爲め同時に同會の復興に努力して居るバラック十七年迄で居住し得る本建造に近いバラックで本月中には建設を終る豫定で十一月一日から一齊に營業開始の營であるから所謂土地開拓の先驅である花柳とか觀物場の如きも此際縣の方針に基き寬大の所置をとつて一日も早く營業し得る樣にしたいと思ふ斯うして震災民唯一の慰安にもなるのである

ビ博士談片
復興計畫に就て

都市學者のビアード博士が六日再び來朝した震災後の橫濱及び東京を一ベツして感慨に堪へざるものゝ如く後に語る『罹災者を救濟する應急施設の必要は固ふ迄も無いが併しそれ等と雖も將來の事を十分に考慮して置かねど復興計畫の上に意外なる障害を貽すことがあるから兎に角都市計畫の確定する迄は無論本建築を見合はして道路系統を過滯制度の成立を阻止することの無い樣にしたい△停車場の問題は根本的に重大なる關係を有するから飽迄其整理統一を案劃して懸らぬと後悔して及ばない結果を來たすかも知れぬ△桑港の時も今度の橫濱東京の時も水の缺乏が大なる苦痛の一つであつた今後は井戶や池を所在に設けて水道の補ひとする事も忘れてはならぬ一つである△耐火建築の必要は固ふ迄も無いが大火の場合建築のみに依賴して居ることは不可能である宜しく大小公園や幅廣の大道路を全市に適當に配置することが最も安全である△桑港の場合にも其復興は市の自力でやつた斯かる際には徒らに政府の力にのみ賴らず自治體が其自力で復興策を講ずるの決心が無くてはならぬ云々』

高工燒跡を
學生の手で整理

橫濱高等工業學校では目下同校學生をして校舍燒跡の整理を爲さしめて居るが尙ほ橫濱市に於て同校學生の

震災に際し當店罹災に付き御見舞を賜り御禮申上ます皆樣の急御用を承り度臨時出張店を左の通り新設し奉仕的販賣致します

◎本牧出張店　橫濱市本牧町矢倉月菓子店前
◎八幡橋出張店　橫濱市濱頭深川料理店內
◎藤棚出張店　橫濱市西戶部藤棚停留所より半町
◎神奈川出張店　橫濱市東神奈川驛前
◎東京出張所　東京市丸の內東京海上ビルヂング內

洋品雜貨の外に實用向綿布類を廉賣致します

十月十日より

野澤屋呉服店賣出し

爆破で重傷
氣の毒な女房

六日午後三時頃花咲町某所局爆發の際四丁餘の距離で見物して居た同町五ノ七四に住んだ

朝鮮から心配

朝鮮人に對する搜索嚴重增し本縣各警察署に於ても連日搜索方を願ひ出づる者多く殊に朝鮮の親族等で寫眞手紙等が屆へあつたある戶部署丈けでも百數十名に及び犯人の歸國した者の檢擧を恐れて屋外へ投棄した能品を取纏めて六日迄で三日に亘つて同倉庫へ引渡した分が荷馬車八十臺に及んだと

醫師會死亡
者と行衞不明者

橫濱市醫師會の會員で去る一日の震火災に不幸死亡者くは行衞不明となつたものは左記諸氏なる旨大村副會長から市に報告があつた

▲死亡者　△港町西鄕利貞△相生町高橋梅次郎△境町六角高雄△眞砂町鈴木六郎△青濱町四澤直次郎△蓬萊町大橋武造△不老町足形和重△羽衣町大藤正三郎△福富町淺井憲△蓬萊町佐藤賴次郎△眞金町日高環磯△宮川町堀內正安△老松町松岡正巳△三春町姑射敎子△福富町奥寺タケ△西戶部三枝安太郎△山田町片岡巳代治△大岡町柳瀨茂雄△石川町飯田眞△本牧町富藤佐助△山手町石鄕德太郎△太田町益田喜六△瀧頭町市原直喜

▲行衞不明者　△福富町篠崎義卓△日出町住田直光

財政部會

財政部會は第一回を六日午後四時開會井坂委員長外十名出席渡邊市長から市財源の破綻の現狀は當分國費の補給による外ないが極力才の涵養に努めたいと述べ財政部の方針を當局及び市と策應し或は復興會各部の意向を參酌し之に獻策し援助を與ふべく最善を盡す事と同四時廿分散會した

計畫部會

計畫部各部聯合會の第一回は六日午後四時開いて今後は復興事業の進行上各部會との聯絡を圖る一とする申合會開催と決定した

運輸交通々信部會

運輸交通各部會は六日開會して京濱國道改修の促進市內電車河川整備の急務建築材料の問題等目下の急に處し促進を計る事となつた

省線電車は
十五日頃開通

省線電車の開通は十五日頃といふことで東京橫濱驛十五分間位の發車となるべく神奈川驛も同時に營業開始

避難中材木泥棒

井生の南太田町橫濱商業學校內に避難中の大工坂田文章（四一）は自己のバラックを建設すべく同校の用材を數回に渡り取つて匿匿中七日午前伊勢佐木署員に捕はれ新設早々留置所へ留置さるる

庇品汗牛充棟　救濟倉庫の拔萃

神奈川署內に付ては市內各署の活動に依り檢挙した人員は數百人に上る由で

精華小學校兒童募集

橫濱市立精華小學校（現在神奈川高等女學校內）は當分一年より四年迄男女兒童募集入學試驗なし

蠶糸貿易の二市場分立の弊（上）

競爭的吊上げの半面に他日の賣崩しあり

糸價の安定を害せん

蠶絲貿易を一港主義とするか二港以上に分割すべきかの問題は關東震災前から斯界に論議された所であつた、今回の大震災に依り圖らずも之れが實行上の問題として我等の前に横はつたのである、此點に就ては震災前に色々の議論があり一部の關西製絲家は横濱專制の一理由として糸價の暴騰暴落は横濱の金融難から來るとして我等の一港論者の一大脊柱であつて金融を分散すれば市場の平安が期し得らるゝが如くに唱導したやうであつた事は二港論者の乘ずべき機會であつたに相違ないが抑製絲者として冷靜なる地位に立ち、實行問題として解決の上に置かれる輸出港問題を見るに、火事ドロ的なる神戸の運動が日を經るに從つて世上の反感を被りたる一方に於て、決死的なる橫濱が自體の和衷協同を自然的に獲得すると共に更に永年の取引關係者から次第に同情せらるゝに至つた明かなる傾向と現象とを是認せねばならぬ、蓋し橫濱の爲めには死を賭したる一大試練である

理窟を言へば一港にも二港にもある、便利から云へば關西製糸家は運賃上神戸が有利のやうに見へよう、併し便宜問題を言ふなら貿人たる輸出屋の立場をも考慮の内に入れて遣らねばならぬ、從來一港で如何なる品でも買ひ得た貿人が二港に分立すると二箇所に營業所を設け、繁簪方針が著しく變つて來る事を必要とする、從つて製糸家の或部分の者から云はすれば二港主義も一寸面白相に考へられるが全體の輸出の當の責任者たる輸出商としては解く面白いとは云へまい、便宜問題は一地方一部局として取扱ては遣られぬ、國家が便宜なりや否やを問題とする事が必要である

國家問題としての生糸輸出港問題は貿易市場の安定が何れによりて多く期せらるゝかと云ふ事に解決のかゝるかの點、即ち一市場の方がより多く安定を求むるの途か又は二市場若くは其れ以上の方が絲價の安定を求むるの途かと問題の中心である

大正十二年十月九日（火曜日）　横濱貿易新報　臨時第二十六號　（第三種郵便物認可）　（一）

夕刊 横濱貿易新報

定價 金壹錢
編輯兼發行人 山屋清次郎
印刷人 岩出 四郎
臨時發行所 神奈川縣道機際 橫濱貿易新報社

都市計畫の基本條件（上）

舊橫濱は幾んど全滅した、而して吾人は今其廢墟の中に立つて、新橫濱建設の計劃を樹てんとして居る、吾人の立場は宛かも白紙を延べて、筆を執らんとして居るが如きものである、何んの拘ヂすべきものも無く全く自由に其思ふが儘のものを描き得るのである然りと雖も其新たに建設せんとする所のものが橫濱である以上、纔び舊橫濱の形態を固守する必要は無いにしても、それが矢張橫濱そのものであらねばならぬことは、更めて斷る迄も無からう、而も其場合に於て、吾人は橫濱そのものゝ生命を一層強大ならしめ、且其處に生氣潑溂たる新橫濱の面目を示現せしめんことを希ふが故に、舊橫濱の諸規定に拘束らるゝことなく僞く茲に自由に之が必要條件を採用せしめんとの主張に他ならぬのである、吾人が是に橫濱の都市計劃に就て、先づ考慮に入るべき基本的の條件なりと信ずる二三事項を擧示し、江湖の批評を仰がんとするも、亦此意味に出づるのである

抑ずるに新橫濱建設の基本條件たるべきもの多々ある中に、吾人の決して閑却すべからざることは、第一に港である、第二に鐵道である、第三に東京との關係である、第四に橫濱市内の行政、地帶、交通連絡の上に於ける統一整理である、若し是等の諸點に就て、吾人が十分の研究と理解とを遂げず、漫然として唯だ舊橫濱の復興を急ぐに於ては、橫濱の將來に對して恐らく確たる目標を見出すこと困難から知れぬ、以下少しく其理由を述べ、市民の參考に供したいと思ふ

絹物復興決議

輸出絹聯合會總會

全國組合の同情ある後援

橫濱復興の氣勢を擧ぐ

日本輸出絹物同業組合聯合會は八日午前十時本町二丁目の絹物復興會に於て臨時總會を開き全國各地代表者の出席二十七名、副組長松井文太郎氏の開會の辭に始まり加藤平次郎氏（橫濱組合）左の震災善後に關する提出して可決

慰問決議

大正十二年九月一日橫濱港は突如未曾有の激震に襲來せられ加ふるに忽ち猛火四方に起り殆んど全市を烏有に歸せしめ數多の死傷者を出すからず嗟乎其災害の深刻なりや我聯合會に加盟せらるゝ橫濱輸出絹物同業組合、橫濱輸出織物染色同業組合及橫濱輸出織物加工同業組合事務所も亦皆其災に罹せられたるのみならず其組合員中多くは家を燒き產を失ひ其しきは命をタヽし家族を喪ひたる者あり今其慘狀を目撃耳聞する者誰か一掬の涙なからんや本會は玆に總會の決議を以て罹災の三組合及組合員に對し深厚なる同情の誠意を表す

次いで橫濱港の絹物貿易を復興せしむる爲めに左の復興決議をなし終つて鹽絲貿易復興會理事原富太郎氏代理として渡邊文七氏の熱誠をこめたる挨拶あり更に農林代理鶴見商務局長の告辭ありて正午盛會裡に總會午後は明九日に開かるべき定時總會の諸議案を研究したる復興與方法に關する具體的事項に對しては正副組長及評議員に一任する事と決し絹業復興の氣勢を擧げた

決議

橫濱港は本邦最大の貿易市場にして又た帝都の關門たり不幸今次の震災に因り全市焦土と化したり寔に痛歎に堪へざるなり本會は之が復興の一日も速かならむことを庶ふと共に特に輸出絹業に對しては協力一致以て其の復舊を助成し且つ商業機關の具備したる曉に於ては橫濱港を以て依然絹物貿易上の中心地たらむことを期す

震災後始めての公判

五週間の傷を負した自警團員檢事は一年半を求刑

日下橫濱地方裁判所及び區裁判所で取扱つて居る刑事々件は悉く震災に依つて起つた事件のみで區裁判所の記錄になつて居る事件丈けでも既に百二十餘件に上つて居る之等事件の多くは共同運輸の倉庫等を破つた窃盜事件や其贓品を收受した或は其正を種にして脅迫した事件等である其外鮮人騷ぎに乘じ傷害した事件も可成り多きを占めて居る今八日午前十一時鶴屋町の橫濱區裁判の法廷で公判審理のあつた事件は川崎町の青年會員渡邊春一（二六）が九月六日午後九時頃同町の自衛團員として夜警中同地の佐藤醫師が自衛團員が警備が嚴つて居る相で斯くの如くなければ合計七七臺の車輛を有する事となり內七十臺を全線に配し可及的運轉の圓滑を期する筈であるが外に約三百臺のトロツコは配給團體其他の物資運搬用に使用せしむる事なる旨諒解を求めた

二月廿日頃には到着の見込なのでそうなれば合計七七臺の車輛を有する事となり內七十臺を全線に配し可及的運轉の圓滑を期する筈であるが外に約三百臺のトロツコは配給團體其他の物資運搬用に使用せしむる事なる旨諒解を求めた

線の應急運轉が出來る樣になれば乘車賃錢は震災前と同樣徐徐復十三錢片道七錢に復する筈

攝政宮

十日橫濱にお成

災害地方御視察

攝政宮殿下には十日當市に行啓警備隊司令部に御立寄りの後市內各町の震火災の跡を視察し御視察あらせられる由に承はる

震災後始めての公判

五週間の傷を負した自警團員檢事は一年半を求刑

日下橫濱地方裁判所及び區裁判所で取扱つて居る刑事々件は悉く震災に依つて起つた事件のみで區裁判所の記錄になつて居る事件丈けでも既に百二十餘件に上つて居る之等事件の多くは共同運輸の倉庫等を破つた窃盜事件や其贓品を收受した或は其正を種にして脅迫した事件等である其外鮮人騷ぎに乘じ傷害した事件も可成り多きを占めて居る今八日午前十一時鶴屋町の橫濱區裁判の法廷で公判審理のあつた事件は川崎町の青年會員渡邊春一（二六）が九月六日午後九時頃同町の自衛團員として夜警中同地の佐藤醫師が自衛團員が警備が嚴つて居る相で斯くの如くなければ合計七七臺の車輛を有する事となり內七十臺を全線に配し可及的運轉の圓滑を期する筈であるが外に約三百臺のトロツコは配給團體其他の物資運搬用に使用せしむる事なる旨諒解を求めた

市電晝夜兼行

復舊工事に大童の奮闘

十日日本橋、十二日八幡橋まで

差當り五十八臺運轉出來る

其後の市電車は人夫、職工五百餘人を會聘し殆んど晝夜兼行の意氣込みで復舊工事を進捗せる結果豫定より早く馬車道から日本橋迄は十日より同じく八幡橋は十二日より運轉を開始し本町線は二十四五日頃に但明寺棚橫濱驛前間は同じく月末迄に就れも開通を見る事と

なつた譯だ昨今兎角雨天つゞきの爲め仕事の遲れ勝ちなのには當局も頻りと氣を揉むで居る一方車臺の方は燒失七十五臺、破損六臺を差引き現在五十八臺だけさしく當り運轉出來るが破損の六臺を修理し燒失せるもの十數臺の完全して居る十三臺に對しては大阪に車乞はうとあせり係員も汗

板もヌキもトタンも來る

港內には木材八千石

押すな押すなの雜沓盛況

木材拂下げ大忙ぎし

市の個人用バラック材料拂下は五日から開始し申請者は市役所二階の材料係で受附け現品は稅關西門の同係出張所で引渡す方法を執つて居たが待ち兼ねた權現參連は罹をなして殺到し同課前は身動きも出來ぬ始末に七日から申請書の受附及び引渡共に稅關內出張所で取扱ふ事となつた七日までの受附數は五日が百五十件金額九千六百圓、六日が百二十件金額九千八百圓、七日が百三十二件金額八千九百圓で列を作つた申請者達は切めて願書だけでも受附けて貰はうとあせり係員も汗みどろになつて出來る丈け迅速を期して居るが半分位は時間內の關に合はず翌日廻しとなる有樣である現在資渡品は角材と丸太ばかりだが整理中の板及びヌキ類は玆兩三日中に仕譯の濟み次第拂下げ可成許可の屋根用トタン板は急拂文館跡△伊勢佐木署管內野毛町三ノ八四揚湯跡、長者町八ノ丁目東郷湯跡、長良町三玉ノ湯跡、末吉町七ノ七一末吉湯跡△海署管內 南吉田五九〇番倉館跡、千歲町三丁目參湯跡、中村町一〇八三川ノ湯跡、石川仲町四丁目小山湯跡、石川町二ノ一〇〇△鈴湯跡△加賀町署管內元町四丁目宮ノ湯跡、相生町五丁目新武ノ湯跡△山手町管內 本牧終點間門湯跡

▲市經營の分（兵庫縣寄贈）橫濱公園跡、羽衣町辨天社內、花咲町瓦斯局跡、南太田新坂下、戶部區成寺下、石川遊行寺內、元町四丁目

▲縣經營の分（同上）西戶部第一中學校內、神奈川貿易商等女學校內

之等の資材は大きいのは一

兒童教科書

一通り間に合ふ

市小學校の教科書は各府縣から寄贈を受けた分の外文部省に對し交渉を重ねた處相當配給せらるゝ見込がつく

百人入れる巨い浴槽

四五日中に出來上る

二十六ケ所の公設浴場

市內に於ける罹災者のため臨時震災救護事務局支部及縣市で公設浴場の設置を急ぎつゝあるが兵庫縣の寄贈により縣で直營して居る西戶部第一中學校內及び神奈川縣井澤實科高女內の二ケ所は開始し其他の分も既に材料の切組みは出來上つて居る事として急速に建築の上弦四五日中に二十六ケ所全部を開始する豫定である其設置の個所左の如く就れも所在の井戶利用の關係から配置は十二分と云へない行を働らいて濟みませんと雖が非常の際已むを得ない點で尙ほ此內二三ケ所には位置を變更するかも知れねと

▲救護事務局 △神奈川署管內青木町祖湯跡△戶部署管內 岡野町九四の湯跡、西戶部三四五平戶館跡、戶部町四丁目松島館跡△伊勢佐木署管內野毛町三ノ八四揚湯跡、長者町八ノ丁目東郷湯跡、長良町三玉ノ湯跡、末吉町七ノ七一末吉湯跡△海署管內 南吉田五九〇番倉館跡、千歲町三丁目參湯跡、中村町一〇八三川ノ湯跡、石川仲町四丁目小山湯跡、石川町二ノ一〇〇△鈴湯跡△加賀町署管內元町四丁目宮ノ湯跡、相生町五丁目新武ノ湯跡△山手町管內 本牧終點間門湯跡

▲市經營の分（兵庫縣寄贈）橫濱公園跡、羽衣町辨天社內、花咲町瓦斯局跡、南太田新坂下、戶部區成寺下、石川遊行寺內、元町四丁目

▲縣經營の分（同上）西戶部第一中學校內、神奈川貿易商等女學校內

之等の資材は大きいのは一

港灣部會

港灣部會は八日午前十時開會

渡邊日本郵船橫濱支店長より歸の避難汽船入夫タックボート及び港內荷役作業の震災前後の狀況比較の說明があり稅關廢止並に十二號岸壁管理の一部を船渠部に移管する事に決し正午散會した

生絲部會

政府の救濟物資と就業資金の善後を中心とする生絲部會は七日午後三時開會し大濱製糸員長松島館跡、戶部町四丁目松島館跡、戶部町四丁目松島館跡△伊勢佐木署管內野毛町三ノ八四揚湯跡、長者町八ノ丁目東郷湯跡、長良町三玉ノ湯跡、末吉町七ノ七一末吉湯跡△海署管內 南吉田五九〇番倉館跡、千歲町三丁目參湯跡、中村町一〇八三川ノ湯跡、石川仲町四丁目小山湯跡、石川町二ノ一〇〇△鈴湯跡△加賀町署管內元町四丁目宮ノ湯跡、相生町五丁目新武ノ湯跡△山手町管內 本牧終點間門湯跡

▲市經營の分（兵庫縣寄贈）橫濱公園跡、羽衣町辨天社內、花咲町瓦斯局跡、南太田新坂下、戶部區成寺下、石川遊行寺內、元町四丁目

▲縣經營の分（同上）西戶部第一中學校內、神奈川貿易商等女學校內

之等の資材は大きいのは一

工業部會

橫濱市復興會の工業部會は七日午後三時開會して左の諸項を決定し極力目的の促進を計る申合をなし同四時散會した

一、橫濱市は將來大工業地とするの必要を認むるとより港灣倉庫及び其の運用に必要なる土地以外の平地は全部工業地區に編入するを可とす依つて此の趣旨の總括的決議をなすと共に一面次回に工業

地區の選定を議すること

二、工業招致に關する市條例を適當に改正し復舊工場に市稅免除其他の便宜を與ふる事

三、電力料水料を低減する事

四、橫濱高等工業學校を可及的速に復舊せしめ土木建築の二科增置を文部大臣に獻策し本市の復興上技術員の養成を計ること

五、縣立工業學校及商工實習學校を擴張し且つ紡織色染工藝等の增設を緊急に要すること

六、京濱間高速度交通機關の急設を共筋に交渉方運輸交通々部に移轉すること

七、市內運河の改造擴張を急務と認む

生絲市場

百圓高唱へ

休日明け強調

休日明け八日の生糸市場は倉を自由商談を復活させる事となつたから人氣緊張せるも午前中は未だ商機熟さずして商內の出來を告ぐるに至らなかつた但し前日及前々日は前直より七八圓高の振合なる玆格二千三百圓乃至二千三百二十圓見當に

積出高豫想

十月は三万俵か

各地製糸の橫濱出荷も漸次進捗するに至りたれば生絲の積出も漸增の勢ひあり殊に八日より自由商談を開始し取引狀態も全然舊に復するに至りたれば十月中の積出高は意外の多額に上るべき見込にて多分三萬俵に達すべしと云はる因に出帆は六日バタフィルド號で三千二百俵を積出し八日、十日十三日にも繼積ある見込

神奈川遊廓

廿日から營業

但歌舞音曲停止

神奈川遊廓は今回の震災で第二金浦樣が全燒し第四森谷樣が半燒して娼妓二名壓死したのみで他の二十軒は小被害であつたから各樓夫假修理を行ひ營業を開始すべく寄々協議中で一兩日前所轄署へ向つて營業開始の願可を願出た同署では該議の上此際歌舞音曲を遠慮して營業を開始するは差支へなしとの認可を與へたので彌々來る二十日から從來通り營業を開始することに決した因に現在娼妓數は百八十七名だと

營業開始

去月廿三日より左記の處に假事務所を設け從前通り貨物輸出入幷に船客の取扱を開始致候間此段謹告候也

大正十二年九月廿三日

橫濱市元濱町一丁目一番地
石川組ビルヂング三階
米國船舶院總代理
アドミラル東洋航路汽船會社

急告 至謹

本社及東京支部類燒に際しては御懇篤なる御見舞を辱うし難有御禮申上候

銀座に新築中の本社建物は專門家調査の結果殆ど被害無之候に付今回從來の假事務所を撤し東京支部と共に左記本事務所に移轉の上平常の通り執務致候間御承知被下度候

代理店保險契約者其他各位に

本社直接取扱に屬する契約者各位に

今回の災害に依り本社帳簿整理の必要有之候間是迄直接本社に保險料御拂込（支部又は代理店を經ず本社へ相成候保險契約者各位には此際乍御手數至急現在の御住所及御契約の要項を詳細に御通知可成書面被下度願上候

大正十二年十月二日

本事務所
東京市京橋區銀座尾張町二丁目（本社新築建物階上）

國光生命保險相互會社

蠶糸貿易の二市場分立の弊（中）

競爭的吊上げの半面に他日の賣崩しあり

糸價の安定を害せん

從來米國當業者の生絲に對する苦情は糸價が暴騰暴落して平安なる絹業經營が成し得ないと云ふ事であつた、從來日本製糸家の或一部が橫濱市場に對して抱いた不滿は生糸の獨占權を橫濱が握つて、時に或は勝手な眞似をすると云ふ事であつた、前者は故に日本絲を素制せんが爲めに支那製糸の開發を圖り上海に生絲檢査所を設くる傍ら、前後二回の公的調査團を送り支那蠶糸の進展に專ら力めたものである、後者は故に橫濱をケン制せんが爲めに關西の一港に生絲輸出の設備をなし、以て獨占的橫濱の專斷から脫れ、併せて自家の利益擔定に便せんと企てた、我等は此二者の計畫が必ずしも理由なきものとは云はぬ、若し計畫通りに出來得るものならば確かに妙案たるに恥ぢないのである、が却つて思ふ樣に行かぬ所業並びに三ケ所の各本部は築造された、向ふ前の一部が崩れ其の下に何人かゞ埋められたと飛報が來るものとは云はぬ、必ずや將來大いに發展すべき大いなる餘地がある事は明白であるが近き將來に於て日本糸のケン制物たるほどに急激なる發展を遂ぐる事は不可能である、と共に又米人の手によつて大部に進運の途が開かれ、爲すある所の自星が輝くに至れば製糸事業に長き經驗と智識とある日本製糸家が指をくはへて之を見て居る筈がない、畢竟するに米人の跡いた種が、日本製絲家に依つて少くとも半分以上は摘み取らるゝ事となるのである、關西製糸家の一部が橫濱に催促の情を覺えた最近の順著なる例は大正九年の財界恐慌時に於ける帝蠶當時であるが而も最後の結果は怎うであつた乎、而して其最後の

（第三種郵便物認可）　臨時増刊二十六號　横濱貿易新報　（火曜日）　大正十二年十月九日　（二）

蠶糸貿易の二市場分立の弊（中）

競爭的吊上げの半面に他日の賣崩しあり

大正十二年十月十日（水曜日）　横濱貿易新報　臨時第二十七號　（第三種郵便物認可）　（一）

夕刊　横濱貿易新報

定價金壹錢

編輯兼發行人　山屋清次郎
印刷人　岩田圀郎
臨時發行所　神奈川縣道橋際　横濱貿易新報社

都市計畫の基本條件（中）

第一の港に就て、吾人は其執れの部分を中心として考慮すべきであるかと謂ふに今日迄の設備に於ては、當然新港岸壁をそれと認むるの外は無い、而して現に着手せられて居る第三期擴張工事、及び今後の大擴張計畫にして中止とならざる限りみを重ねて居ても、事は足りるであらう、然し乍ら全國的に、一大都市としての標成を發揮せんとするには、新橫濱の中樞が深く東海道幹線に接觸する樣に共都市計畫を樹つるの用意なかる可からずと思ふのである

而して舊機木町停車場は、新橫濱の商業中心地域を挾みて、所謂新港と呼應し連絡して其機能を益々發揮する可き地歩を占めむ可きである、其他鐵道に就ては、線路の變更、之に伴ふ旅客及び貨物停車場の移動等、其整理改良を要するもの多々あるが、それ等は既に既に一般の考慮に入り居るかと思はれるので、茲には省略して置く

攝政宮殿下明十日朝八時四十分橫濱御着

親しく市内を御視察

攝政宮殿下には震災地御視察の爲め十日當市並に橫須賀市に行啓の由は既報したが當日殿下には攝政の御資格にて午前七時三十分赤坂離宮御出門同四十五分臨時列車にて東京驛御發車八時四十分橫濱驛御着夫れより自動車に召され高島町通りを青木臺町の戒嚴令司令部へ行啓、夫れより同一の御道筋を樽木町の紅葉橋より正金倶樂部の燒跡なる赤十字支部に御立寄ありて後更らに紅葉橋を渡らせられ震災救護事務局へ御立寄次で瓦斯橋より野毛、日の出、初音町を經て南太田町電車線路を左折し葉橋より長島町、伊勢佐木町通り吉田橋を經て一直線に萬國橋より新稅關構内に入らせらる此間親しく震災の跡を御視察

橫濱港の復興は帝都の夫れと不可分

加藤憲政會總裁歡迎の爲め來濱して記者に感く語る

加藤憲政會總裁は橫濱市内の震災狀況視察を終ね見舞のため松本郡長を隨へ小野代議士の案内で九日午前九時本宿し渡邊市長及び青木助役に市の惨狀に對し深甚なる同情を表する旨の挨拶を述べ更に市長室に居合せた守屋此助、戸井嘉作、渡邊利二郎諸氏と與に震災善後策につき意見交換を重ぬる處あり青木助役の案内で自働車を驅り橫土となれる市内の實況視察に赴むいたが同總裁は語る

橫濱市の震災が激甚だつたとは承知して居たが自働のみたる實況を見るに及んで其惨禍の除りに甚だしいのに驚愕すると同時に市民諸君に對し誠に同情に堪へぬ東京は火帝こそ酷かつたが地震と云ふ事からは比較的影響を蒙らなかつた然るに橫濱は地震と火事と併せ到つた丈けに實に惨狀も一層甚だしく損害の大きい事は申迄もない本市の復舊の焦眉の急務なるは勿論で政府の復興審議會に於ても東都及び其他の權興地復舊を目的として居る以上本市も含まれて居る事であり否帝都の復興と不可分のものとして速捗せしめねばならぬが善後會では只一回會合を開き大體を示したのみで其後復興院を設ける際の如きも一應の相談もなかつた從つて其方針も明瞭ならず夫等の點については未だ意見發表の時機に逸して居らぬが國當上よりしても果た實際上よりしても橫濱港の復舊は一日も忽諸に附し能はぬ問題だらうぢやないか

と所感の一端を洩らし燒跡慘狀の視察に赴むき夕刻歸京した

市事業部

橫濱市復興會市事業部は八日午後三時平沼會長其他外委員出席して開會し委員長より水道、電車、電燈の復舊狀態衝生其他の報告等あり尚山下町方面燒跡整理につき

正金銀行から百萬兩社會事業費として寄附

大喜びの市は早速使途を立案

橫濱正金銀行より市の社會事業費として百萬圓を寄附したいから來る十五日までに共案の大體を示されたい旨六日附で申込あり此の報告に接した市では大喜びで研究中であつたが差し當り必要な職業紹介所一、公設浴場二、簡易食堂五、託兒所五、無料宿泊所五、中央市場一、無料診療所五、方面事務所五、救護所五、質舖五ヶ所の各設備を施行の急と認め其の概算建築費三十萬圓、經常費（半ヶ年分）二十萬圓計五十萬圓の計畫をたてたが更に小住宅、小店舖、小資金融等につきも設計中で期限までには完全に立案の上寄附金により事業の進行を期する事となつた因みに此内中央市場には魚市場及び青物市場を統一したものを設くる意で既に魚市場は大體の腹案が出來青物市場は目下考慮中である

絹聯合會總會（第二日）

取引改善研究案は保留

午後は役員選擧

輸出組聯合會は八日の臨時總會に引續き翌九日定時總會に移り午前十時開會、松井文太郎氏議長席に就き大正十二年度經費決算及業務成績並に十二年度豫算の變更に就きて報告あり滿場可決、次いで研究案たる第一、輸出絹織物取引改善組設研究案（前回の宿題）（三）定期取引の開始（四）現物市場の設置（五）取引紛議に對する件（六）基準の制定

第二、現在の輸出絹織物各付の更訂に關する研究案（前回の宿題）

（一）六匁仆以下は五分間きとする事

（二）十匁仆以下は一匁開きとする事

（三）十匁仆以上は二匁開きとする事

（四）現物市場の設置

（五）取引紛議に對する件

（六）基準の制定

第二、現在の輸出絹織物各付の更訂に關する研究案（前回の宿題）

（一）六匁仆以下は五分間きとする事

（二）十匁仆以下は一匁開きとする事

（三）十匁仆以上は二匁開きとする事

（一）新格付法の制定

（二）格付取引法の制定

衣類や夜具も賣る

市の公設市場

市の公設市場は現在十八ヶ所で白米其他の日用品を販賣しつゝあり更に建築中のもの三ヶ所並びに臨時震災救護事務局の方で十七ヶ所を增設し市一切總いで貰へる事となつたので社會課當局は大喜びで適當地物色の結果大體左の通り決定した

△龜ノ橋際△地藏坂上△

好手合出來

生絲市場

八日十二万斤

相場著進す

生糸市場は八日百十圓高の最優等二千四百圓、羽子板格二千三百八十圓、ヰ格二千三百五十圓、矢島格二千三百十圓、八王子格二千三百十圓に決し各銘品に亘る大商内を告げ三井の五萬圓甲九十番の各一萬斤之れに次ぎ合計十二萬斤の好手合を運んだが殆ど九時も續いて實氣あり氣配强調にて實人は更に二三十圓高を唱ふたが何分綾青木場も品薄の爲め相場續進歩調に在ると内地々證筋も續出向ふ三十圓高相場にて取引出來る勢ひなれば後許相場は漸次向上の振合である處は自由商談の再開による商内氣乘りと相俟つて日先一應爆發の景況を見せんが期内、關外、戸部方面の花柳界の復活も急激至難の模樣である

花柳界も負けずに復活

本月中には開業

震災で焼存した全市中の花柳界は東京、赤坂、芳町、井七ヶ谷、礫子、木牧方面で續れる復活に努め本月中には營業を開始する見込みで諸用方面は震災で免れて火災で全滅したもの同盟にれに次ぐ合計十二萬斤の好手合を運んだが三九九九九日も續いて實氣あり氣配强調にて實人は更に二三十圓高を唱ふたが何分綾青木場も品薄の爲め相場續進歩調に在ると内地々證筋も續出向ふ三十圓高相場にて取引出來る勢ひなれば後許相場は漸次向上の振合である處は自由商談の再開による商内氣乘りと相俟つて日先一應爆發の景況を見せんが期内、關外、戸部方面の花柳界の復活も急激至難の模樣である

橫濱株式取引所大株主會

橫濱取引所復興善後策を協議する爲め來十六日午後一時より東京帝國ホテルに於て大株主會を開く筈である

生糸大量積出

ブレシデント、マウンテン一號は明十日生糸千三百俵を積みて出帆の筈

謝震災御見舞

舊橫濱市下町二〇四番

ストロング商會

假營業所 東京府下大崎町上大崎五六六

省線目黒驛より市内電車通に沿ひ約二十分市電目黒驛より市内電車通に沿ひ約二十分

橫濱營業所 本町廻漕問屋四丁目 川治庄太郎方

精華小學校兒童募集

橫濱市立本町尋常小學校第一年より四年迄男女兒童募集入學試驗なし

一日も早く日本の門戸を復興致しませう！

冬の御住居には是非弊所の耐寒住宅を……

橫濱ヨット工作所

造船部 ランチ、モーターボート、發動機船
建築部 工場、住宅、實用向倉庫、バラック類

事務所 橫濱市本町一丁目（電話橫濱本局一〇〇番）
工場 橫濱市子安字屋町埋立地（電話橫濱見在第八番）

東洋汽船出帆廣告

桑港行 ホノルル由
大洋丸 神戸發十月十日 橫濱發十月十四日
これや 神戸發同十七日正午 橫濱發同十八日正午
天洋丸 神戸發十一月四日正午 橫濱發同七日正午
春洋丸 神戸發十一月廿八日 橫濱發十二月一日正午

香港行

天洋丸 神戸發十月十一日
（長崎上海經由）
春洋丸 橫濱發十月廿九日正午 神戸發同三十一日（閏、上）
いすゞや丸 橫濱發十一月十日正午 神戸發同十二日

（大連上海經由）
ホノルル、桑港、ヒロ、桑港
大洋丸 橫濱發同八日正午

南米行

客港者略 橫濱發 同八日正午
銀洋丸 神戸發同十一日

日本郵船出帆廣告

橫濱出帆滿水行
長崎丸 十月十日午後四時
上海丸 十月十二日午後四時
長崎丸 十月十八日午後四時
上海丸 十月廿一日午後四時
大森町新井宿海安全堂藥店

大阪商船出帆廣告

橫濱發ビクトリヤ、シャトル、タコマ行
あらびや丸 十月十六日午後三時
さんにら丸 十月廿一日
滿洲大連、機關、上海丸、機關、日本郵船株式會社橫濱支店假事務所

謹告

廣告

要員の多少に拘はらず震災失業者救濟の意味にて入營人を優先的に採用致候に付御申込ありたし

求妻

知人商家年四三、位の子あるも可眞面目に働く四〇迄の婦人を求む至急本人來談

恩を仇

戸部町四掛部出銀市營住宅十七號樫村鄭太郎方に避難中の安住三郎（二五）は此程福太郎所有の避難を破壞して衣類十數點及現金四十圓計約四百圓を盜取した

輕便鐵道を敷設して燒跡土石の整理

原則としては罹災者各自が整理

九日漸く處分方針決定

市内燒跡、土石の處分は各方面に影響を及ぼす重大問題として都市計畫當局の手許で評定が繰返されつゝあつたが九日に至り漸く其處分方針が決定した右によれば市内の燒殘り面積三百十五萬立坪の燒殘り土石を厚さ平均三寸として十六萬立坪の内各自敷地の地上げに十萬立坪、道路上への堆積三萬立坪、道路材料として一萬立坪を使用するに決し原則として罹災者各自の手で處分せしむることゝなつたが即ち市内高低測量の結果大部分の土地は地上げを行ふ必要を認めた爲め地上げ殘りの土石は宅地の一隅又は適當なる場所に取纏めた上港内埋立豫定地の山下町地先、根岸町青木町埋有水面神奈川縣荒町地先、本牧十二天先等へ投棄せしめ其他の海面河川下水及び水路等に投棄を禁じて整理を期すれば一般個人の搬出に對して市としては何等の制限を加へず又市内に於ける輕便鐵道の敷設其他に關しても出來得るだけの便宜を與ふる方針だと云ふ

輕便鐵道を敷設して燒跡土石の整理

原則としては罹災者各自が整理

九日漸く處分方針決定

市内燒跡、土石の處分は各方面に影響を及ぼす重大問題として都市計畫當局の手許で評定が繰返されつゝあつたが九日に至り漸く其處分方針が決定した右によれば市内の燒殘り面積三百十五萬立坪の燒殘り土石を厚さ平均三寸として十六萬立坪の内各自敷地の地上げに十萬立坪、道路上への堆積三萬立坪、道路材料として一萬立坪を使用するに決し原則として罹災者各自の手で處分せしむることゝなつたが即ち市内高低測量の結果大部分の土地は地上げを行ふ必要を認めた爲め地上げ殘りの土石は宅地の一隅又は適當なる場所に取纏めた上港内埋立豫定地の山下町地先、根岸町青木町埋有水面神奈川縣荒町地先、本牧十二天先等へ投棄せしめ其他の海面河川下水及び水路等に投棄を禁じて整理を期すれば一般個人の搬出に對して市としては何等の制限を加へず又市内に於ける輕便鐵道の敷設其他に關しても出來得るだけの便宜を與ふる方針だと云ふ

工場復興資金

工業復興資金の調達資料として橫濱市復興會は被害工場につき左の事項を調査する

一、資本金（內國定貨資本流動資本何れも震災前後の比較）所要復舊金額（內自辨し得る金額）

原理事長西下

橫濱貿易復興管理事長原富太郎氏は所要あり八日神戸に向つた

農業資金の斡旋

縣下の農業者救濟は全潰したので一般農業者の資金難と共に此の際融通の途を講ずる必要ある爲縣農會は仲介の目的で來る十一日午前十時郡市農會主任者會を開き十五日には倉庫主任者會を開會する筈

生業部會

生業部會は八日午後二時開會し交通運輸部より移轉の材料其他陸送數量の照會につき協議し仕入資金五十萬圓借入の件は請願書案を可決直に手續をなすに決し掃下物資の現物調査のため當局を加へて委員各同屋一同實地調査をした

生業部會

生業部會は八日午後二時開會し交通運輸部より移轉の材料其他陸送數量の照會につき協議し仕入資金五十萬圓借入の件は請願書案を可決直に手續をなすに決し掃下物資の現物調査のため當局を加へて委員各同屋一同實地調査をした

正金當局に付調査をなすに決して散會

攝政宮殿下明十日朝八時四十分橫濱御着

親しく市内を御視察

攝政宮殿下には震災地御視察の爲め十日當市並に橫須賀市に行啓の由は既報したが當日殿下には攝政の御資格にて午前七時三十分赤坂離宮御出門同四十五分臨時列車にて東京驛御發車八時四十分橫濱驛御着夫れより自動車に召され高島町通りを青木臺町の戒嚴令司令部へ行啓、夫れより同一の御道筋を樽木町の紅葉橋より正金倶樂部の燒跡なる赤十字支部に御立寄ありて後更らに紅葉橋を渡らせられ震災救護事務局へ御立寄次で瓦斯橋より野毛、日の出、初音町を經て南太田町電車線路を左折し葉橋より長島町、伊勢佐木町通り吉田橋を經て一直線に萬國橋より新稅關構内に入らせらる此間親しく震災の跡を御視察

橫濱港の復興は帝都の夫れと不可分

加藤憲政會總裁歡迎の爲め來濱して記者に感く語る

加藤憲政會總裁は橫濱市内の震災狀況視察を終ね見舞のため松本郡長を隨へ小野代議士の案内で九日午前九時本宿し渡邊市長及び青木助役に市の惨狀に對し深甚なる同情を表する旨の挨拶を述べ更に市長室に居合せた守屋此助、戸井嘉作、渡邊利二郎諸氏と與に震災善後策につき意見交換を重ぬる處あり青木助役の案内で自働車を驅り橫土となれる市内の實況視察に赴むいたが同總裁は語る

橫濱市の震災が激甚だつたとは承知して居たが自働のみたる實況を見るに及んで其惨禍の除りに甚だしいのに驚愕すると同時に市民諸君に對し誠に同情に堪へぬ東京は火帝こそ酷かつたが地震と云ふ事からは比較的影響を蒙らなかつた然るに橫濱は地震と火事と併せ到つた丈けに實に惨狀も一層甚だしく損害の大きい事は申迄もない本市の復舊の焦眉の急務なるは勿論で政府の復興審議會に於ても東都及び其他の權興地復舊を目的として居る以上本市も含まれて居る事であり否帝都の復興と不可分のものとして速捗せしめねばならぬが善後會では只一回會合を開き大體を示したのみで其後復興院を設ける際の如きも一應の相談もなかつた從つて其方針も明瞭ならず夫等の點については未だ意見發表の時機に逸して居らぬが國當上よりしても果た實際上よりしても橫濱港の復舊は一日も忽諸に附し能はぬ問題だらうぢやないか

と所感の一端を洩らし燒跡慘狀の視察に赴むき夕刻歸京した

市事業部

橫濱市復興會市事業部は八日午後三時平沼會長其他外委員出席して開會し委員長より水道、電車、電燈の復舊狀態衝生其他の報告等あり尚山下町方面燒跡整理につき

正金銀行から百萬兩社會事業費として寄附

大喜びの市は早速使途を立案

橫濱正金銀行より市の社會事業費として百萬圓を寄附したいから來る十五日までに共案の大體を示されたい旨六日附で申込あり此の報告に接した市では大喜びで研究中であつたが差し當り必要な職業紹介所一、公設浴場二、簡易食堂五、託兒所五、無料宿泊所五、中央市場一、無料診療所五、方面事務所五、救護所五、質舖五ヶ所の各設備を施行の急と認め其の概算建築費三十萬圓、經常費（半ヶ年分）二十萬圓計五十萬圓の計畫をたてたが更に小住宅、小店舖、小資金融等につきも設計中で期限までには完全に立案の上寄附金により事業の進行を期する事となつた因みに此内中央市場には魚市場及び青物市場を統一したものを設くる意で既に魚市場は大體の腹案が出來青物市場は大體の腹案が出來青物市場は大體の腹案が出來青物市場は大體の腹案が出來

絹聯合會總會（第二日）

取引改善研究案は保留

午後は役員選擧

輸出組聯合會は八日の臨時總會に引續き翌九日定時總會に移り午前十時開會、松井文太郎氏議長席に就き大正十二年度經費決算及業務成績並に十二年度豫算の變更に就きて報告あり滿場可決、次いで研究案たる第一、輸出絹織物取引改善組設研究案（前回の宿題）（三）定期取引の開始（四）現物市場の設置（五）取引紛議に對する件（六）基準の制定

第二、現在の輸出絹織物各付の更訂に關する研究案（前回の宿題）

（一）六匁仆以下は五分間きとする事

（二）十匁仆以下は一匁開きとする事

（三）十匁仆以上は二匁開きとする事

（一）新格付法の制定

（二）格付取引法の制定

衣類や夜具も賣る

市の公設市場

市の公設市場は現在十八ヶ所で白米其他の日用品を販賣しつゝあり更に建築中のもの三ヶ所並びに臨時震災救護事務局の方で十七ヶ所を增設し市一切總いで貰へる事となつたので社會課當局は大喜びで適當地物色の結果大體左の通り決定した

△龜ノ橋際△地藏坂上△

好手合出來

生絲市場

八日十二万斤

相場著進す

生糸市場は八日百十圓高の最優等二千四百圓、羽子板格二千三百八十圓、ヰ格二千三百五十圓、矢島格二千三百十圓、八王子格二千三百十圓に決し各銘品に亘る大商内を告げ三井の五萬圓甲九十番の各一萬斤之れに次ぎ合計十二萬斤の好手合を運んだが殆ど九時も續いて實氣あり氣配强調にて實人は更に二三十圓高を唱ふたが何分綾青木場も品薄の爲め相場續進歩調に在ると内地々證筋も續出向ふ三十圓高相場にて取引出來る勢ひなれば後許相場は漸次向上の振合である處は自由商談の再開による商内氣乘りと相俟つて日先一應爆發の景況を見せんが期内、關外、戸部方面の花柳界の復活も急激至難の模樣である

花柳界も負けずに復活

本月中には開業

震災で焼存した全市中の花柳界は東京、赤坂、芳町、井七ヶ谷、礫子、木牧方面で續れる復活に努め本月中には營業を開始する見込みで諸用方面は震災で免れて火災で全滅したもの同盟にれに次ぐ合計十二萬斤の好手合を運んだが三九九九九日も續いて實氣あり氣配强調にて實人は更に二三十圓高を唱ふたが何分綾青木場も品薄の爲め相場續進歩調に在ると内地々證筋も續出向ふ三十圓高相場にて取引出來る勢ひなれば後許相場は漸次向上の振合である處は自由商談の再開による商内氣乘りと相俟つて日先一應爆發の景況を見せんが期内、關外、戸部方面の花柳界の復活も急激至難の模樣である

大株主會

橫濱取引所

大株主會

橫濱取引所復興善後策を協議する爲め來十六日午後一時より東京帝國ホテルに於て大株主會を開く筈である

生糸大量積出

ブレシデント、マウンテン一號は明十日生糸千三百俵を積みて出帆の筈

橫濱取引所

大株主會

橫濱取引所復興善後策を協議する爲め來十六日午後一時より東京帝國ホテルに於て大株主會を開く筈である

生糸大量積出

ブレシデント、マウンテン一號は明十日生糸千三百俵を積みて出帆の筈

取引員對客勸定

解決未だし

八日の取引員總會

橫濱取引所取引員總會は八日午後一時舊建物階下に開會懸案たる取引員對客關係の解決方法に付協議し大多數の意見は無條還元說なるが又有力なる說より反對意見も現れ種々協議を重ねて解合を行ふべしとの說もあつて遂に決定を見るに至らず結局來十日委員會に於て再協議して十二日評決總會を開く事として午後三時散會

取引員對客勸定

解決未だし

八日の取引員總會

橫濱取引所取引員總會は八日午後一時舊建物階下に開會懸案たる取引員對客關係の解決方法に付協議し大多數の意見は無條還元說なるが又有力なる說より反對意見も現れ種々協議を重ねて解合を行ふべしとの說もあつて遂に決定を見るに至らず結局來十日委員會に於て再協議して十二日評決總會を開く事として午後三時散會

恩を仇

戸部町四掛部出銀市營住宅十七號樫村鄭太郎方に避難中の安住三郎（二五）は此程福太郎所有の避難を破壞して衣類十數點及現金四十圓計約四百圓を盜取した

東洋汽船出帆廣告

桑港行 ホノルル由
大洋丸 神戸發十月十日 橫濱發十月十四日正午
これや 神戸發同十七日正午 橫濱發同十八日正午
天洋丸 神戸發十一月四日正午 橫濱發同七日正午
春洋丸 神戸發十一月廿八日 橫濱發十二月一日正午

香港行

天洋丸 神戸發十月十一日
（長崎上海經由）
春洋丸 橫濱發十月廿九日正午 神戸發同三十一日（閏、上）
いすゞや丸 橫濱發十一月十日正午 神戸發同十二日

（大連上海經由）
ホノルル、桑港、ヒロ、桑港
大洋丸 橫濱發同八日正午

南米行

客港者略 橫濱發 同八日正午
銀洋丸 神戸發同十一日

日本郵船出帆廣告

橫濱出帆滿水行
長崎丸 十月十日午後四時
上海丸 十月十二日午後四時
長崎丸 十月十八日午後四時
上海丸 十月廿一日午後四時
大森町新井宿海安全堂藥店

大阪商船出帆廣告

橫濱發ビクトリヤ、シャトル、タコマ行
あらびや丸 十月十六日午後三時
さんにら丸 十月廿一日
滿洲大連、機關、上海丸、機關、日本郵船株式會社橫濱支店假事務所

謹告

廣告

要員の多少に拘はらず震災失業者救濟の意味にて入營人を優先的に採用致候に付御申込ありたし

求妻

知人商家年四三、位の子あるも可眞面目に働く四〇迄の婦人を求む至急本人來談

謝震災御見舞

舊橫濱市下町二〇四番

ストロング商會

假營業所 東京府下大崎町上大崎五六六

省線目黒驛より市内電車通に沿ひ約二十分市電目黒驛より市内電車通に沿ひ約二十分

橫濱營業所 本町廻漕問屋四丁目 川治庄太郎方

精華小學校兒童募集

橫濱市立本町尋常小學校第一年より四年迄男女兒童募集入學試驗なし

一日も早く日本の門戸を復興致しませう！

冬の御住居には是非弊所の耐寒住宅を……

橫濱ヨット工作所

造船部 ランチ、モーターボート、發動機船
建築部 工場、住宅、實用向倉庫、バラック類

事務所 橫濱市本町一丁目（電話橫濱本局一〇〇番）
工場 橫濱市子安字屋町埋立地（電話橫濱見在第八番）

蠶糸貿易の二市場分立の弊（下）

競爭的吊上げの半面に他日の崩潰しあり

糸價の安定を害せん

現在の日本蠶糸業の勢力から見て其貿易市場は市況の悲況時に十萬俵を捌き得るに足れば十分である、十萬俵と云へば一年の総出生糸の五分一であつて其れ以上停滯するが如きは將來百萬俵の繭出が可能である日になつたら現に角今日の五十萬俵位に在つては總糸と云つて可い、而して横濱市場は明かに十萬俵の負擔に堪へ、年と共に其能力の增加を實現しつゝある、何を苦しんで市場を新設する必要がある乎、政府が震災後の横濱市場を復興せんが爲めに有らゆる援助を與へつゝあるは確かに適切の方針である、日銀、正金其他民間の金融行で在りては橫濱に於ける生糸の貨與に援助を吝まないのは是亦當を得た措置である、全國最大多數の製絲家が從來の取引關係を重視して出來得る限りの後援を續けつゝあるのは近時の美談である、横濱は此等の援助者を得て、又自身の必死的努力に依つて遠からざる將來に復舊するであらう矢張り依然として生絲市場の首一として全國生絲繭を擔ふて行くであらう

第一に生糸市場として必要缺くべからざるものは生絲取引所である、生糸檢査所や倉庫や其他の機關は市場として實に必要なものではあるが其等は輸出にこそ必要であるが市價の公正なる公定相場を作り、商機を見る未前に卜知して商機の活取引に關しては實に生糸取引所の存在を以て第一とし、是れ無くんば市場の名を譲ふとも市場の實を持たないものである、而して其取引所は橫濱にのみ與へられたる不動の既得權であつて他の火事ドロ的なる運動が如何に猛烈を極むるとも頑として政府は之を許可しないのである、蓋し生絲取引所は取引所の定期賣買が行はれば強制的氣運に連れて無數の賣買參加者が現はれ、其れに依つて作らるゝ公定相場は直ちに生糸現物市價を動かす事に過去の實例が立證する所である、從つて假に神戸に新市場（現物）が作らるゝとも其現物市價は矢張り橫濱の定期相場に注目し、其高低に依つて左右せらるゝの運命に陷る事は鏡にかけて見るが如しである、然らば神戸は生糸を取扱ふと雖も其市價を動かす本體は橫濱に在りて終始追隨的立場に甘んぜねばならぬであらう、然る時は神戸で買付けんとする所の買人は橫濱の定期相場の電信を握つてからでないと出動の證を決める事が出來ないのであらう、從つて其買付が手薄れを來たし、橫濱に於ける買人に比し常に一歩を後るゝの嘆を味はねばならぬと共に、其趨勢が高じて取引の活氣を殺ぎ、成るべく本家の橫濱で買付けんとする氣運を招來するであらう、斯くて先づ買人より神戸生絲の一部が入らぬ事は打撃だが縣には依復の途あるや否やを調査してゐる併し方法次第で大丈夫と思はれる縣下の蠶業地では橫須賀、小田原、鎌倉其他松田、秦野、厚木など倒潰に纏失に被害は殆んどないが橫須賀は海軍の協力で道路は十五間位に擴張し建築線を決定して着々復舊に進みつゝあり又秦野町も中央部を燒失したに拘らず案外活氣に富んでゐる縣としては此の際縣道は四間幅、國道は八間以上と大體の標準幅員を決定してシ〳〵建築線を指定してゐる三崎港の海底が淺くなつて漁船が入られぬ事は不知不識の間に再び橫濱の獨占に歸すべき事柄と疑ひを容れない

買人たる製糸家の聞く所ともても最初は神戸へ出荷するとしても矢張り橫濱の定期相場を打電して貰つて其高低に應れて或は見送り或は買込むと云ふ事になる、然らば神戸の取引店の外に橫濱に關係の店舗ある事を必要とし、事が甚だ面倒となると共に橫濱に信頼して其待遇を享くる他の製糸家に比し常に一歩を後るるの嘆を味はねばならぬであらう、斯くて神戸生糸は橫濱貿易に在りて終始追隨的立場に甘んぜねばならぬであらう、然る時は神戸で買付けんとする所の買人は橫濱の定期相場の電信を握つてからでないと出動の證を決める事が出來ないのであらう、從つて其買付が手薄れを來たし、橫濱に於ける買人に比し常に一歩を後るゝの嘆を味はねばならぬと共に、其趨勢が高じて取引の活氣を殺ぎ、成るべく本家の橫濱で買付けんとする氣運を招來するであらう、斯くて先づ買人より神戸生絲の一部が入らぬ事は打撃だが縣には依復の途あるや否やを調査してゐる併し方法次第で大丈夫と思はれる縣下の蠶業地では橫須賀、小田原、鎌倉其他松田、秦野、厚木など倒潰に纏失に被害は殆んどないが橫須賀は海軍の協力で道路は十五間位に擴張し建築線を決定して着々復舊に進みつゝあり又秦野町も中央部を燒失したに拘らず案外活氣に富んでゐる縣としては此の際縣道は四間幅、國道は八間以上と大體の標準幅員を決定してシ〳〵建築線を指定してゐる

十日間縣下を歩いた高田縣土木課長語る

湯ヶ原は比較的被害少く金のある人の絶好の避難地

あらう眞柵も多減で通道のレールは電線の如く宙にブラ下つてゐる、酒匂川、金目川、相模川と川筋を視察したが殆んで雨降り切断されたり散々であるが、應急の修理は濟んでゐる馬入橋は復舊し酒匂橋、相模橋は架設を急いでゐる工兵隊の活動が縣下の交通依復に非常な力となつてゐるのは勿論である由北、三保、神縄の縣道は屈沒して静岡縣が食糧の供給など歓謔に努めてゐる三浦半島は道は徹道の被害と共に復旧が甚しい根府川米神などの慘憺たる光景は縣下第一にて

こわれぬテニスコート

狼公は人が來ないのを淋しがるヒツソリと静まつた花月園

今日は遠走りして鎗鳥は花月園へと見參に及び、市外だが演の名所のうちに入れとけ、入れとけ！入場料は半額の二十五錢になつてゐるが入一人通らぬ淋しさの中を共處此所に秋草が咲いてゐる。それでも日曜あたりには地方から見物に來たり連中や東京の山手方面のがタマにはやつてくるが、横濱の人間は來ないと云ふ。餘興も何も中止してゐるが殆んと、此所は損害がないと云つて良い位な程度で來月一日からは元通りドカドカブーブーと活動も歌劇もやり始めるさうだ。

乘に角一日も早く景氣をつけて貰ひたい。猿公は人が來ないので淋しがつてキー〳〵云ひ乍ら仕様ことなし

青年會を中心とする各所配給所になつはるいろいろの批難の聲

蓋し當局の監督不行届き

青年會を中心とする各所の配給所が配給米其他の應急に付配給に努力した事は一般の讃辞して居る處であるが之等配給所の中には配給方法に付極めて不公平の所爲のありとて非難の聲が高い、殊に青年會の役員等が盛間品中上等玄穀又は配給せずとて慰問品を渡さざる等極めて不統一不公平の配給をして居る處もある之等は當局の配給に對する注意及び監督不行届の致す處であると非難の聲が日に高まつて來たさうである

縣下選出代議士の奔走

八日知事を訪ひ善縣一致を誇く

吳客復舊に本縣を関知する旨叫びで勇起した縣下選出代議士は過般縣長官舍に參集し運動方法を協議したが八日午前十一時打揃つて縣廳假廳舍に安河内知事を訪ひ本縣が橋樹都筑兩郡の一部を殘して全滅せる際到底等當一樣の手段を以てしては其復舊思ひも寄らざるを以て眞に擧縣官民一致を以て政府に對し復舊善後につき助勢を求むる旨希望を開陳し共實行に關して打合を遂げ辭去したが小泉代議士の如き震災發生以來殆んど寢食を忘れ奔走中だと云ふ

湯屋業者の浴場バラック許可願ひ出で水道無くて六ヶ敷い

當市の湯屋業組合の役員は八日本縣保安課に出頭して此際速やかに浴場を開設して入浴の途を開くは衛生上極めて必要なるのみならず罹災者慰安の一助なりとの理由下に仮バラック式浴場の許可を願ひ出で更に衛生課及び建築係等に至り入浴料に就いて意見を述べバラック材料の供給に付共筋の援助を請ふたが本縣及び救護事務局では既に浴場の必要を認め無料浴場の新設等の計畫あり實行の運びに進んで居るが水道の復舊が遅延して用水の供給が缺乏して居る爲め右公設浴場の新設すら困難であるから目下の處私設浴場の新設に努力する事であるまいと湯屋業組合員にも説明したさうである

馬力をかける配給係

震災の傳染病は逐次增加の傾向を呈して居る殊に事態に處し易い腸チブス赤痢の如きは震災前に比し著しく增加して來た都會にも於ても稍増加の傾向あるも腸チブス二百九十二名赤痢四十七名共内腸チブス患者の多いのは橘樹郡大綱村の九十六名、城郷村三十名、都筑郡新田村三十六名、同郡田村十四名等であるが市内は七日現在の腸チブス患者百六名、赤痢三十六名患者の多いのが淺間町、戸部町、羽衣町、根岸刑務所附近であると

チブス赤痢の統計

人の「シュック」にあつた、何も別段これと云ふ面白いものもなければ珍らしいものもないが伊勢ブラが夜散歩する橫濱人の「シュック」であつた事を今更して初めて感知にやう感ずる

よく寫眞などに見る圖だが巴里の子供達が日本のノロ〳〵自動車などに感の子の步むにも等しいとても形容する樣な愚らしく早い自働車上の人となつて口々に「シュック」と叫んでゐるのがある、「シュック」と云ふ言葉の意味はよく判らぬが多分日本語にすれば「案外ッ」とか「愉快ッ」とか叫ぶ喚声の嬉しい誇りしげな而も無邪氣な心情を言ひ現はす一種の間投詞らしい

私が在りしむかしの伊勢ブラが橫濱人の「シュック」であつたと云ふのは正にこれに似寄つた橫濱人の心情を讀者に傳へんとするものに外ならない

極めて卑近な回想であるがアノ明るい街だけでも今の私にはなつかしい、橫濱の夜を明るくする電氣や鬼斯の光りの全盛の何割かを無雜作に集めて惜し氣もなくこれを消費するだけでもアノ街から受けた當時の感じを私はなつかしいと思はざるを得ない

ブラ〳〵散歩する人の姿も私の腦底に繪巻物の如くに映る、八月の夜を凉みてらに杖を曳く浴衣姿は天界の前の晩までアノ街を北から南へ、南から北へ繪巻物に描かれた美しい繪のやうに歩いてゐた

俗惡だと心の中に罵つた活動小屋の繪看板もなつかしい、非衛生極まる人々だと罵る男女の無關心を笑つたコホリ屋の稼業もなつかしい、贅澤心を增長させる無用の長物だと憤慨した果服屋のウキンドウもなつかしい

總てがなつかしいものだらけだ、晩餐を終へて電車に乘つて足鬼町あたりからアノ街の歓楽の空氣の中へ吸ひ込まれる散歩氣分は今考へれば憧憬に私の「シュック」であつた、朝日座でも喜樂座でも乃至又樂館でもオヂヤンでも滅多に木戸を潜つたためしはないが、群がり歩む人々の肩越しに其威勢のいい木戸口の繪者を見るだけでも、當時の私の心には一種の手和気分が揺現したに相違ない、思へば甘い買り屋の店頭には盛音器屋の軒下に十重二十重に包圍する人々の無事泰平の光景……だと夫れだけを眺めても當時の私の心の中は其人々と同じ樣に無事泰平の恰樂の喜びに充ち滿ちてゐたことであつた

急告

代理店保険契約者其他各位に至急御通知

本社及東京支部類焼に際しては御懇篤なる御見舞を辱うし難有御禮申上候

銀座に新築中の本社建物は專門家調査の結果殆ど被害無之仍て今回從來の假事務所を撤し東京支部と共に左記本事務所に移轉の通り執務致候間御承知被下度候

本社直接取扱に屬する契約者各位に

今回の災害に依り本社帳簿整理の必要有之候間是迄直接本社に保險料御拂込（支部又は代理店を經ず本社集）相成候保險契約者各位には此際午御手數至急現在の御住所及御契約の要項を詳細に御通知（可成葉書）被下度候

大正十二年十月二日

本事務所
東京市京橋區銀座尾張町二丁目（本社新築建物階上）

國光生命保險相互會社

廣告

急告

當社並拙者所有の地所にして地上の建物焼失致候場合引續き借地御希望の方は至急御出頭の上御協議相成度候尚大正十二年十一月十五日迄に御申出なき方は借地の御意志なきものと認め適宜處置可致候に付爲念申添置候

大正十二年十月五日

橫濱市元濱町一丁目一番地

渡邊合名會社地所部所

同　渡邊福三郎

今はむかし

（一）　禾口生

伊勢ブラは鬼ゝ角も橫濱

大正十二年十月十一日（木曜日）（十日夕刊）　横濱貿易新報　臨時第二十八號　（第三種郵便物認可）　（一）

夕刊 横濱貿易新報

定價 金壹錢
編輯兼發行人 山屋清次郎
印刷人 岩田四郎
臨時發行所 神奈川鐵道橋際 横濱貿易新報社

都市計畫の基本條件（下）

第三の東京との關係に就ては、既に橫濱港調査委員會に於て、概略其主要事項に關する研究が出來て居る、要は橫濱の港灣、水陸の運輸交通、其他商業上の諸設備を決定するに際し、每に東京との關係に於ける便利と安全とを主眼として、其根本計畫を立案せんとするに在る、之は震災後の今日益々其緊切なる主張たることを認めるのである

第四に吾人が橫濱市內の行政、地帶、交通連絡の上に於ける統一整理と稱する事項中、先づ考慮に上ぼさゞるを可からざるは、前後數回に亘る市域擴張に依りて橫濱市に編入せられたる町村中に、舊神奈川の如き古き歷史を有する一都邑を包擁して居ることである、又新橫濱の建設を爲さんとする場合、寧ろ其合併を相互の利益なりと認むる保土ケ谷町の如きも、之を郊外の一部落として、單純に取扱ふ可きでは無いと考へる、即ち新橫濱は所謂橫濱と俗間に呼び做して居る地區の外に、神奈川は勿論の事、或程保土ケ谷をも包擁したる大地區に對して、從來の缺陷を補ふ可き行政上の統一を計り得べきことが、其長島町より伊勢佐木町通りを御巡視荒廢した其光景に御臼を注がれ吉田橋を渡つて馬車道通りより岩圖橋を經て新港に入らせられ特に四號、五號、六號各岸壁の復壞の跡に御注意の御目を止め給ひ自動車より下り立たせ給ひて橫濱市の生命ともいふべき港灣の將來に付種種御下問あらせられるなどいろ〳〵と御視察遊ばされ御資歷の前後御乘組御上陸遂げられた皆殿突端の破壞の有樣を御覽遊ばされ深く御驚あり夫より稅關西門を經て山下町より新港岸壁に成らせられ近くの棧橋破壞の跡を御視察同十時四十分艦載ランチにて輕巡洋艦「多摩」に御移乘橫須賀市の災害に御視察あり午後二時五十分再び橫濱御入港三時三十分橫濱驛發の特別列車にて還幸あらせられた

攝政宮橫濱御視察 具さに慘狀の跡を

御覽あらせられ種々御下問

特に港灣の破壞に御注目

震災狀況御視察の攝政宮殿下には御豫定の通り今十日午前八時四十分橫濱驛御着太田驛長御先導一般改札口より宮內省差し廻しの自動車に召され入江侍從長御陪乘神奈川縣警部御先驅にて山梨戒嚴司令官、田中陸相、財部海相、關谷宮內次官、堀本內務次官、後藤警保局長、齋藤警備隊司令官、安河內知事、渡邊市長、立石橫濱地方裁判所長、森岡警察部長其他關係各高官屬從高島山の警備隊司令部に御少憩後山上より燒土と化した市街の慘狀を具に御展望種々御下問あり更に自動車を驅つて高島町、櫻木町を經て紅葉橋を渡り正金倶樂部跡に於て御下車兒玉正金頭取の御出迎を受け港內の慘狀を御展望兒玉頭取献上の圖と市長の御說明を聞こし召され再び自動車にて震災事務局假廳舍、橫濱市役所等に御立寄あらせられ市役所にては市長より本市被害狀況一覽並に罹寫眞帖一部を献上し同所より御乘車瓦斯橋より野毛町、日出町、初音町等を經て榮橋を渡り

絹業復興漸次進捗

直輸は全部開業の決意 賣込店も準備成る

絹業復興は蠶糸復興に比し一日を遲れたるも營業者は震災後直ちに復興に努力し且つ最近日本輸出絹聯合會總會に於て橫濱絹物の復興を決議し氣勢を昂げたるより昨今頓に勢力を加へ殊に川俣其他關東北疏の絹物を取扱ふ向は自然的に復興すべき立場に在りと云ふべし

生糸復興の中心問題

關係一切の機關を 密集的に一地に包容

芳賀檢査所長の所說

生絲貿易の再起が橫濱復興の第一義であると生糸檢査所等一切の機關を密集し生糸貿易と金融との關係を一層圓滑となす計畫でその基礎は帝蠶倉庫の寄附金其他三百八十萬圓見當を農商務省が支出し檢査所竝倉庫の擴張既定の計畫を繰上げて急速に竣工せしめ其他は官有地大半を占むるため決定上に便宜が多いと云ふにある

市の冷淡に發奮した 馬車道商榮會の意氣込

十一月より一齊に開業する

馬車道復興會では關內の復興の魁としてバラックの商店を急造し震災後の必需品を賣り出すべく過般來會長清水榮助、副會長一の瀨典左衛門氏が屢々市に出張して其建築材料の供給方に付市に交渉したが市では同會の希望に副ふべき回答を與へないので急ぎ會合の上各自に建築材料を他に求めて一時的バラック建の商店を開き十一月より一齊に開業する事となつた、出店人は從來の商人のみであるが商品は成べく震災後の必需品を選び極めて廉價に供給するやうで右開業の曉は兩側に電燈を點じ華々しき賣出しをやるやうである同會の役員は語る『馬車道には商榮會といふものがあつて商業振興の爲めには絶へず努力して居た矜に開港記念日などは伊勢佐木町通りや野毛通りより帝に奮發して盛んに賣出しや裝飾には他を凌駕して居た矜が多い今回の厄災に會つても橫濱復興の魁として復興氣分を盛んならしむる爲め異先に活動の歩を進めたが市が冷淡の爲ゆ一時は意折したようなものゝ今度といふ今度は他力でなく飽迄自力で會初の意志を益々强めて其目的に向ふ決心である云々

橫濱港復舊に 必死の活躍の意氣込み

ある橫濱港灣調査會

橫濱港灣調査會は港の擴張竝びに施設完備について第一部より第四部までの特別委員まで設け大體の骨子は既に出來上つて居たのを今回の震災に鑑み市の生命である港灣の兩委員會も近日中に開會し意見を取纏め橫濱港復舊に必死の活動を重ぬる意氣込みである

就業資金五十万圓 借り受けの相談に

復興會の六氏關係三省訪問

政府の就業資金五十萬圓を借受け商業機關の復活を計るため橫濱市復興會の大濱中村、佐藤、平沼、渡邊、大久保の六氏は九日午前農商務大臣、內務三省を歷訪して資金融通を懇請し大體の諒解を得て午後歸濱した、尚一方の政府拂下物資の販賣に就いて引續き協議の上評價委員を選定したが卸商と小賣關係を至急取極め貨行にかゝるとゝ云ム

對外爲替の下落と 本邦輸出貿易

前途活躍を豫想さる

關東大震災の結果本邦輸出貿易品の大宗たる蠶絲絹物が一時輸出難を來せる爲めに我が貿易狀態は著しき輸入超過を助長するの傾向あり從つて對外爲定は大に片爲替となり目下對英及對佛對米等の爲替相場も嚴正に樹立し得ざる狀態であるが併し將來大下落を見るべきは明白なる所にして既に對佛爲替は震災前の九法三十倉餘を唱へ居たるが今日に於ては八法臺に下落し對米對英も震前の四十八弗又は二志一片臺を支持する事

港灣部會

橫濱市復興會港灣部會は十日午前十時開會したが前回から繼續の船舶給水の件は都橋より今明日中辨天橋より二十四五日頃には夫々給水の運びとなり殘餘の給水の運びとなり殘餘の貨物の廉分は市內五ケ所に配給所を建設する計畫あるため之が實行を督促する事フエアリーポートの計畫に就いて市を督勵する事最後に自由港の問題は今日が解決の絶好機會であるから工業部に移牒して研究を促す事等を決して正午散會

都市計畫部

都市計畫部會は九日午後二時廿分開會神奈川地方委員會の木村技師から復興院に於て此の都市計畫は決定實施するものでその內容によつて地方委員會は既に中心問題に就き五項の私案を提出し市當局も熱議の結果を近日提出する筈であると云ふ

加藤子爵の激勵演說

きのふ絹聯合會席上にて

總會終了復興方法の實現に着手

輸出絹商業組合聯合會總會第二日目の午後は既報の如く役員選擧で一時間餘、安河內本縣知事の挨拶あり次いで折柄來濱せる加藤農政會總裁の遞信並びに逓相官邸に於ける午前中開かれた役員懇談會委員會の結果報告として組長には原富太郎氏を推し副組長には松井文太郎氏を推薦し評議員には上申信弘、吉江多吉、武部健吉、堤野源八郎、大內專八、池田有藏、出口直吉の七氏を擧げたる旨の報告あり滿場一致可決交涉委員より前記候補者に交涉する事とした尙評議員は組長の指名によつて確定するものである之にて總會を終り倉庫復興方法の實行に着手する事となつた

大格鬪

西戶部町一八七番物商林竹松（五二）同金藏（二六）の親子が九日午後九時頃省軍を曉き番戶部署前を通行の際ダイ醉した絲町中央倉庫運送社人夫島田福松（二八）塚本萬一（二九）吉野町二（二）佐々松藏（二五）の四名が共進路を塞いだので口論の末互に得物を振つての大格鬪となり孰も負傷して戶部署へ

とを有するを以て糸價は當分向上の步を辿るべくやがて定期市場でも開市さるゝに至れば一時爆發的活況を呈せんも測るべからずであるも但し斯くて吊上げの結果は荷物の增加や相場の行詰りに會し且つ一方には安物原料を仕入れたる向の賣込み機樣を迎へて一旦は兎に角反落すべき事必定であるから人氣ほどには多數の手合を見ない樣である盂し曉秋蠶の不作と共高價と生絲自体の在荷薄とを內に控へ外には絹育生糸の輸進狀態

主家の避難の留守中に 矢鱈に家財を持出す

此種の犯罪頗る多し

市內北方町竹の花四六三神尾圓藏（四四）は震災以前より署に逮れ來つて目下取調中だが罹品二百十數點、價格二萬數圓に上る見込であるとゝ云ふ此前記同樣の手段を以て主家の外人邸宅に盛んに侵入して家財道具を持ち出したる者は同署管內に多數ある見込で良田署長は『今明日中に假屆含が出來上るからドシ〳〵やる』と力んでゐる

更に高唱へ 三五十圓高入氣

生絲市場

十日の生絲市場は前日三五十圓高入氣の氣先き依然として其底意を保ち成行十四五萬斤の仕切賣段は最優等二千四百五十圓、八王子格二千三百五十圓の賣唱へであつたが午前中は商機尙熟さず買人は多少慎押し模樣で值極めは多分夕刻近しと察せられた伺成行直段さへ決定すれば新規商內も相當に出來樣であるが何分各店共貴慣しみの今日であるから人氣ほどには多數の手合を見ない樣である盂し曉秋蠶の不作と共高價と生絲自体の在荷薄とを內に控へ外には絹育生糸の輸進狀態

金融部會

金融部會は九日午後三時開會大久保委員長より貿易部會移牒の件を報告協議の結果（一）貿易資金の貸付を政府へ要望し更に來る十一日の計畫部正副委員長會に提出して之を具體案となす事（二）の營業資金の豐富と簡便なる方策に就ては會長名を以て各銀行に傳達し最善の方法を採らしむる事（三）手形交換內地爲替業務の促進は是れ亦會長名にて組合銀行に傳達する事而して之が爲めには電話の復舊が必要なれば運輸交通々信部に移牒する事とし同四時半散會した

都市計畫部

都市計畫部會は九日午後二時廿分開會神奈川地方委員會の木村技師から復興院に於て此の都市計畫は決定實施するものでその內容によつて地方委員會は既に中心問題に就き五項の私案を提出し市當局も熱議の結果を近日提出する筈であると云ふ

對外爲替の下落と 本邦輸出貿易

前途活躍を豫想さる

關東大震災の結果本邦輸出貿易品の大宗たる蠶絲絹物が一時輸出難を來せる爲めに我が貿易狀態は著しき輸入超過を助長するの傾向あり從つて對外爲定は大に片爲替となり目下對英及對佛對米等の爲替相場も嚴正に樹立し得ざる狀態であるが併し將來大下落を見るべきは明白なる所にして既に對佛爲替は震災前の九法三十倉餘を唱へ居たるが今日に於ては八法臺に下落し對米對英も震前の四十八弗又は二志一片臺を支持する事

都市計畫の基本條件（下）

第三の東京との關係に就ては、既に橫濱港調査委員會に於て、概略其主要事項に關する研究が出來て居る、要は橫濱の港灣、水陸の運輸交通、其他商業上の諸設備を決定するに際し、每に東京との關係に於ける便利と安全とを主眼として、其根本計畫を立案せんとするに在る、之は震災後の今日益々其緊切なる主張たることを認めるのである

第四に吾人が橫濱市內の行政、地帶、交通連絡の上に於ける統一整理と稱する事項中、先づ考慮に上ぼさゞるを可からざるは、前後數回に亘る市域擴張に依りて橫濱市に編入せられたる町村中に、舊神奈川の如き古き歷史を有する一都邑を包擁して居ることである、又新橫濱の建設を爲さんとする場合、寧ろ其合併を相互の利益なりと認むる保土ケ谷町の如きも、之を郊外の一部落として、單純に取扱ふ可きでは無いと考へる、即ち新橫濱は所謂橫濱と俗間に呼び做して居る地區の外に、神奈川は勿論の事、或程保土ケ谷をも包擁したる大地區に對して、從來の缺陷を補ふ可き行政上の統一を計り得べきことが、其都市計畫上極めて肝要なる其本條件の一を爲す所以である、新橫濱の公館地區に就ての問題の如き、無論此點から割出して決定す可きものである

次で重要なる地帶制度の如き、道路交通に關する問題の如き、先づ此基準點を押へて研究すれば、自から其適正なる解決を得ることが出來ると思ふ、吾人は此點に於ても亦市の利害に關れて、百年の大計を誤らざらん事を、只管希望して已まない者である

攝政宮橫濱御視察 具さに慘狀の跡を

御覽あらせられ種々御下問

特に港灣の破壞に御注目

震災狀況御視察の攝政宮殿下には御豫定の通り今十日午前八時四十分橫濱驛御着太田驛長御先導一般改札口より宮內省差し廻しの自動車に召され入江侍從長御陪乘神奈川縣警部御先驅にて山梨戒嚴司令官、田中陸相、財部海相、關谷宮內次官、堀本內務次官、後藤警保局長、齋藤警備隊司令官、安河內知事、渡邊市長、立石橫濱地方裁判所長、森岡警察部長其他關係各高官屬從高島山の警備隊司令部に御少憩後山上より燒土と化した市街の慘狀を具に御展望種々御下問あり更に自動車を驅つて高島町、櫻木町を經て紅葉橋を渡り正金倶樂部跡に於て御下車兒玉正金頭取の御出迎を受け港內の慘狀を御展望兒玉頭取献上の圖と市長の御說明を聞こし召され再び自動車にて震災事務局假廳舍、橫濱市役所等に御立寄あらせられ市役所にては市長より本市被害狀況一覽並に罹寫眞帖一部を献上し同所より御乘車瓦斯橋より野毛町、日出町、初音町等を經て榮橋を渡り長島町より伊勢佐木町通りを御巡視荒廢した其光景に御臼を注がれ吉田橋を渡つて馬車道通りより岩圖橋を經て新港に入らせられ特に四號、五號、六號各岸壁の復壞の跡に御注意の御目を止め給ひ自動車より下り立たせ給ひて橫濱市の生命ともいふべき港灣の將來に付種種御下問あらせられるなどいろ〳〵と御視察遊ばされ御資歷の前後御乘組御上陸遂げられた皆殿突端の破壞の有樣を御覽遊ばされ深く御驚あり夫より稅關西門を經て山下町より新港岸壁に成らせられ近くの棧橋破壞の跡を御視察同十時四十分艦載ランチにて輕巡洋艦「多摩」に御移乘橫須賀市の災害に御視察あり午後二時五十分再び橫濱御入港三時三十分橫濱驛發の特別列車にて還幸あらせられた

絹業復興漸次進捗

直輸は全部開業の決意 賣込店も準備成る

絹業復興は蠶糸復興に比し一日を遲れたるも營業者は震災後直ちに復興に努力し且つ最近日本輸出絹聯合會總會に於て橫濱絹物の復興を決議し氣勢を昂げたるより昨今頓に勢力を加へ殊に川俣其他關東北疏の絹物を取扱ふ向は自然的に復興すべき立場に在りと云ふべし

生糸復興の中心問題

關係一切の機關を 密集的に一地に包容

芳賀檢査所長の所說

生絲貿易の再起が橫濱復興の第一義であると生糸檢査所等一切の機關を密集し生糸貿易と金融との關係を一層圓滑となす計畫でその基礎は帝蠶倉庫の寄附金其他三百八十萬圓見當を農商務省が支出し檢査所竝倉庫の擴張既定の計畫を繰上げて急速に竣工せしめ其他は官有地大半を占むるため決定上に便宜が多いと云ふにある

市の冷淡に發奮した 馬車道商榮會の意氣込

十一月より一齊に開業する

馬車道復興會では關內の復興の魁としてバラックの商店を急造し震災後の必需品を賣り出すべく過般來會長清水榮助、副會長一の瀨典左衛門氏が屢々市に出張して其建築材料の供給方に付市に交涉したが市では同會の希望に副ふべき回答を與へないので急ぎ會合の上各自に建築材料を他に求めて一時的バラック建の商店を開き十一月より一齊に開業する事となつた、出店人は從來の商人のみであるが商品は成べく震災後の必需品を選び極めて廉價に供給するやうで右開業の曉は兩側に電燈を點じ華々しき賣出しをやるやうである同會の役員は語る『馬車道には商榮會といふものがあつて商業振興の爲めには絶へず努力して居た矜に開港記念日などは伊勢佐木町通りや野毛通りより帝に奮發して盛んに賣出しや裝飾には他を凌駕して居た矜が多い今回の厄災に會つても橫濱復興の魁として復興氣分を盛んならしむる爲め異先に活動の歩を進めたが市が冷淡の爲ゆ一時は意折したようなものゝ今度といふ今度は他力でなく飽迄自力で會初の意志を益々强めて其目的に向ふ決心である云々

橫濱港復舊に 必死の活躍の意氣込み

ある橫濱港灣調査會

橫濱港灣調査會は港の擴張竝びに施設完備について第一部より第四部までの特別委員まで設け大體の骨子は既に出來上つて居たのを今回の震災に鑑み市の生命である港灣の兩委員會も近日中に開會し意見を取纏め橫濱港復舊に必死の活動を重ぬる意氣込みである

就業資金五十万圓 借り受けの相談に

復興會の六氏關係三省訪問

政府の就業資金五十萬圓を借受け商業機關の復活を計るため橫濱市復興會の大濱中村、佐藤、平沼、渡邊、大久保の六氏は九日午前農商務大臣、內務三省を歷訪して資金融通を懇請し大體の諒解を得て午後歸濱した、尙一方の政府拂下物資の販賣に就いて引續き協議の上評價委員を選定したが卸商と小賣關係を至急取極め貨行にかゝるとゝ云ム

港灣部會

橫濱市復興會港灣部會は十日午前十時開會したが前回から繼續の船舶給水の件は都橋より今明日中辨天橋より二十四五日頃には夫々給水の運びとなり殘餘の給水の運びとなり殘餘の貨物の廉分は市內五ケ所に配給所を建設する計畫あるため之が實行を督促する事フエアリーポートの計畫に就いて市を督勵する事最後に自由港の問題は今日が解決の絶好機會であるから工業部に移牒して研究を促す事等を決して正午散會

都市計畫部

都市計畫部會は九日午後二時廿分開會神奈川地方委員會の木村技師から復興院に於て此の都市計畫は決定實施するものでその內容によつて地方委員會は既に中心問題に就き五項の私案を提出し市當局も熱議の結果を近日提出する筈であると云ム

加藤子爵の激勵演說

きのふ絹聯合會席上にて

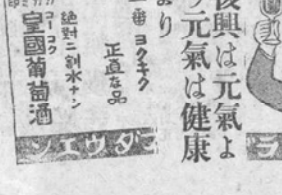
總會終了復興方法の實現に着手

輸出絹商業組合聯合會總會第二日目の午後は既報の如く役員選擧で一時間餘、安河內本縣知事の挨拶あり次いで折柄來濱せる加藤農政會總裁の遞信並びに逓相官邸に於ける午前中開かれた役員懇談會委員會の結果報告として組長には原富太郎氏を推し副組長には松井文太郎氏を推薦し評議員には上申信弘、吉江多吉、武部健吉、堤野源八郎、大內專八、池田有藏、出口直吉の七氏を擧げたる旨の報告あり滿場一致可決交涉委員より前記候補者に交涉する事とした尙評議員は組長の指名によつて確定するものである之にて總會を終り倉庫復興方法の實行に着手する事となつた

大格鬪

西戶部町一八七番物商林竹松（五二）同金藏（二六）の親子が九日午後九時頃省軍を曉き番戶部署前を通行の際ダイ醉した絲町中央倉庫運送社人夫島田福松（二八）塚本萬一（二九）吉野町二（二）佐々松藏（二五）の四名が共進路を塞いだので口論の末互に得物を振つての大格鬪となり孰も負傷して戶部署へ

淺草支店 使 永井富助 六十五
橫濱支店 使 小栗田大吉 五十八
右者安否及居所ヲ御承知ノ方ハ當行ヘ御通知ヲ願ヒマス
東京市小石川區區口永道町五十三
株式會社 日本畫夜銀行



當所所有土地に於ける災害前の借地人各位にして引續き借地御希望の方は來る大正十二年十月五日迄に中村町內邊合資會社迄御申出の上改めて御協議致度候間此段廣告候也
追而右期日迄に御申出無之時は借地御希望無之者と認め適宜處理可致候
大正十二年十月
橫濱市中村町千三百四十三番地
田邊合資會社
田邊德五郎
田邊鄉左衛門
木輝忠
各地所部
借地人御中

滅びざる殿堂の建設に

去る者は去れ來る者は來れ

「古き藝術」つゞき

際舟で巧く逃げ出したそうな。その手で逗子の養神亭を逃げれば逃げられたらこれは誰れの歌だと思ったら伯爵の若樣だか馬鹿樣だかで遊蕩兒吉井勇朝臣のオン歌だ。

『吾子は褒ぬわれは眠らで夜を守らんこの怖ろしき更けがたき夜を』

若樣もこれでみると、夜警なさつたらしい。だが歌を詠む、いや字を三十一並べたてられる餘裕は流石に大官人だ。その反對のプロ派で近頃メキ〳〵賣り出した新井紀一は下痢して便所の中にたかがアノ騷ぎで飛び出したさうだ。だが尻をふいたかどうか、それまでは聞かなかつた。

九月一日にはじまつて十餘日

災害のとどまる所これを知らず

危くも命を全うし家を失はざりしものも

かの長髮の徒のための恐怖におびえ

放火、掠奪、流言、蜚語限りを知らず

戰々兢々として夜毎自警す

火はいまだ餘燼ほろびず

陰々と燃え

大地なほ搖るゝこと日に數百回

これは日本の「ハイヤ」と安價なセンチメンタリストの女學生連から賞翫を本つうれてゐた生田春月の詩だそうな。ハイもやつぱり自警したのだつたから。現に負これからはこんなのはべケだ。

そうかと思ふとこれは又モロに優しいのがある

あまり悲慘な鵜ひに倒された澤山の人々の御靈に寂しい〳〵泪を手向けるのでございます。

とは「花物語」の吉屋信子孃さんの述懷。三島章道子爵は大磯の御別邸を潰されてガッカリ、これで人並みの地震が語れる。前日島崎の事を書いたからついでに今日は例の不良少女舟木芳江さんの事をかいてやろ。アレ以來お嬢さん日本橋の病院に監入つてゐたが、あの外には死んだのは見當らない。未だ來だいかげん死んで好さそうなのが大分見えるのに……ソコが運賦天賦の面白さだ。久米正雄やの何かの御常連は盛んに『帝都復興藝術協會』とかを起すと云つて騷いでゐる。久米は流行るものを直ぐやりたがる男だが、今度は元氣よく景氣よく本當にやることだ。

兎に角、何もかもすべてが立て替へであるそよだ。吟笈の害木細工の藝術は地震でメチャ〳〵になつた。僅かに殘つてゐるものもドカンドカンと爆破してしまはなければいけない。今度はそこに地盤のシッカリした永遠の殿堂を築き上げるのだ。逃げたい奴はドンドと逃げろ、三丁以内は危ないぞ。やる奴はしつかりやらう。お互に喧嘩に行かうぜ、相棒……とこれで文藝ゴシップは一卷の終り又何か改めてゴタクを並べやう

（アイ生）

三日間縣下を視察した
森岡警察部長の談

眞鶴はひどくやられたが復活の意氣込も凄じい

森岡本縣警察部長は四、五、六の三日間に亘り縣下各地の震災狀況を視察して九日歸廳した其の視察談に曰く

「視察した災害地は戸塚、藤澤、厚木、大磯、平塚、伊勢原、秦野、松田、小田原、眞鶴、箱根等であつたが其內最も慘狀を極めて居るのは眞鶴で、ある同地は震害に續いて火災あり更に海嘯に襲はれたので其慘害は目も當てられない、同地の戶數は約七百戶であるが四百戶以上は此災害の爲めに滅滅した、併し復興氣分は甚くべき程活氣を呈して居る、三重の災害に遭つた眞鶴が激場として優秀なる地位を占めて居る關係から甚だしい損害を受けて居るにも拘らず復興に全力を注ぐ丈けの餘裕のある事は注目に値する、アレ丈ふ、横濱の如きも東洋に於ても優秀なる港灣を有して居る處に一種の意氣が流れて何となく力强い感じを與へて居た

三十馬力の精米機

市で政府から拂下

市では罹災者に對する白米供給のため政府拂下げ米を讓り受け三十馬力の精米機を設備し一日五百俵宛玄米を精米の上

兵營と地震と火事

（二）

老軍曹

不安の一夜は明けて二日の朝が來た。東京、横濱の空は黑煙が雲かと疑ふばかりに空を蔽ひ其の大半を焦土としてしまつた事を想像出でゝ居る、昨夜東京へ歸つた兵達が二十三人と迫々力のない足どり歸つて來る、其多くが家は既に燒かれて居たが火で近寄れず家族の安否も確かめる術なく歸隊したと云ふ風に悲慘な報告をする者が多い。そして彼等は幸ひ命を全うせる樣に東京は全く焦土と化し横濱も同一の運命に陷つて居ると信じ一の運命に陷つて居ると信じ各自が別莊地は何れも破壞されて居る、泰野は千百戶の內三百戶はやられた、併し煙草の作が好いので一般の人氣は昂つて居る、箱根は旣に宮の下も箱根町の間に乘合自動車が往來し各溫泉地須賀の命から〳〵避難して來た云ふ川口町へ避難した男が二人疲勞しつくした身體を遁ばれて來た。其男の口から傳へられた處によると逗子、鎌倉は全滅し橫濱はホンの一少部分を殘して火となり今尙ほ燃へて居るやうな……或はと思ひあれば足踏みしめ騎士となつた東京を捉けるより少しは遠くとも安全にと山の手線の電車線路を大井へと出た步幅の不揃いな線路の枕木をつたい、地震でグラック建物を渡り地割れ餘震に肝を冷やし乍ら行手を急いだ。板橋驛を過ぎる頃から鐵道線路の兩側には三十七錢五厘で拂下げ夫れを二十九錢で賣貰せしむる營である

公設市場及び指定商人をして販賣せしむ可く準備中であつたが平沼の靑ゴム會社數地の一部で鐵道引込線及び舟運の連絡ある個所約百坪を借受くる事に九日交涉が成立したので八十坪のバラック建物を設け早速精米に着手す可く商人には一升三十七錢五厘で拂下げ夫れを二十九錢で賣貰せしむる營である

戶部管內の人五萬五千

八日現在調査

戶部署に於て調査した同署管內の八日現在の戶數は一萬三千九百二十三、人口五萬四千七百七十四で日々增加の一方であるが各町別左の如し

町名	戶數	人口
西戶部五〇五	一九七五	六
伊勢町	二九四	一〇七六
平沼	一八九	七四五
仲町	一一	五〇
村木	三七	一三七
淺間	二一六	八四
岡野	四七八	一九二九
青木	九〇二	三三七四
北九七	三三四	五七七
花咲	一四二	一〇七
內田	一〇七	二一三
尾張屋	六四	二四八
高島	一三九	四八三
久保二〇三一	一	三六五
南太田九二九	六二	二五四
老松	二	五八四
月岡	一五六	一七七
西平沼	六五	二二八
稻	四二	一四五
綠	八八	四一六
高島	四一六	一六四
宮崎	四一六	一七四
計	一三九二三	五四七

今はむかし

（二）

大家主

禾口生

關內の某所に個營業所を開いてゐる某銀行の窓口で或る知合の老人に逢つた、其日は天氣で暖かくはあつたが十月と云へば單衣の陽氣でない事は勿論であるに老人は垢に染つたちゝみの浴衣を無雜作に着て腰引も穿かず、裸足かに端折つた脛露はに足袋はだしと云ふ見すぼらしい有樣であつた右の肩から左の腋下へ斜めに背負つた布呂敷包みより天窓に覗いた古ぼけた胴卷と手に携へた杖代りの一本の竹、夫れは恐らく此老人の外出に際する唯一の伴侶であらう。

「私は一夜乞食だ」と老人は叫んだ「六十何歲の此年まで碌な貯蓄もせずに貯めた二三十萬の財產がアノ日の一晩で灰になつて殘るものは何にもなし」と老人はカラ〳〵と笑つた。馬鹿鳥鹿しくて涙も出ない悲う云ふ場合の失望落膽を現はす物凄い表情でカラ〳〵と笑つた、着てゐる着衣も實は一張羅でもんぢやと老人は其垢染みた袖口を引ツ張つて見せた

銀行に在る金さへも殘餘がなく印鑑もなく營座の間には合ひ札もなく話しもした。

老人は貸家を無數に持つて月に數千圓も家賃が上つた、家賃が上れば又貸家を建へたり貸家を買つたりして燒けて仕舞つた、別に何か商ふ店も數軒持つて居かを商ふ店も數軒持つて居たが夫れも全部燒けて仕舞つた、老人が六十年掛つて貯めた數十萬圓の財產が一晩で灰になつて仕舞つたと云ふ事に驚く可きも無いが「俺は一夜乞食ちやん」と老人は繰り返した、如何にも一晩で數十萬圓の財產を失つて仕舞へば一夜乞食と自稱する點に嘘も偽りもない

悉らく銀行には何千圓或は何萬圓の預金があるに相違ないが、其預けた金は帳面もなければ證書もなくチョットの間に合ふべくない、結局一夜乞食を標榜する老人の心の中には銀行の預金などは眼中になく每月坐つて入れる收入を以て思つてゐる事であらう、他人の事ながら聞けば聞く程勿體ない殘念至極な事であつた。

花むしろを盜む

戶部町六一八米商加藤八十八方屋人大澤仙松（二三）は此程表高島町共立倉庫第四號倉庫側の艀間品配給場に積んであつた花莚四十枚を窃取し逃走する處を戶部署員に捕はれ八日送局

病毒市內に侵入す

神奈川在大綱、城鄉兩村に傳染病流行し現在患者百六十八名あるが市內にも震災後病毒侵入し神奈川町にて現在チブス患者十五名赤痢七名にて靑木町にもチブス一赤痢患者二名あり兩所共嚴重消毒を要すると

電車と衝突

市外保土ケ谷町權子人夫箱錄警察（五三）は九日午前九時頃荷車を轢き高島町一ノ地先きを通行中尾上町神奈川行き百三十二號電車に衝突頭部に重傷を負ひ社會館內の救護班に於て應急手當を受けた

在鄉海軍兵の失職者を世話

今回の震災により在鄉海軍人にして失業の結果就職に苦しみ居るものにして希望條件を明記の上橫濱貿海軍人事部へ申出づれば出來るだけ世話をする相である

急務中の急務倉庫の充實
應急倉庫五千坪建設
夫に先ち河川の整理が必要

貿易の恢復と市內の倉庫の充實は急務中の急を認められても多いであらうが永久的の建築改修の現狀では本郵船積濱支店では岸ぶの之に對し救護物を要するので日本郵船積濱支店では岸ぶの之に對し救護物を要するので日本郵船積濱支店では岸ぶの之に對し救護物を要するので日

大正十二年十月十二日（金曜日）（十一日夕刊）　横濱貿易新報　臨時第二十九號　（第三種郵便物認可）　（一）

夕刊

横濱貿易新報

定價金壹錢

編輯兼發行人　山屋清次郎
印刷人　岩山　四郎
臨時發行所　神奈川鐵道橋際
横濱貿易新報社

社會事業の復興に就て

横濱の社會事業は、最近かなり整頓を告げて來たのであつた、而るに今回の震火災は、單に漸進のみを除外すべき籍無く、其等機關の多くは、矢張燒失若くは潰滅の運命を免れ得が出來なかつた、凡て社會事業の必要は、縱ひ異常の變無くとも、今日願ふる共緊切を告げつゝあるの際、更に稀有の社會的惨禍に直面したる横濱としては、他の如何なる事業よりも、先づ之が復興を急ぐことが、極めて大切であると考へる殊に偉ふる所の如くんば、横濱の社會事業に對し、今回正金銀行より百萬圓寄附の申出でがあり、市に於ては、日下其使途を審案中であるとの事である、之は當濱に取つてもつけの幸ひとも謂ふ可きで、吾人は此貴金が、横濱の社會事業を復興せしむる上に、最も有効且つ適切に使用せられんことを要望する者である、而して其場合、吾人が殊に關係當局の考慮を促がさんとするは、社會事業の經營なるものが、他の事業に於けるよりも、之を擔當する人の宜しきを得ると否とに由りて、其成績の上に非常の相違を見ること甚大なるの一事である、所謂お役所仕事では、社會事業の機能を十分に發揮することが出來ぬと聞ふのが、吾人の之を指摘する要點である

吾人は社會共存の大義に基きて、社會事業の須要なる所以を唱道し、從つて之が公營主義をも主張すると雖も其機關の實際運用に就ては寧ろ篤志人格者の努力に俟つの得策なるを信ずる、而して震火災後に復興せしむ可き社會事業に就ても、亦是等人士の手を煩はして考慮せんことを要望する者である

生絲市場

急騰後旁々

直段は前直か

前日四十圓高を以て新規十三萬斤の好手合出來せる氣先き人氣引續き强調にて賣人は前値を賣惜しみたるも買人は前日の買收に一息を附きたる趣にて午前中の形勢は傍觀の姿にあつた但し米國の生絲需要が益々熾烈なると値段に在りても横濱より紐育が上鞘を叩くの關係上内に潜める買氣は頗る優力なるものあるを以て前直着くは小競りの商内さへ出來し得れば本日も亦相當の手合高を遂ぶべく殊に三井の買氣は本日の主力であつた

十日の成行

十日の成行約定物十四萬斤は折衝の結果四十圓高に纏り最優等二千四百四十圓羽子板格二千四百二十圓繰格二千三百九十圓矢島格二千三百七十圓八玉子格二千三百五十圓と決定し新規には各館の買氣優勢にて合計十三萬斤の好手合、成行值段と同振合にて出來した其内譯は生糸會社四萬斤三井三萬斤甲九千萬斤輸一萬斤高田江商各五千斤等であつた

生糸輸出高激增

十月上旬の生糸輸出高は横濱稅關調査に依れば六千三百五十八俵にて金額千三百九十八萬七千六百圓を示し前月同期に比し金額に於いて六百七萬二千六圓を激增した

紐育在荷增

紐育生糸在荷は十月一日現在の日本糸二萬千九十三俵其他六千三百七十四俵合計二萬七千三百六十七俵にて前月に比し日本糸約千俵其他約五百俵增加し又九月中輸入は二萬八千八百三十七俵消費は約二萬六千九百七十俵なりと

生糸檢査機械に付

ダウティー氏と會見

生糸檢査は震災に依り機關を破壞せる爲め其設備の復興するまで實用兩者協定して（一）水分は從來の振合を將酌して各自協定すること（二）デュール檢査は海外へ荷物積送の後其地に於ける機械檢査の結果苦情を生じたる場合の値引は最高百斤に付三十圓に止むる事に決定し居れるが併し感ある應急策にては取引の完全を期し難き以て目下善りに檢査機の移入を計りつゝあり十一日には上海生糸檢査所長ダウティー氏が貿易復興會に來訪せるを機會に原理事長並に各理事より此件に關し希望を陳述せる模様なるが其内容は尚未定なるも多分上海檢査所の機械一部を横濱に輸入せんとするに在るものゝ如くダウティー氏も或程度迄諒解した形跡であると

市電明日から八幡橋

本牧は二十四五日頃

本牧線が出來れば中間料金

片道六錢、往復十一錢

市内電車は十日から馬車道八幡橋線、二十四五日頃には本牧線の運轉を開始する筈であるが乘車賃は現在片道四錢、往復七錢なのを本牧線の運轉と同時に中間料金として片道六錢（通行稅共）往復十一錢（同上）を制定する事となつた旨横濱電氣鐵道會社にて出來した其内譯は生糸會社四萬斤三井三萬斤甲九千萬斤輸一萬斤高田江商各五千斤等であつた

燒けたと云つて

自働車の内部を盜む

此種の犯罪多し

市内山下町一二一番時住所不定石渡幸吉（二九）は元山下町で自動車製造に從事してゐたが震災當時、中村町横濱植木會社所有の自働車を運轉手西井幸太郎が運轉し來る公園側花園橋際に置き遠して他に避難したのを日撃し内部の機具金部完全なのでそれを取り外して根岸町三丁目三番地常吉方に壓置したのを加賀町署員に探知され大平警部補取調べ中であつたが十一日迄局さ れた尚運轉手西井も石渡と共謀してやつたらしいので取調中であるが此種の犯罪に就き同署では嚴重に檢舉に着手してゐる

御病人は

ありませぬかと

各戸毎に調査

縣では傳染病豫防の目的で防疫職員を市内各署に配置し管内の防疫事務に當る事となり十一日より市内各戸の檢病的戸口調査を行ふべく各所共一齊に開始したが所屬職員は神奈川署醫員五名、救護員五名、巡査五名、書記醫員四名、救護員四名、巡査各二名宛、山手署醫員四名、救護員巡査五名宛、伊勢佐木署醫師救護員巡査各二名宛、加賀町及水上署は醫師救護員巡査各一名宛で同署管内は衛生狀態も良く住民も少きを爲め防疫職員も漸少數で職務を執行し得るさうである

柳町河岸に市營倉庫と

賣場を設ける

市で正金の寄附金を利用して

市では臨時震災事務局支部に來て居る各種食料品や日用品を各公設市場の指定商人に販賣させる筈であるが三十ケ所や四十ケ所の市場のみでは市内各所に散在する罹災者の購求に不便なため一般商人へも卸賣りを行ふ本とし卒兵庫縣から寄贈の雜材木があるので例の正金銀行からの寄附金中の一部を以て吉田橋々畔柳町河岸に千坪の倉庫と三十坪の賣場を建築し市營の日用品卸賣市場を設置するに決定し近く工事に着手する事となつた該市場が出來れば買附に困つて居た商人連も助かるのみでなく一般消費者も良品を割安に而かも便利に入手する事が出來一方物價の抑制にも効果があらう尚ほ復舊後も同市場は日用品の中央卸賣市場として存續せしむる方針である

大暴風雨襲來

又散々な目に遭つた

氣の毒な罹災民

浸水、倒壞全市に亘る

郡部にも鐵道其他被害大

十日の晝過ぎより降り出した冷い秋雨は俄然夜半に入つて大暴風雨となり市内各方面に相當な出水を來すやら倒壞家屋が出來るやらで市民は昨夜をオチオチ安き心もなく過したが十一日は朝來クロウと晴れ本當の秋日和となつたのは先づ不幸中の幸であつた市内では倒壞家屋は百二十八戸、内全倒壞が三十二戸、半壞が九十六戸を出した

加賀町署内は公園内全壞二戸、半壞三戸のみで次は壽町田清太郎方の假小屋全潰し山手雨宮の管内に各二戸の全壞家屋があつて次に從業員の家屋の破壞は多數にも及び西前方面では殘存家屋の床下浸水六戸バラック同十二戸一部破壞五板張の破壞二戸所に及んだ又神奈川署部内では二ツ谷鐵橋下の小川增水して路面三尺餘浸水し御町から浦島丘に亘つても四尺餘浸水し子安町に於て石田定吉方其他床上浸水戸床下三十に及び又た此町通りは水道工事中とて自動車輪の埋没十臺に上つたと尚ほ部内には和當被害は多い見込で江の島神社の鳥居も流失、田浦逗子町間の大トンネルは百六十間崩壞同じく田浦の八號トンネルは出口入口とも崩壞したゝめ列車は不通となり同じく東海道線も綾河山北間迄歩連絡も當分不能となつたが今の所では開通期は未定である

禁止繪葉書

神奈川町

御殿八三七松本榮八郎（二三）は九日午前十一時頃發野清方のバラック全潰し池の坂方面で西戸部六〇二森田清太郎方の假小屋全潰した外牛濱八便所の倒壞十六戸

鑛糸入荷（八日）

（分）

△井上商店（六十三個）
三州帝國ハ　二十六
遠州守田ハ　十五
遠州守田ハ　四
信州伊那郡是ナ
△片倉製絲紡績株式會社出張所（三十一個）
信州飯田片倉ア　十四
武州石原片倉ア　十七
△鹽野商店（九十個）
信州常田組　十八
信州長窪ア　二十
△日米生糸株式會社（二百二十六個）
武州深谷ア　十八
武州富國館ア　廿七
飛驒東太ハ　一
信州吉田ナ　八十四
信州安曇ア　十八
信州大和組ア　十五
信州金山組ア　十八
信州三井社ハ　二十七
下野石岡小口組ア　五十一
△小川商店（八十一個）
甲州廣盛社ハ　十八
甲州鈴南製絲ハ　二十七
甲州横溝ハ　十八
△株式會社田中商店（九十個）
江州木ノ本山十ア　二十七
野州小山山十ア　二十七
武州大和組ハ　二十七
武州石川組ハ　二十七
△株式會社小野商店（百九十個）
信州田中片倉ア　八十四
信州林組本店ア　十八

蠶糸入荷（八日）

（分）

△井上商店（六十三個）
三州帝國ハ　二十六
遠州守田ハ　十五
遠州守田ハ　四
信州伊那郡是ナ
△片倉製絲紡績株式會社出張所（三十一個）
信州飯田片倉ア　十四
武州石原片倉ア　十七
△鹽野商店（九十個）
信州常田組　十八
信州長窪ア　二十
△日米生糸株式會社（二百二十六個）
武州深谷ア　十八
武州富國館ア　廿七
飛驒東太ハ　一
信州吉田ナ　八十四
信州安曇ア　十八
信州大和組ア　十五
信州金山組ア　十八
信州三井社ハ　二十七
下野石岡小口組ア　五十一
△小川商店（八十一個）
甲州廣盛社ハ　十八
甲州鈴南製絲ハ　二十七
甲州横溝ハ　十八
△株式會社田中商店（九十個）
江州木ノ本山十ア　二十七
野州小山山十ア　二十七
武州大和組ハ　二十七
武州石川組ハ　二十七
△株式會社小野商店（百九十個）
信州田中片倉ア　八十四
信州林組本店ア　十八
信州上諏訪ア　十四
信州尾澤組ア　十八
信州笠原組ア　十四
信州松本片倉ハ　十八
信州大屋片倉ア　十五
信州信榮館ア　十九
△神榮株式會社橫濱支店（百十八個）
信州丸山小口ア　十八
信州金上小口ア　十八
信州金一組ア　十八
信州金濃ア　十八
△渡邊商店（百六十五個）
信州青山組ア　二十七
信州三榮社　十七
信州富國館　十八
信州富山組ア　十八
甲州富山組ア　十八
△小野辰貿易株式會社（三十五個）
下總大橋ハ　二十二
下總大澤ハ　十三
甲州農製絲ハ　十八
甲州廣盛社ハ　十六
甲州大明館ア　十七
甲州一之瀨社ハ　十七
甲州鄭國館ア　二十
△澁澤商店（四百二十九個）
武州大宮館ハ　百二十六
武州安城山丸ア　八十七
上州新町丸茂ア　六十二
信州關谷組ア　十八
信州入一組ア　十八
駿州佐野ア　六
長州萬製絲　十四
美濃田中片倉　百十二
信州武井片倉　四十二
信州東英社　十八
信州常田組　十八
信州山十組　十八
上州甘樂社　十八
上州交水組　十八
武州山王本庄　七十二
武州足澤組熊谷　十八
△合名會社小島商店（百二十一個）
遠州宮崎ハ　二十八
三州大川社ア　二十四
三州大川社ア　二十四
三州千代田ハ　二十一
三州三州社ハ　四十四
合計　二千七十個

○追加報告七日分）

△原合名會社（二百四十七個）
美濃田中片倉　十四
信州川岸片倉　十四
信州東英社　十八
信州武井片倉　十八
信州入市小口　十八
信州下諏訪小口　十八
信州下諏訪片倉　十四
上州交水社　十四
上州交水組　十五
岩代笠原組須賀川　三十六
三州中央製絲ハ　二十
總計　二千三百十七個

信州平野片倉ア　十四
信州笠原組ア　十八
信州尾澤組ア　十四
信州松本片倉ハ　十五
武州大屋片倉ア　十八
武州信榮館ア　九
△神榮株式會社橫濱支店（百十八個）
信州丸山小口ア　十八
信州金上小口ア　十八
信州金一組ア　十八
信州金濃ア　十八
△渡邊商店（百六十五個）
信州青山組ア　二十七
信州三榮社　十七
信州富國館　十八
信州富山組ア　十八
甲州富山組ア　十八
△小野辰貿易株式會社（三十五個）
下總大橋ハ　二十二
下總大澤ハ　十三
甲州農製絲ハ　十八
甲州廣盛社ハ　十六
甲州大明館ア　十七
甲州一之瀨社ハ　十七
甲州鄭國館ア　二十
△澁澤商店（四百二十九個）
武州大宮館ハ　百二十六
武州安城山丸ア　八十七
上州新町丸茂ア　六十二
信州關谷組ア　十八
信州入一組ア　十八
駿州佐野ア　六
長州萬製絲　十四
美濃田中片倉　百十二
信州武井片倉　四十二
信州東英社　十八
信州常田組　十八
信州山十組　十八
上州甘樂社　十八
上州交水組　十八
武州山王本庄　七十二
武州足澤組熊谷　十八
△合名會社小島商店（百二十一個）
遠州宮崎ハ　二十八
三州大川社ア　二十四
三州大川社ア　二十四
三州千代田ハ　二十一
三州三州社ハ　四十四
合計　二千七十個

○追加報告七日分）

△原合名會社（二百四十七個）
美濃田中片倉　十四
信州川岸片倉　十四
信州東英社　十八
信州武井片倉　十八
信州入市小口　十八
信州下諏訪小口　十八
信州下諏訪片倉　十四
上州交水社　十四
上州交水組　十五
岩代笠原組須賀川　三十六
三州中央製絲ハ　二十
總計　二千三百十七個

廣告

神戸行無賃運送船

孟買丸（六千五百噸）　神戸直航船

十月十二日午後四時橫濱出帆（豫定）

但し日本船場荷中に付十一、十二日雨天の際は順延

一、運賃無料の事
二、申込順に依り決定、但し滿員の時は御斷りする事
三、三日分以上食糧及寢具携帶の事
四、手荷物は制限せざるも積卸の費用は各自負辨の事
五、積荷積扱は正金銀行前橫濱運輸合資會社に御下命相成度事

橫濱市本町五丁目　鈴木商店橫濱支店
東京市丸の内仲通三菱二四號ノ　鈴木商店橫濱支店

申込所

母貞子儀病氣の處十月九日午後一時死去致候間謹告仕候

逗而十二日午前十時より正午迄東京府下目黒なる自宅に於て告別式相營候本略儀告旨を以つて御通知に代へ候

大正十二年十月十一日
東京府北多摩郡三鷹村東京天文臺內
喪主　男　橋元昌文
親族總代　男　吉木治正
友人總代　男　岡村勝九郎
總代　保々三一
栗原清
森田純一

父高橋信貞及び六男祿郎儀九月一日震災の爲め死去致候間此段御通知に代へ謹告仕候

追て十四日午後一時より三時迄橫濱市西戸部町山王山六五六番地淺見七郎吉宅に於て告別式執行可仕候

大正十二年十月十一日
親族總代　男　高橋信弼
總代　小幡信篤

荊妻しやう儀九月一日震災の折死去致候に付本月十四日午後一時より三時迄自宅に於て告別式相營み可申候間此段御通知に代へ謹告仕候

橫濱市西戸部町山王山六五六
大正十二年十月十一日
親族總代　男　今井幸吉
總代　田島吾市

お斷り

小說「孔雀の舞」は九月一日の紙上に第百三十三回を掲載いたしましたる儘に休載の已むなきに立至りましたが又本日より續載いたす事になりました相變らず御愛讀を願ひます　第百三十四、五兩回の原稿を燒失しました爲めに二回分掲載洩れとなりました段は御諒恕を願ひます

孔雀の舞（一三六）

廣田花崖

片戀（一）

「小夜さん、お出はしの？」

「いゝえ、あなた樣の御用がなければ何でもいたしますよ」

露伴は少しばかり冗談へ落へるやうな氣持がしますわ、まるきり以前とは變つた世界に住んで居るやうな」

「ふゝゝゝ」と小夜さんは素直に聞いて居る。

「以前の世界には未練でも殘つて？」

「ありますとも、そんなにお考へになるのではございませんわ」

「さうでも言はれないのですもの。あたし、おお二人ぼつきりの小さい住んで居る

大正十二年十月十三日（土曜日）　（十二日夕刊）　横濱貿易新報　臨時第三十號　（第三種郵便物認可）　（一）

夕刊 横濱貿易新報

定價金壹錢
編輯兼發行人　山屋清次郎
印刷人　岩田四郎
印刷所　神奈川鐵道橋際　橫濱貿易新報社

瓦斯市營を支持せよ

橫濱市の瓦斯事業は、震災に由る被害殊に甚だしく、其回復を見る迄には、多大の日子を要すること、思はれる、之は市としても、又一般市民の生活上から謂ふても、寔に容易ならぬ苦痛であるに相違無い、然し乍ら今回の打撃は、一列一帶であつて、獨り瓦斯事業に於てのみ、其被害を云爲すべきでは無いのである

然るに玆に某なる人があつて、此際橫濱市の瓦斯事業を、東京の私營會社に賣却せしめんとし、其仲介を爲さんとして居るとの噂さがある、纔跡の灰燼をしても、其處に盛る遺利を見出し得ることを知らば、斯かる希望者があり、又進んで其紹介を爲さんとする者のあるに、何の不思議も無いのである、但だ橫濱の窮狀に精へて、之を一種の便宜策なりと認め、極く眞面目に此提言を取扱はんとする者も、或は絕無とは謂はれまい、吾人は此種の人々の心事を諒とするも、而も諸君が都市の獨占事業に對して、未だ徹底せる理解を有せざるに大なる遺憾を感ぜずには居られ無い

吾人は從來のお役所仕事に滿足して居る者では無い、併し都市に於ける水道、瓦斯、電車、電話と謂ふが如き事業は、單に一時の便宜のみを以て、其私營主義を承認するには、之が市民の利害に關する所、餘りに廣汎且つ永久に亘ることを忘れてはならぬ、市營と私營との見解の岐れ目は、要するに玆に存する譯で、橫濱市の瓦斯事業も、其永久的打算の上より、飽迄共市營の支持を必要とする次第である

生糸復興建設の大方針定まる

政府と中央會と協力して

政府と中央會と橫濱と協力して相當の修理を加へて使用するに決した

政府の諒解

其の根本策

根本策としては將來輸出生糸が百萬俵の多きに達するも之を捌擁するに差支へなき程度に敷地を大きく取るに決し其敷地として航路標識所、紹布倉庫、製糸會所附近、橫濱税小學校運動場跡、裁判所跡（以上計約二萬坪）の外に本町五丁目角第一銀行支店跡より銀行集會所跡に至る一帶から萬國橋際蓬萊屋旅館に至る一線の計約四萬坪を市場とし之れに各機關を網羅すべく遞信、司法、大藏、農商務等の各大臣も援助を與ふと

横濱一市場

生絲市場の一市場制及二市場制に付き大分議論あるも中央會に於ても結局橫濱を復興して一市場制とする事に一致し製糸界全般の輿論は定まつた

其の應急策

製糸家加盟

橫濱市場復興の應急策として先づ生糸檢査所及倉庫を建設すべく橫濱小學校運動場跡及裁判所跡に取敢えず五十萬圓の豫算を以て設備するの計畫にて倉庫（約二萬二千個收容）をも

中央會と復興會とが今後協力して橫濱製絲の復興を圖るの一助として橫濱貿易復興會内に製絲家を加ふる事となり其人選は之を中央會に一任するに決した

九日間の橫濱貿易

輸出千四百萬圓

輸入百八萬九千圓

一日より九日迄の橫濱港貿易は輸出千四百七萬千七百十圓輸入百八萬九千廿四圓となり輸出は生絲の六千九百依價格千三百九十三萬七千七百七十一圓が大部分で輸入重要品は

機械三〇、七〇一圓、鐵二三六、一九四圓、レール二二六、〇六八圓、綿花五一三七七圓、豆類一四六、一五四圓

尙輸出品は目下餘儀なく神戶港に仕向けられてゐるが橫濱港積出を便宜とする爲め税關内設備の恢復を要望するもの多く今後の當港貿易趨勢は一時復興物資の輸入

市會の救護委員は

市會議員全部

市會の各員協議會は十一日午後二時市役所に開き臨案の震災救護委員八選につき意見交換の結果市會全員を委員とし各其の住居を管轄する市役所出張所に於て其區内の配給事務に關し本廳と各出張所との連絡並びに一般救護事務に盡力する事に決定前記出張所は市内

書類が燒失した爲め少女凌辱犯人無罪

戸塚町旭町蓄産屋栗田新作方出前持飯田留吉（二二）が本年五月廿七日同町戸塚小學校内に於て金子芳江（一〇）といふ少女を凌辱した事件の公判は橫濱地方裁判所刑事部の初公判として十二日午前十時神奈川鶴屋町登記所出張所内の假法廷に開廷したが一切の書類が燒失して審理不能の爲め立會檢事は公訴不受理の判決を與へた爲め被告は免訴となつたが之等は震災生んだ思はぬ僥倖であろう尙ほ目下橫濱地方裁判所で豫審々理中の事件は山口正憲等に對する勅令違反外二件である

對客勘定と總會結局無帳還元論か

橫濱取引所取引員對客勘定問題は十二日午後一時開催の總會に附議されたが其解決法として三案あり

一、全部無帳還元と爲し以後は凡て甲論乙駁せるが第三案は不可能と目され結局第一、第二案の何れにか決定すべき模様で就中無帳還元説が有力なる如く持玉最も多かりし小島問商店等も二回、株式一枚一回の口錢に代る支拂ひを乞ふ事（既報同島案）

二、本部無帳解合と爲し客筋より同情的に定期糸及び期米等各一枚に就き金二回、株式一枚一回の口數に共鳴して居る

三、棒値を樹立して解合ふ事

是れにて甲論乙駁せるが第三案は不可能と目され結局第一、第二案の何れにか決定すべき模様で就中無帳還元説が有力なる如く持玉最も多かりし小島問商店等も二回、株式一枚一回の口數に共鳴して居る

規定外の速力自働車通行の婦人を轢殺す

野毛町一ノ一九篠原善吉方自働車運轉手遠藤重太郎（二二）は二日午後三時半頃櫻木町三丁目を規定以外の速力で疾走中通行中なる三十四五歳の婦人を轢倒し頭蓋骨を粉碎慘死せしめ伊勢佐木署へ引致され二日午前中業務上過失傷害致死罪として慈局慘死婦人は身長四尺七八寸位小柄の色白で頭髮を櫛卷きとなし右の三指の金色指環を箝め着衣は木綿紺飛白の單衣に木綿博多模様の夏帶木綿の前掛を締め黒のたすき黒鼻緒山桐の駒下駄を穿ち所持金なく多分罹災者で市内に居住せるものらしい

生絲市場 値閙へ模様

十一日の生糸市場は前日二三萬斤前直出來の氣先き愈〻閙へ的の一服模様あり夕刻までには同値相當の手合

乱暴狼籍で有名な赤尾議員の亂痴氣騒ぎ

青木市助役を杖で毆る

人を撲つたりコップを擲げたり亂暴狼藉で有名な市會の赤尾議員が今度は昨日の午後所員を自分の手下位に心得てゐる赤尾議員一かな聞かず「ソンなら共決定まで兎に角百四人に二圓五十錢宛與へろ」と横車を推し切らうとし餘り聞き入れもなく取敢へず市役所市長室で演じてのけた事の起りは各方面の罹災者に對する物資の配給に當る人々に何等の報酬を出して居なかつた事から十月一日より夫等の人々に對し受持ちの罹災者五百人につき一人の割合で一日二圓づゝの手當を贈つた事とした然るに赤尾議員の關係する本牧大鳥方面では罹災者六千餘人に對し百四人の配給係りがあつて事務を取扱つて居るから之等に對し一日二圓五十錢の割合で手當を貰ひたいともなければ配給に從事する事は出來ぬと可成り虫のいゝ陳情等の報酬を出して居なかつた市が十月一日から夫等の人々に對し受持ちの罹災者五百人につき一人の割合で一日二圓づゝの手當を贈つた事とした然るに赤尾議員の赤尾議員が今度はアベこべにブン撲られて器量をあとし逆上した揚句に罵をなし青木助役に打つてかゝるとらうとし餘り聞き入れもなく取敢へず市役所市長室で演じてのけた事の起りは各方面の罹災者に對する物資の配給に當る人々に何

孔雀の舞（一三七）

廣田花崖

片戀（一）

「それはあなた縁には大層御縁遠そうですが、そしてその人はもうこの世の中にはいないのでございますよ」と小母さんはシミジミ答へた。

「あゝおなくなりになつてゐるの」と私はちびりの胸を撫へた。

「え、！　それでさぞ小母さんもう嬉しくて、この人ばつかりさびしい方で、おなくなりになつても誰一人訪ねて来る人はないのだそうで、お寺にお詣りするのも、なかなか大変なんだそうですね。それに、その人知つた人が中でしてしまつたのだと申すものと、「それで、あたしその人を知つてゐるのかと申すことを期待する（都市計畫部運輸交通小委部案）

工業地帶の擴張
震災前の内定より更に廣くしたい意向
復興會工業部會の審議

横濱市復興會工業部會は十日午後三時四十分開會、中村委員長外出席して工業地域を審議し震災前に内定した地域を更に擴張して

（一）大岡川都市境域に至る沿岸全部（二）堀割川沿岸（三）中村川、大岡川及吉田川にまたがる地域（四）入舟町及長住町、櫻木町（五）高島町一丁目線町、橋町を含む高架線外（六）平沼町及び國野町附近（七）神奈川驛より鶴見町の境界に至る間の全部（八）瀧の川及入江川の沿岸九ヶ小貫商に對する商業地域は適宜此地帶内に介在せしむるものとすると意見決定之れに伸ふ左の各事項を決して關係部會に移牒する事とし同五時廿分散會したが運河の新設及擴張に對して兩岸に百五十間以上を市が買收して工業經營業者の利用を計る外別に大岡川村に至る省線電車の延長貨物線の併行を決議した

道路新設及電車線布設

一、兩工業地帶を連絡する爲め南太田町字富士見耕地より程ヶ谷停車場東端に至る幾間町神奈川高等女學校三澤を經て東神奈川停車場の裏口に至る間に幅員十間以上の道路新設並に電車線を布設する事

二、鐘田停車場より前項新設道路に至る間に十間以上の道路を接續すること

京濱間高速度電車運轉

京濱間高速度電車運轉は多年の懸案にして京濱復興上一大要件なり此際速かに其の實現を期すること（都市計畫部運輸交通小委部案）

市内河川の改修
道路擴張の件

復興の横濱市は工業の發達を以て市是となさざるべからず依て運輸の便を有する平地は海外貿易及一般商業に必要なる部分を除き擧て之を工業に提供するの覺悟を要すべく尚河川及道路は此の際總て改造擴張し更に貨物線の延長及新設は劍下の急務とす（運河幅廣制の幅員は廿間乃至卅間とす各運河の兩岸に六間乃至十間の道路を設くる事各細別は省略）

天災と野球界

危く乞り込んだ平田君
惜しい中華の五選手
折角のミカドも關西旅行
闘東の秋は先づ寂しかろ

文士の悪口や勝手なゴタクを並べたが、今度は運動界の方に飛火させよう。先づ始めが野球だ何しろ、こいつも一順座を楽してしまつた。公園のグラウンドにお墓が出来、今は昔、緑の芝生であつたあの外野のあたりにもバラックが立ち、そこで子供が喪ん坊をしてゐる仕末であるから當分、商友だ東電だ、中華だと騒がれる時代も横濱には来ないだが、文士どころか、逃げ足は商賈病でトラツもなく早いから死んだものは頗る少ない。中華の五選手がやられたのは氣の毒だつたが、主將の樂君は死體發掘で働いてゐることは先刻御承知の通りである。南友も巨人軍も横濱も遑まはみな生きて矢ゝ張り夜警をやつたり船約米を買ひに行つたりしてセッセと働いてゐた。東電でも場田、久保田、小森河野其他の諸君も皆助かつてゐる。明大も校合は丸潰けだが選手皆九日から駒澤で練習してをり近く新潟、松本、仙臺に繩掛金祭りの遠征に行くとか三田、稲門戦も今年はやるかやらないかハッキリとはしないが關西でやつて入場料を義捐することになるらしい。

芝浦の運動協會は押川、河野兩君以下全部無事だつたが選手は全部歸國し、あのクニスコートもグラウンドも軍隊に取り上げられガソリン貯藏槽や鐵筋類が由りの大建物もの大部の軍隊に掠められすつた跡こそ、もうじつとして居られなくて、生きて苦しむよりはいゝ……

「おゝ！　ご覽の通り生きてゐるよ」と私はヒロシ君に答へた。

「でもね、清水さんは御自分からその話を切出すつてのですよ。小母さんは全くの無駄骨折りでしたつて。それを知つたらきつと清水さんは卒倒なさるつてのですよ。本當の御話をしてあげたらと申すのですけれど、小母さんは決してお話しなさらないのだ

大正十二年十月三十日（火曜日）　横濱貿易新報　臨時第四十七號　（第三種郵便物認可）　（一）

夕刊 横濱貿易新報

國民性の發揮

事變に遭つて初めて國民の眞價が現はれて來る。國難に臨み大事に處して果して如何なる態度決心を示すかによつて其國民の價値が分たれる。國難に堪へ得ずして自ら滅亡した國も古來少くはない。危局に陷つて悲觀絶望し、進取の氣力を失つた國民も古來少くはない。衰亡國とは多く此國難に堪へ得ず、進取の力を失つた國々である。日本は古來大國難に遭遇した事は再三ならず、其經驗を有するが、大事に會する毎に益々進取上の精神を奮ひ起し常に國難を排除して進んで來た。茲に日本の眞價がある。

過般の天災は、實に偉大なる國家的革變である。實に國難の由々しきものである。國難とは決して外患をのみ指すものではない。戰爭をのみ指すものではない。大天災は實に大國難と言はねばならぬ。而して此國難に當つて最も鮮明に國民精神を發揮し、難を排し危を救ひ掃つて國家を安泰磐石に置く處に國民の任務が存する。今回の震災に於て現る處遺憾的人道的美擧的の行爲が現はれ、婦女少年にして悲烈見神も泣かしむるの行爲を行つた者が極めて多い。忠孝は日本道徳の根本生命であるが、此忠の精神、孝の魂が、到る處に發揮された。日本道徳は義勇を重しとするが、此義勇の精神が青年は言ふまでもなし、女子供の間にまで批快に勇敢に發揮された事實が多いのは特に力强く感ぜざるを得ぬ。色々不幸の事實も傳へられて居るが、併し多數大多數の民衆は實に道徳的に行動し、義勇の行爲を示して居る。外國人が今回我國民の態度を激賞せるも然るべき事。

兒童への御下賜品は永久に保存

玩具、繪本、教科書など

學習院初等科から寄贈

市内罹災兒童に對し學習院初等科御在學中の澄宮殿下をはじめ各宮殿下の御下賜を戴いて居る小學校に於ては御下賜の品を永久に保存し、記念として兒童に與へる事になつた。

暖かい同情の流露

橋樹郡の兒童が横濱市の兒童へ送つた慰問學用品其他

橫濱市の罹災兒童に對し橘樹郡の各小學校兒童から鉛筆、學用品又は慰問袋其他を寄贈した厳は左の通りで伊東郡長から此程一括して横濱市長に贈つたが細別すれば

鉛筆　三九、七九四冊
繪記帳　一、七六〇冊
鉛筆　三、二一四本
外に古鉛筆八袋
半紙　七〇〇枚
毛筆　二一八本
石盤　四九枚
鞄　一三三個
筆入　八四個
衣類　八六〇點
蒲團袋　六九三點

右の他硯、クレヨン、六角鉛筆、ハサミ等七百四十四點現金百十一圓四十七錢を學用品購入費として災保土ケ谷町の三小學校及び住吉等商井田、共盛の各小學校より直接橫濱市の小學校に寄附したが其の數左の通りである

▲戸部小學校へ　住吉、共盛井田校から　教科書一、三六六冊、保土ケ谷校から同上八〇九冊他に參考書二六冊
▲西戸部校へ　保土ケ谷星川校から教科書八三八冊
▲老松校へ　保土ケ谷、星川校から教科書一、八冊
▲浦島校へ　保土ケ谷、星川校から教科書一、九冊等で慰問袋は中原小學校及び高津村女子實業補習學校

殘るは甲府聯隊

警備の諸隊去て

市内警備の任にあつた歩兵第三十二聯隊本部及び同第一大隊將卒は廿九日横濱驛から鐵道の途に上つた驛頭には安河内知事、渡邊市長

日和見の輿行物貸座敷取締規則も出ても閑散

湯屋の出願が二三あつたばかり

輿行物貸座敷、宿屋、湯屋等に對する假設興業の取締規則が發布されたので其筋では直ちに出願者が殺到するであろう殊に輿行物貸座敷の如きは先を爭つて建築に取り掛るであろうと豫期して居たのに發布後の出願は意外にも少なく僅かに湯屋業の出願が二三あつた計りで輿行物貸座敷等は未だ一名の出願者もない斯る奇異の現象を呈して居るのは畢竟材料と資金の關係及び都市計畫の決定を待つ爲めに日和見をして居るのであろうと

吉田橋からお三の宮迄

市内隨一の賑かな街

來月早々伊勢佐木町の店開き

伊勢佐木町復興會の半永久的バラックは埋立との折衝最近に至り圓滿に解決したので夫々建設を急いで居たが漸く來月早々柔都綴工すべく中にも料理店娼妓の二階建でバラックは各市區一の大建物でかねた又た此に次ぎ鞘もも來月一日には營業を開始すべく又同地の花柳界も復活し得る筈で劇場喜樂座、朝日座及寄席花月も目下用材の切組中であるから遅くも十一月中には華々しく開場し得べく兎も角も吉田橋からお三の宮に至る大通りは商家軒を並べて市内隨一の繁榮と殷賑を呈するに至るであろう又た日本橋花柳界の如きも目下開業の準備中で是も十一月早々復活の筈であると

工業部會の對案

商業地帶擴張に比し工業地域が狹過ぎる

既設工場中倒壞燒失したるものゝ復舊の急は都市計畫の決定如何によるから此際細目は第二段に讓り大方針を至急決定し人心の安定を計るに努められたいと言ふにある

少女凌辱犯人また免訴

縣下橘樹郡田島村大島五七五人力車夫中村太吉(二七)が本年六月廿九日同郡大師町字中瀬の石渡イトといふ少女を凌辱し負傷せしめた事件は橫濱地方裁判所の豫審に移つて居たが去る九月一日の震災の爲めに記錄全部が燒失した爲め起訴狀を缺き起訴の適法なるを證すべき方法がないので廿八日公訴不受理の決定を與へられ被告人は免訴となつて放遣された

莫大な應急施設費

大部分は國庫の補助

縣下の災害に伴ふ應急施設費に就き縣當局者に於ては先づ縣費が三百六十三萬二千六百廿八圓で運帶所屬が二百十萬四千百九十七圓、市部同五十九萬五千二百十九圓、郡部同九十三萬三千二百十二圓に當り歳入缺陷額が二百四十三萬五千四百五十一圓で此の不足財源の補塡方法は單業の打切をはじめ縣債、各種繰入を除き大なる數字を示し此の不足額の補塡は縣費同樣大部分は國庫の補助に待つ外はない更に橫濱市の分は九百八十萬四千八十三圓に對する歳入缺陷千二百六萬六千九百九十九圓で不足財源を補充しても尙ほ不足する分千五百七十萬千二百六十一圓に上り更に橫須賀市は二百七十七萬二千七百三十一圓で歳入缺陷二十二萬五千六百七十五圓其他の各町村が二百四十三萬五千四百五十一圓で此の不足財源の補塡方法は單業の打切をはじめ縣債、各種繰入を除き大なる數字を示し此の不足額の補塡は縣費同樣大部分は國庫の補助に待つ外はない更に橫濱市の分は九百八十萬四千八十三圓に對し百六十萬四千百九十七圓、市部同五十九萬五千二百十九圓、郡部同九十三萬三千二百十二圓に當り歳入缺陷額が二百四十三萬五千四百五十一圓で此の不足財源の補塡方法は單業の打切をはじめ縣債、各種繰入を除き大なる數字を示し此の不足額の補塡は縣費同樣大部分は國庫の補助に待つ外はない更に橫濱市の分は九百八十萬四千八十三圓に對する歳入缺陷千二百六萬六千九百九十九圓で不足財源を補充しても尙ほ不足する分千五百七十萬千二百六十一圓に上り更に橫須賀市は二百七十七萬二千七百三十一圓で歳入缺陷二十二萬五千六百七十五圓其他の各町村

俠客 野狐三次

第八十席

悟道軒圓玉 演



おいでの節を聞いてゐた大工は男「コレヤこう云ふ者に関わり合いになると、それは組のこの御方にまで御迷惑がかゝるから、何でもお前さんは早く帰ってくれ」男「ヘエ、誠に御もっともで御座います、男「ヘエ御尤もで御座います、男「ヘエ御尤もで御座います、男「ヘエ御尤も